

# **総合計画策定のためのアンケート調査**

## **報 告 書**

**令和2年3月**

**周防大島町**



# 目 次

## I 調査の概要

|          |   |
|----------|---|
| 1 調査目的   | 1 |
| 2 調査方法   | 1 |
| 3 回収結果   | 1 |
| 4 報告書の見方 | 1 |

## II 調査結果

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 1 属性                                 | 2  |
| 2 生活の状況                              | 5  |
| (1) 周防大島町に住み始めたきっかけ                  | 5  |
| (2) 買い物をする場所                         | 7  |
| (3) 医療機関を受診する場所                      | 11 |
| 3 周防大島町での暮らしについて                     | 13 |
| (1) 周防大島町の住み良さの感じ方                   | 13 |
| (2) 近所付き合いの状況                        | 23 |
| (3) 自治会や地域活動の状況                      | 25 |
| (4) まちづくりに関する取組への満足度                 | 37 |
| (5) 幸福度                              | 45 |
| (6) 今後の周防大島町での居住継続希望                 | 47 |
| (7) 子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考え          | 53 |
| (8) 人口減少が進む状況で行うべき取組                 | 58 |
| (9) 安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組         | 62 |
| (10) 子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組 | 66 |
| (11) 活気のある地域づくりを進めていくうえで必要だと思うこと     | 70 |
| (12) 暮らしの中で不便・不満に感じること               | 73 |
| (13) 将来について不安に感じていること                | 78 |
| (14) 重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容        | 81 |
| (15) 緊急時への備え                         | 84 |
| (16) 災害や危機に対して準備していること               | 87 |
| (17) 町に関する情報の入手先                     | 90 |

|              |    |
|--------------|----|
| III 調査結果のまとめ | 93 |
|--------------|----|



# I 調査の概要

## 1 調査目的

「周防大島町総合計画」策定のための基礎資料とするため。

## 2 調査方法

- (1) 調査地域 周防大島町全域
- (2) 抽出方法 町内に居住する 18 歳以上の方の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配付・回収
- (4) 調査対象 2,000 人
- (5) 調査時期 令和 2 年 2 月 17 日～令和 2 年 3 月 2 日（3 月 15 日回収分まで含む）

## 3 回収結果

911 票（有効回答率 45.6%）

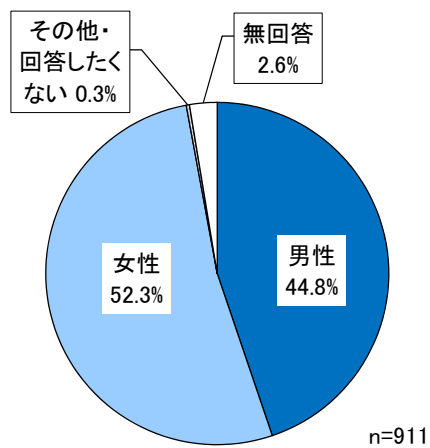
## 4 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- 2 つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

## Ⅱ 調査結果

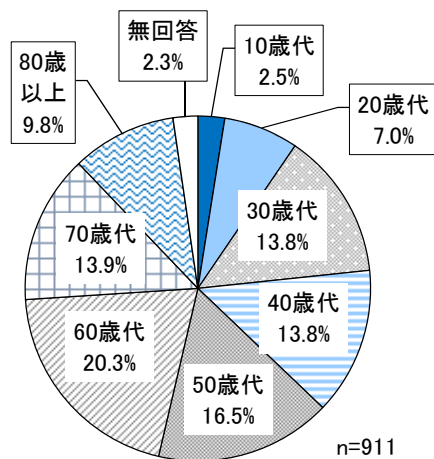
### 1 属性

#### (1) 性別



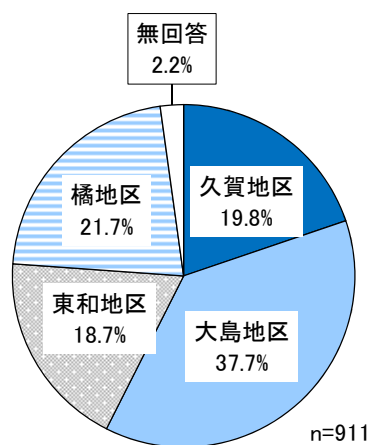
|             | 回答数 | 割合     |
|-------------|-----|--------|
| 男性          | 408 | 44.8%  |
| 女性          | 476 | 52.3%  |
| その他・回答したくない | 3   | 0.3%   |
| 無回答         | 24  | 2.6%   |
| 全体          | 911 | 100.0% |

#### (2) 年齢



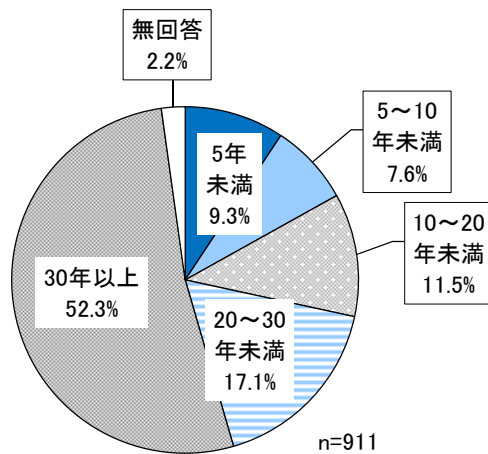
|       | 回答数 | 割合     |
|-------|-----|--------|
| 10歳代  | 23  | 2.5%   |
| 20歳代  | 64  | 7.0%   |
| 30歳代  | 126 | 13.8%  |
| 40歳代  | 126 | 13.8%  |
| 50歳代  | 150 | 16.5%  |
| 60歳代  | 185 | 20.3%  |
| 70歳代  | 127 | 13.9%  |
| 80歳以上 | 89  | 9.8%   |
| 無回答   | 21  | 2.3%   |
| 全体    | 911 | 100.0% |

#### (3) 居住地区



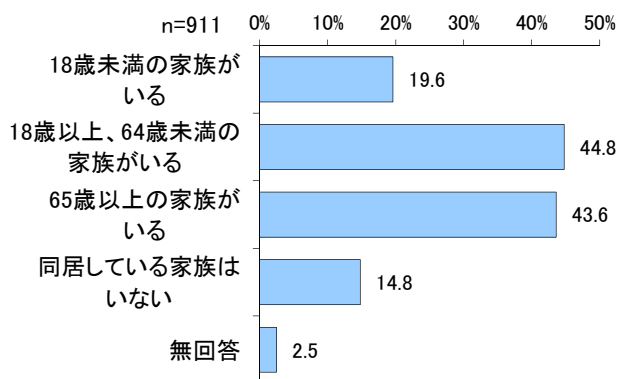
|      | 回答数 | 割合     |
|------|-----|--------|
| 久賀地区 | 180 | 19.8%  |
| 大島地区 | 343 | 37.7%  |
| 東和地区 | 170 | 18.7%  |
| 橘地区  | 198 | 21.7%  |
| 無回答  | 20  | 2.2%   |
| 全体   | 911 | 100.0% |

#### (4) 居住年数



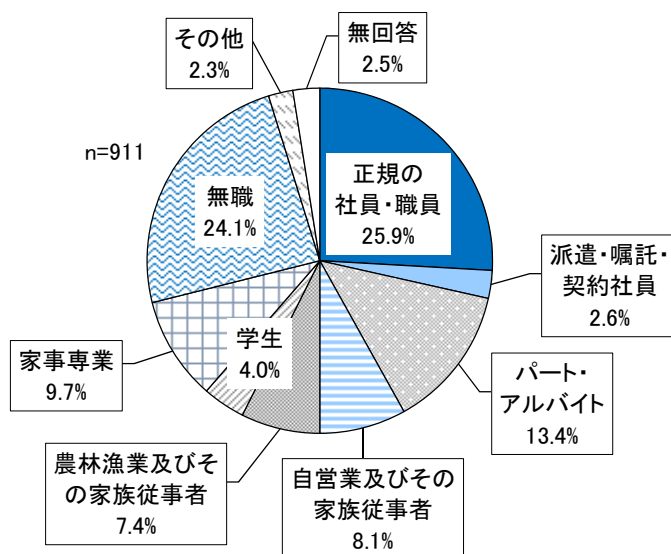
|          | 回答数 | 割合     |
|----------|-----|--------|
| 5年未満     | 85  | 9.3%   |
| 5～10年未満  | 69  | 7.6%   |
| 10～20年未満 | 105 | 11.5%  |
| 20～30年未満 | 156 | 17.1%  |
| 30年以上    | 476 | 52.3%  |
| 無回答      | 20  | 2.2%   |
| 全体       | 911 | 100.0% |

#### (5) 同居家族



|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 18歳未満の家族がいる       | 179 | 19.6%  |
| 18歳以上、64歳未満の家族がいる | 408 | 44.8%  |
| 65歳以上の家族がいる       | 397 | 43.6%  |
| 同居している家族はいない      | 135 | 14.8%  |
| 無回答               | 23  | 2.5%   |
| 全体                | 911 | 100.0% |

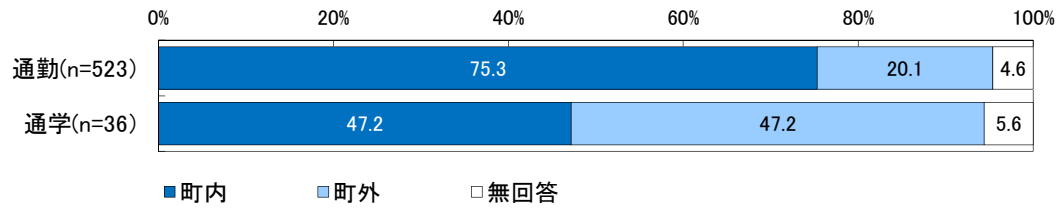
#### (6) 就労状況



|               | 回答数 | 割合     |
|---------------|-----|--------|
| 正規の社員・職員      | 236 | 25.9%  |
| 派遣・嘱託・契約社員    | 24  | 2.6%   |
| パート・アルバイト     | 122 | 13.4%  |
| 自営業及びその家族従事者  | 74  | 8.1%   |
| 農林漁業及びその家族従事者 | 67  | 7.4%   |
| 学生            | 36  | 4.0%   |
| 家事専業          | 88  | 9.7%   |
| 無職            | 220 | 24.1%  |
| その他           | 21  | 2.3%   |
| 無回答           | 23  | 2.5%   |
| 全体            | 911 | 100.0% |

(7) 通勤地・通学地

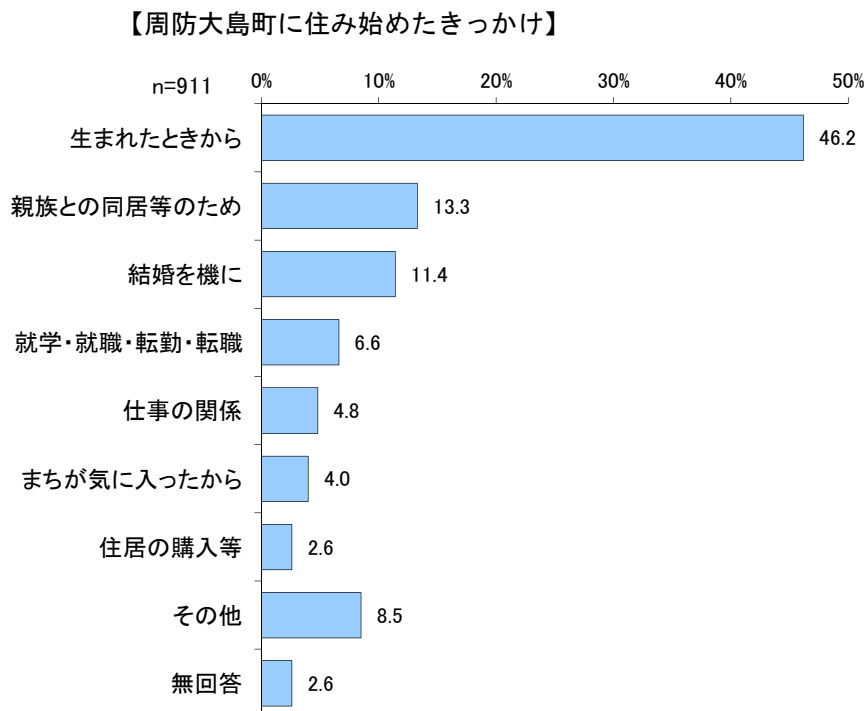
|     | 回答数 | 割合     |
|-----|-----|--------|
| 町内  | 411 | 73.5%  |
| 町外  | 122 | 21.8%  |
| 無回答 | 26  | 4.7%   |
| 全体  | 559 | 100.0% |



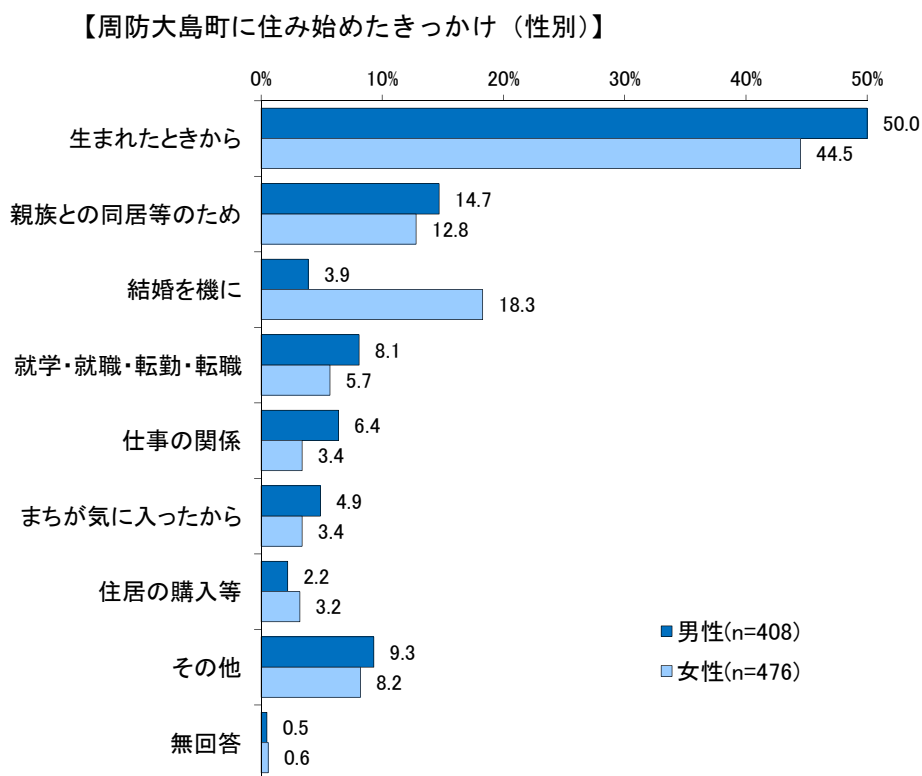
## 2 生活の状況

### (1) 周防大島町に住み始めたきっかけ

問5 あなたは、どのような事がきっかけで周防大島町に住み始めましたか。一番大きな理由と思うものを選んでください。【〇は1つ】



周防大島町に住み始めたきっかけについて、「生まれたときから」と回答した人の割合が46.2%と最も高く、「親族との同居等のため」(13.3%)、「結婚を機に」(11.4%)が続いている。



性別にみると、男女ともに「生まれたときから」と回答した人の割合が最も高くなっている。  
また、女性では「結婚を機に」と回答した人の割合が2割に近く、2番目に高くなっている。

【周防大島町に住み始めたきっかけ（年齢別）】

|        | 回答数 | 生まれたときから | 親族との同居等のため | 結婚を機に | 就学・就職・転勤・転職 | 仕事の関係 | まちが気に入ったから | 住居の購入等 | その他   | 無回答  |
|--------|-----|----------|------------|-------|-------------|-------|------------|--------|-------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 57.5%    | 6.9%       | 4.6%  | 18.4%       | 3.4%  | 1.1%       | 1.1%   | 6.9%  | —    |
| 30歳代   | 126 | 46.8%    | 7.1%       | 16.7% | 7.9%        | 6.3%  | 5.6%       | 2.4%   | 7.1%  | —    |
| 40歳代   | 126 | 41.3%    | 10.3%      | 11.1% | 11.9%       | 6.3%  | 5.6%       | 3.2%   | 10.3% | —    |
| 50歳代   | 150 | 51.3%    | 14.0%      | 14.0% | 4.7%        | 6.7%  | 4.7%       | 0.7%   | 3.3%  | 0.7% |
| 60歳代   | 185 | 43.2%    | 20.5%      | 10.8% | 3.2%        | 2.7%  | 3.8%       | 2.7%   | 11.9% | 1.1% |
| 70歳代以上 | 216 | 47.7%    | 15.7%      | 10.6% | 2.8%        | 4.6%  | 3.2%       | 4.6%   | 9.7%  | 0.9% |

年齢別にみると、いずれの年齢層も「生まれたときから」と回答した人の割合が最も高く、特に20歳代以下、50歳代で5割を超えている。

「親族との同居等のため」と回答した人の割合は、60歳代で約2割となっている。

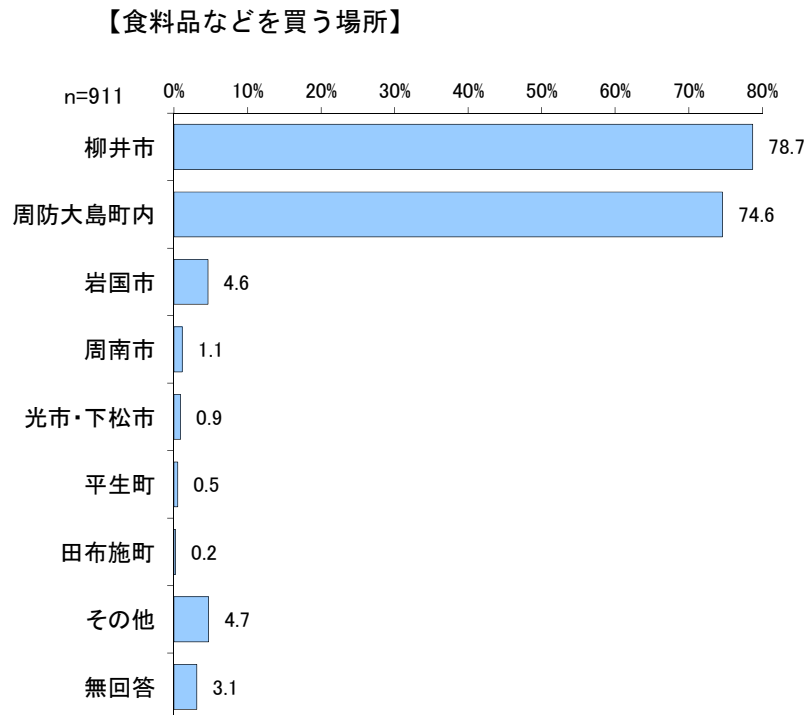
【周防大島町に住み始めたきっかけ（地区別）】

|      | 回答数 | 生まれたときから | 親族との同居等のため | 結婚を機に | 就学・就職・転勤・転職 | 仕事の関係 | まちが気に入ったから | 住居の購入等 | その他   | 無回答  |
|------|-----|----------|------------|-------|-------------|-------|------------|--------|-------|------|
| 久賀地区 | 180 | 49.4%    | 14.4%      | 12.2% | 4.4%        | 4.4%  | 2.8%       | 2.8%   | 9.4%  | —    |
| 大島地区 | 343 | 45.8%    | 13.7%      | 12.2% | 8.2%        | 6.4%  | 3.5%       | 2.0%   | 7.9%  | 0.3% |
| 東和地区 | 170 | 38.2%    | 20.0%      | 12.4% | 7.6%        | 2.9%  | 4.7%       | 2.4%   | 11.2% | 0.6% |
| 橘地区  | 198 | 55.1%    | 7.1%       | 9.6%  | 5.6%        | 4.5%  | 5.6%       | 4.0%   | 7.1%  | 1.5% |

地区別にみると、いずれの地区も「生まれたときから」と回答した人の割合が最も高くなっているが、東和地区は3割台となっている。

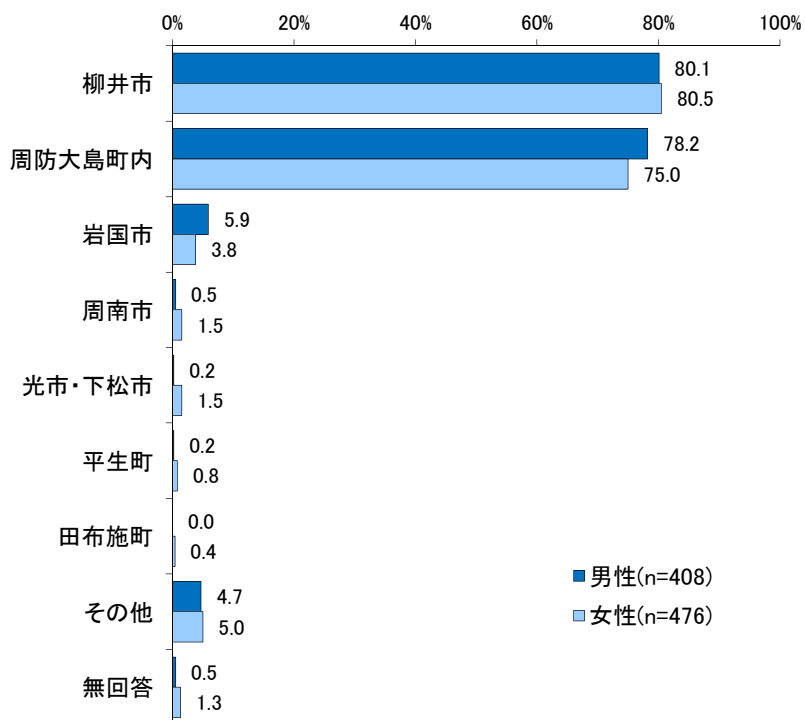
(2) 買い物をする場所

問8 食料品など日常的な買い物の行き先はどこですか。【〇は2つまで】



食料品などをかう場所について、「柳井市」と回答した人の割合が 78.7%と最も高く、次いで「周防大島町内」(74.6%) となっている。

### 【食料品などを買う場所（性別）】



性別にみると、男女ともに「柳井市」、「周防大島町内」と回答した人の割合が7割台から8割台であり、高くなっている。

### 【食料品などを買う場所（年齢別）】

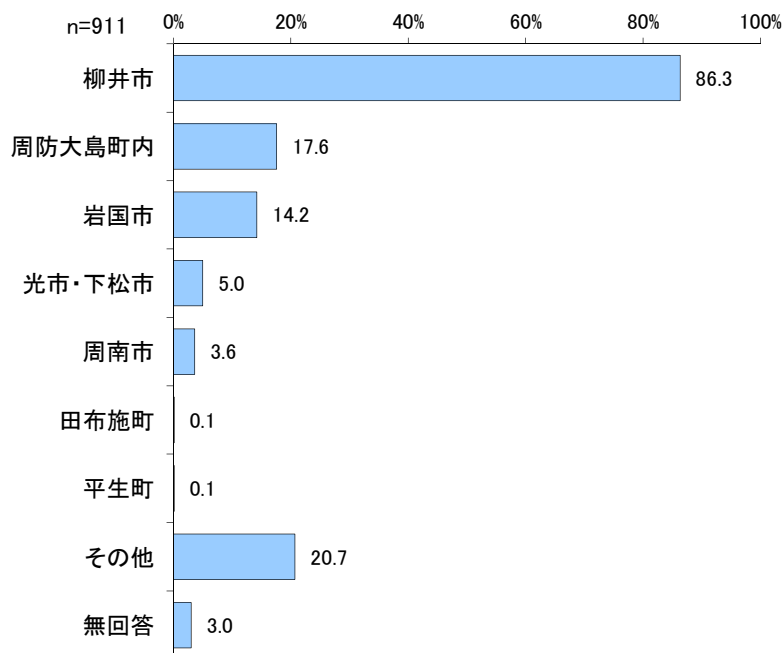
|        | 回答数 | 柳井市   | 周防大島町内 | 岩国市  | 周南市  | 光市・下松市 | 平生町  | 田布施町 | その他  | 無回答  |
|--------|-----|-------|--------|------|------|--------|------|------|------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 80.5% | 56.3%  | 4.6% | 4.6% | 1.1%   | 1.1% | —    | 9.2% | —    |
| 30歳代   | 126 | 89.7% | 67.5%  | 7.9% | 0.8% | 1.6%   | —    | 0.8% | 3.2% | 0.8% |
| 40歳代   | 126 | 90.5% | 72.2%  | 7.9% | —    | 1.6%   | 1.6% | —    | 4.0% | —    |
| 50歳代   | 150 | 84.7% | 77.3%  | 4.7% | 2.0% | 1.3%   | 0.7% | 0.7% | 5.3% | 0.7% |
| 60歳代   | 185 | 84.3% | 81.1%  | 3.8% | 0.5% | 0.5%   | 0.5% | —    | 6.5% | —    |
| 70歳代以上 | 216 | 62.0% | 86.1%  | 1.9% | 0.5% | —      | —    | —    | 2.8% | 3.7% |

年齢別にみると、70歳代以上を除くすべての年齢層で「柳井市」と回答した人の割合が最も高くなっている。

70歳代以上では、「周防大島町内」と回答した人の割合が最も高くなっている。

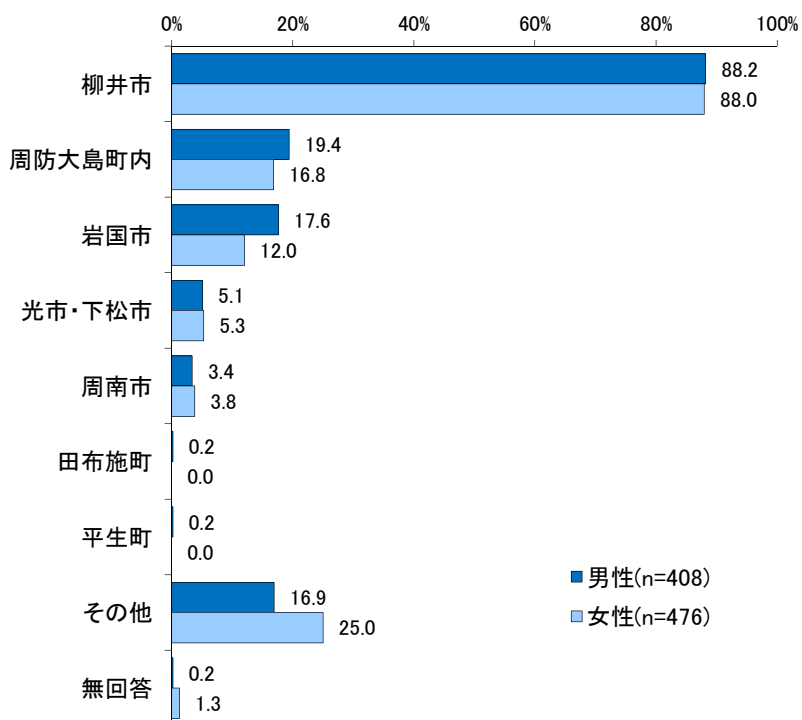
問9 衣料品や家電製品などは主にどこで買いますか。【〇は2つまで】

【衣料品や家電製品を買う場所】



衣料品や家電製品を買う場所について、「柳井市」と回答した人の割合が 86.3%と最も高く、「周防大島町内」(17.6%)、「岩国市」(14.2%)が続いている。

【衣料品や家電製品を買う場所（性別）】



性別にみると、男女ともに「柳井市」と回答した人の割合が9割に近く、最も高くなっている。

【衣料品や家電製品を買う場所（年齢別）】

|        | 回答数 | 柳井市   | 周防大島町内 | 岩国市   | 光市・下松市 | 周南市  | 田布施町 | 平生町  | その他   | 無回答  |
|--------|-----|-------|--------|-------|--------|------|------|------|-------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 73.6% | 9.2%   | 10.3% | 4.6%   | 9.2% | 1.1% | －    | 34.5% | －    |
| 30歳代   | 126 | 83.3% | 3.2%   | 24.6% | 9.5%   | 4.8% | －    | －    | 38.9% | －    |
| 40歳代   | 126 | 92.1% | 9.5%   | 15.9% | 5.6%   | 7.1% | －    | 0.8% | 30.2% | －    |
| 50歳代   | 150 | 93.3% | 14.7%  | 17.3% | 6.0%   | 4.0% | －    | －    | 21.3% | －    |
| 60歳代   | 185 | 94.1% | 21.6%  | 12.4% | 5.4%   | 1.6% | －    | －    | 15.7% | －    |
| 70歳代以上 | 216 | 85.2% | 34.3%  | 9.3%  | 1.9%   | 0.5% | －    | －    | 4.2%  | 4.2% |

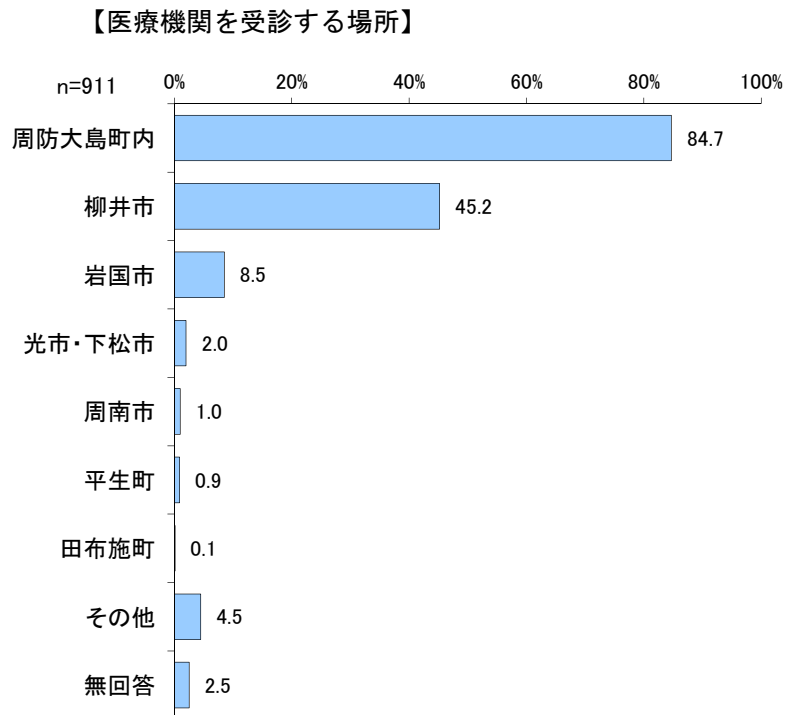
年齢別にみると、すべての年齢層において「柳井市」と回答した人の割合が最も高く、40歳代、50歳代、60歳代で9割を超えている。

「周防大島町内」と回答した人の割合は、70歳代以上で3割を超えている。

「岩国市」と回答した人の割合は、30歳代で2割を超えている。

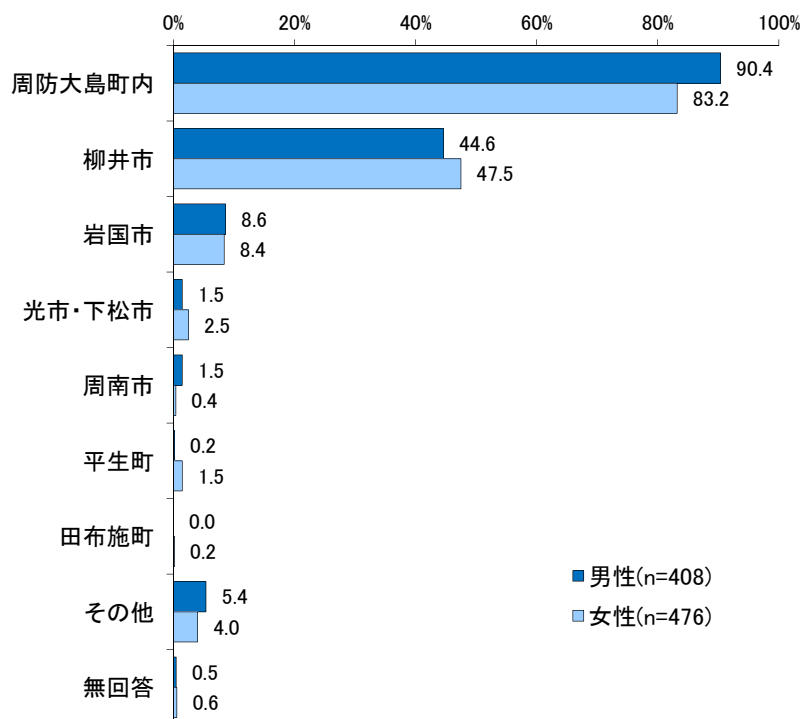
(3) 医療機関を受診する場所

問 10 病気のときなどによく受診する医療機関はどこにありますか。【○は2つまで】



医療機関を受診する場所について、「周防大島町内」と回答した人の割合が 84.7%と最も高く、次いで「柳井市」(45.2%) となっている。

【医療機関を受診する場所（性別）】



性別にみると、男女ともに「周防大島町内」と回答した人の割合が最も高く、次いで「柳井市」となっている。

【医療機関を受診する場所（年齢別）】

|        | 回答数 | 周防大島町内 | 柳井市   | 岩国市   | 光市・下松市 | 周南市  | 平生町  | 田布施町 | その他   | 無回答  |
|--------|-----|--------|-------|-------|--------|------|------|------|-------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 80.5%  | 46.0% | 3.4%  | 4.6%   | 2.3% | —    | —    | 12.6% | —    |
| 30歳代   | 126 | 65.9%  | 62.7% | 12.7% | 4.0%   | —    | 4.0% | —    | 4.8%  | 1.6% |
| 40歳代   | 126 | 90.5%  | 49.2% | 7.9%  | 4.0%   | —    | —    | —    | 2.4%  | —    |
| 50歳代   | 150 | 84.0%  | 54.7% | 7.3%  | 2.0%   | 1.3% | 0.7% | —    | 4.0%  | —    |
| 60歳代   | 185 | 93.0%  | 41.6% | 8.6%  | —      | 1.1% | 1.1% | 0.5% | 3.8%  | 0.5% |
| 70歳代以上 | 216 | 94.4%  | 32.9% | 9.3%  | 0.5%   | 1.4% | —    | —    | 3.7%  | 0.9% |

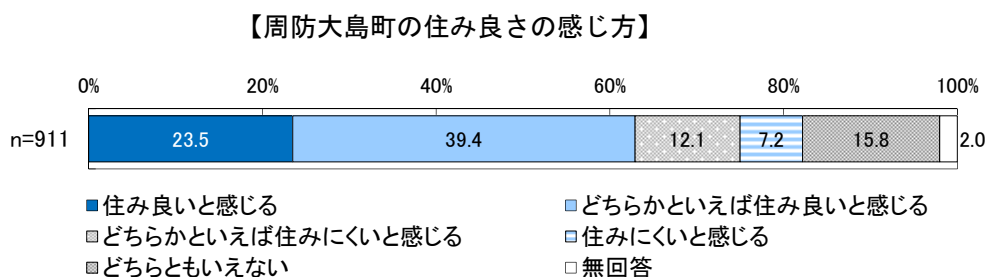
年齢別にみると、いずれの年齢層も「周防大島町内」と回答した人の割合が最も高くなっており、40歳代、60歳代、70歳代以上で9割を超えている。

「柳井市」と回答した人の割合は、30歳代で6割を超えている。

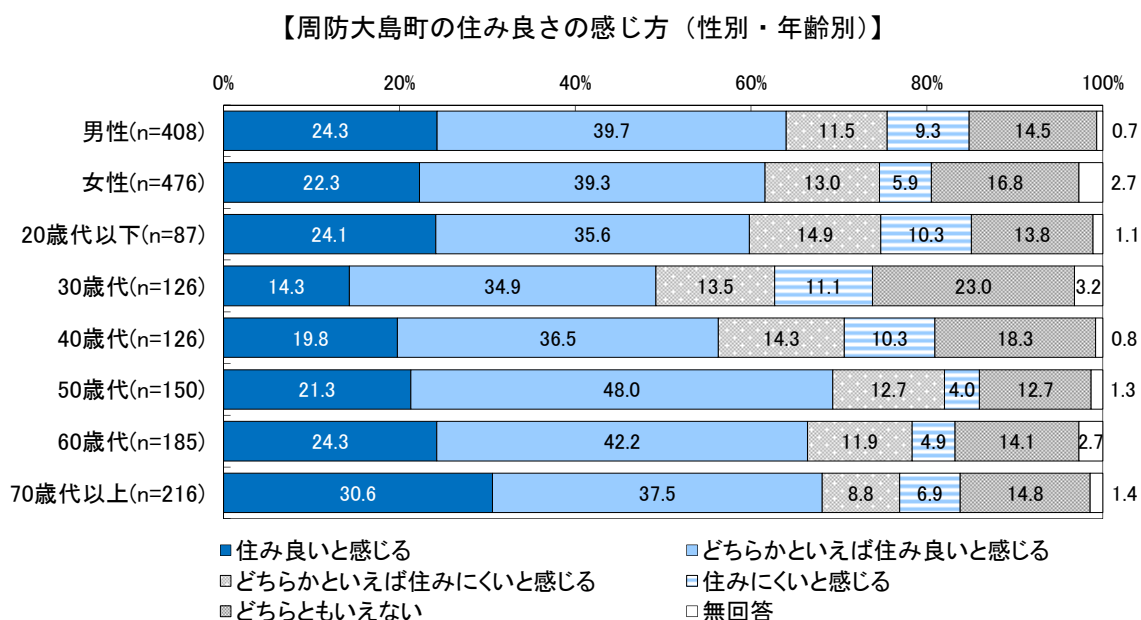
### 3 周防大島町での暮らしについて

#### (1) 周防大島町の住み良さの感じ方

問 11 あなたは、周防大島町を「住み良い」まちだと感じていますか。【〇は1つ】



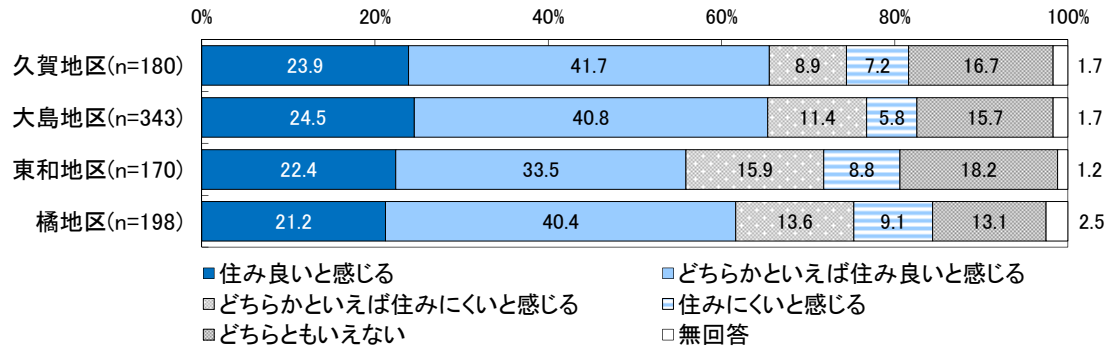
周防大島町の住み良さの感じ方について、『住み良いと感じる』（「住み良いと感じる」＋「どちらかといえば住み良いと感じる」）と回答した人の割合が 62.9%、『住みにくいと感じる』（「住みにくいと感じる」＋「どちらかといえば住みにくいと感じる」）と回答した人の割合が 19.3%となっている。



性別にみると、『住み良いと感じる』と回答した人の割合は、男女ともに6割を超えている。

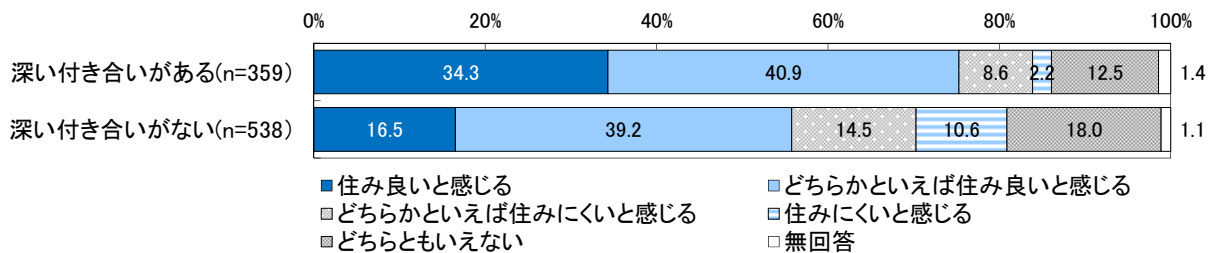
年齢別にみると、『住み良いと感じる』と回答した人の割合は、50歳代、60歳代、70歳代以上では6割台となっているが、30歳代では5割を下回っている。

【周防大島町の住み良さの感じ方（地区別）】



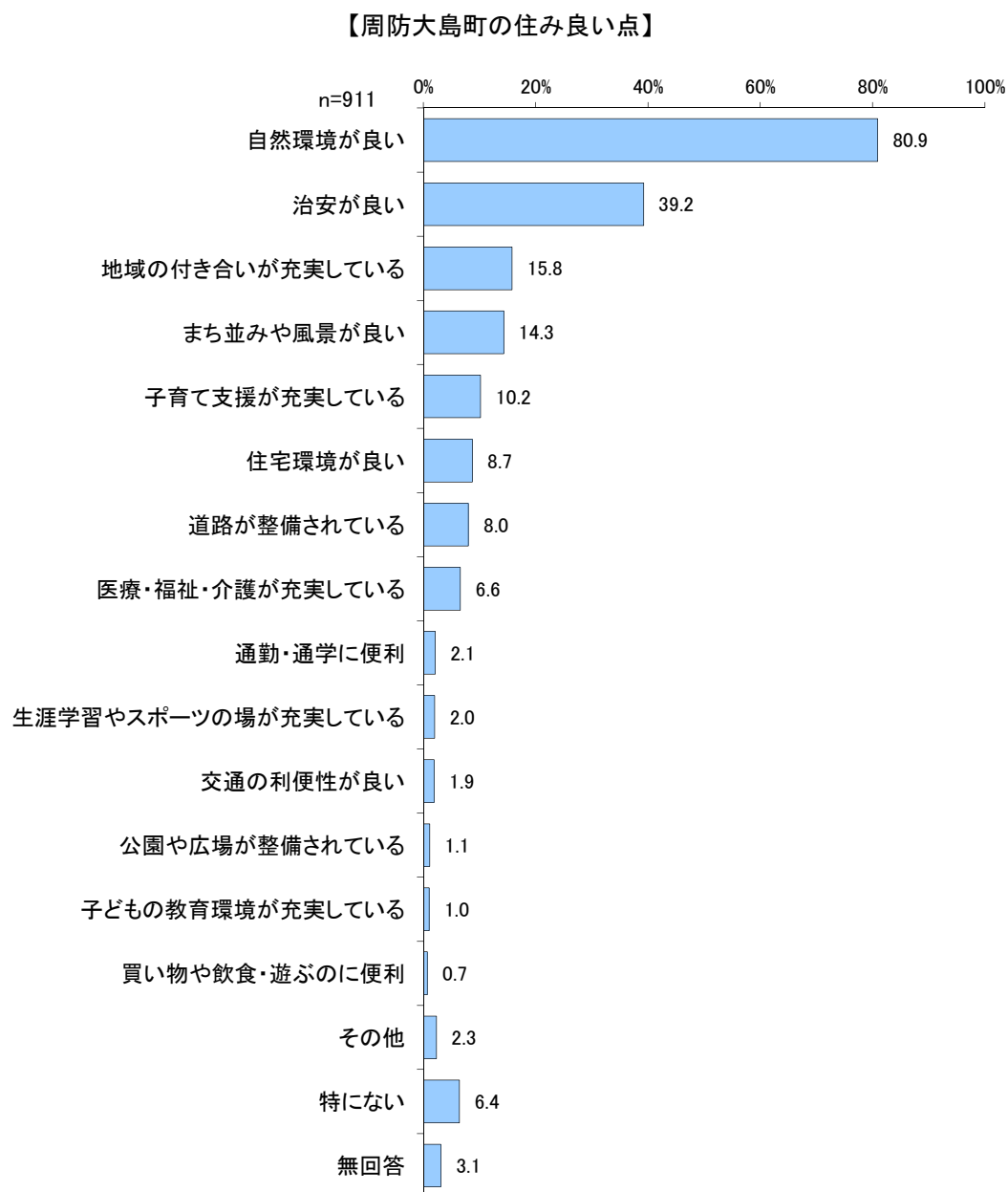
地区別にみると、『住み良いと感じる』と回答した人の割合は、東和地区が5割台であるが、他の地区は6割台となっている。

【周防大島町の住み良さの感じ方（近所付き合いの程度別）】



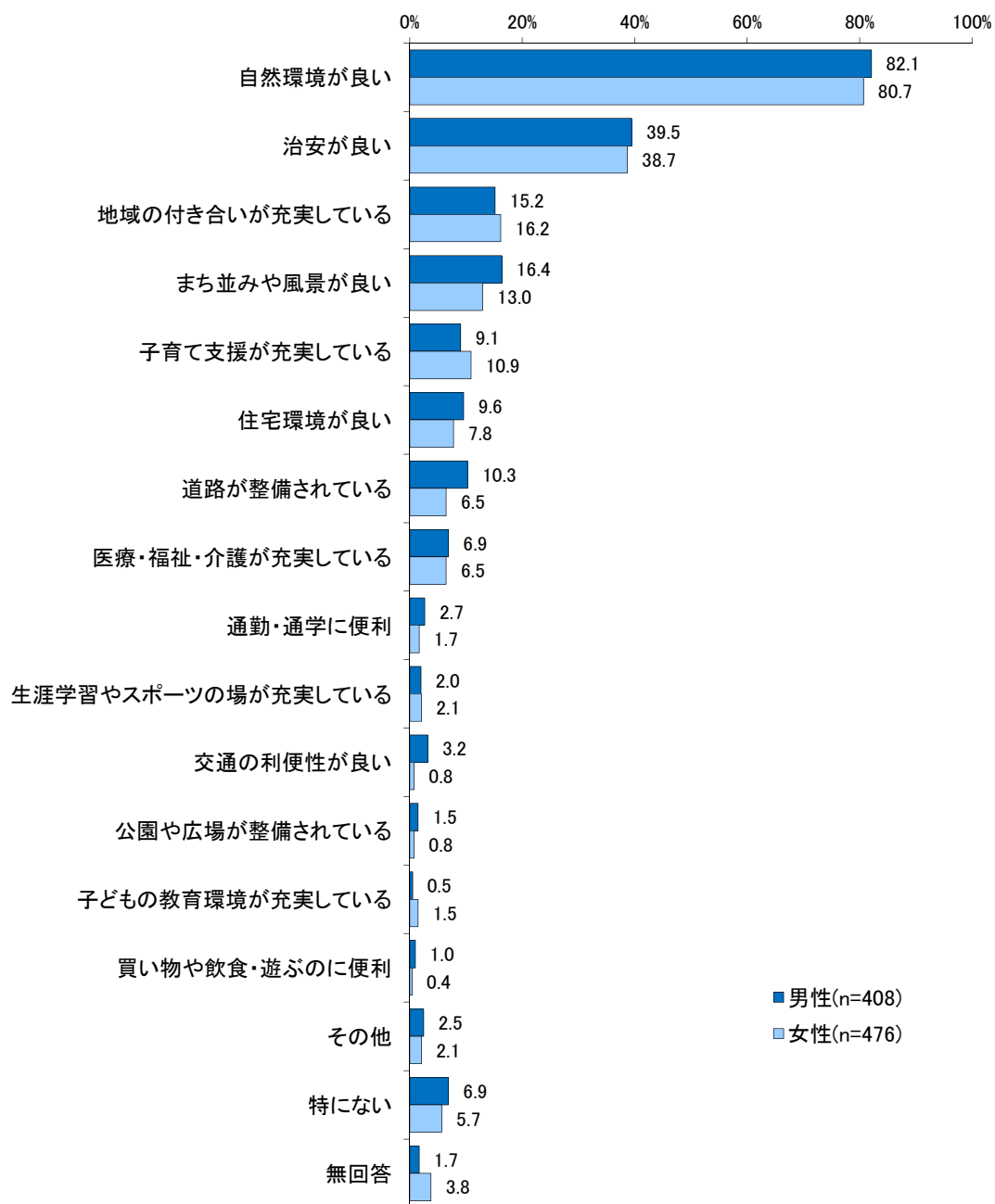
近所付き合いの程度別にみると、『住み良いと感じる』と回答した人の割合は、「深い付き合いがある」と回答した層で7割を超えているが、「深い付き合いがない」と回答した層では5割台となっている。

問 12 あなたは、周防大島町の「住み良い」ところは主にどのようなところだと思いますか。  
問 11 の回答にかかわらずご回答ください。【〇は3つまで】



周防大島町の住み良い点について、「自然環境が良い」と回答した人の割合が 80.9%と最も高く、次いで「治安が良い」(39.2%)となっている。

【周防大島町の住み良い点（性別）】



性別にみると、男女ともに「自然環境が良い」と回答した人の割合が最も高く、次いで「治安が良い」となっている。

【周防大島町の住み良い点（年齢別）】

|        | 回答数 | 自然環境<br>が良い | 治安が良<br>い | 地域の付<br>き合いが<br>充実して<br>いる | まち並み<br>や風景が<br>良い | 子育て支<br>援が充実<br>している | 住宅環境<br>が良い | 道路が整<br>備されて<br>いる | 医療・福<br>祉・介護<br>が充実し<br>ている | 通勤・通<br>学に便利 |
|--------|-----|-------------|-----------|----------------------------|--------------------|----------------------|-------------|--------------------|-----------------------------|--------------|
| 20歳代以下 | 87  | 81.6%       | 32.2%     | 12.6%                      | 31.0%              | 5.7%                 | 2.3%        | 9.2%               | 3.4%                        | 6.9%         |
| 30歳代   | 126 | 80.2%       | 36.5%     | 15.9%                      | 15.1%              | 26.2%                | 7.9%        | 6.3%               | 4.0%                        | 4.8%         |
| 40歳代   | 126 | 84.1%       | 34.9%     | 11.1%                      | 15.9%              | 21.4%                | 11.1%       | 7.9%               | —                           | 2.4%         |
| 50歳代   | 150 | 84.7%       | 41.3%     | 9.3%                       | 16.7%              | 9.3%                 | 5.3%        | 8.7%               | 4.0%                        | 2.7%         |
| 60歳代   | 185 | 82.7%       | 43.2%     | 17.8%                      | 13.5%              | 3.2%                 | 9.2%        | 9.2%               | 6.5%                        | —            |
| 70歳代以上 | 216 | 75.9%       | 39.4%     | 21.8%                      | 6.0%               | 1.4%                 | 12.0%       | 7.9%               | 15.3%                       | —            |

|        | 回答数 | 生涯学習<br>やスポーツの場が<br>充実している | 交通の利<br>便性が良<br>い | 公園や広<br>場が整備<br>されている | 子どもの<br>教育環境<br>が充実し<br>ている | 買い物や<br>飲食・遊<br>ぶのに便<br>利 | その他  | 特にな  | 無回答  |
|--------|-----|----------------------------|-------------------|-----------------------|-----------------------------|---------------------------|------|------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 2.3%                       | 4.6%              | 1.1%                  | 1.1%                        | 1.1%                      | 1.1% | 3.4% | 2.3% |
| 30歳代   | 126 | 0.8%                       | —                 | 0.8%                  | 4.8%                        | —                         | 0.8% | 3.2% | 2.4% |
| 40歳代   | 126 | 3.2%                       | —                 | 1.6%                  | 1.6%                        | —                         | 5.6% | 4.8% | 0.8% |
| 50歳代   | 150 | 0.7%                       | 3.3%              | 0.7%                  | —                           | 0.7%                      | 2.0% | 9.3% | 0.7% |
| 60歳代   | 185 | 3.2%                       | 1.6%              | 1.6%                  | —                           | 1.6%                      | 0.5% | 7.6% | 4.3% |
| 70歳代以上 | 216 | 1.9%                       | 2.3%              | 0.9%                  | —                           | 0.5%                      | 3.7% | 6.9% | 5.1% |

年齢別にみると、いずれの年齢層も「自然環境が良い」と回答した人の割合が最も高くなっている。

「まち並みや風景が良い」と回答した人の割合は、20歳以下で3割を超えている。

「地域の付き合いが充実している」と回答した人の割合は、70歳代以上で2割を超えている。

「子育て支援が充実している」と回答した人の割合は、30歳代、40歳代で2割を超えている。

【周防大島町の住み良い点（地区別）】

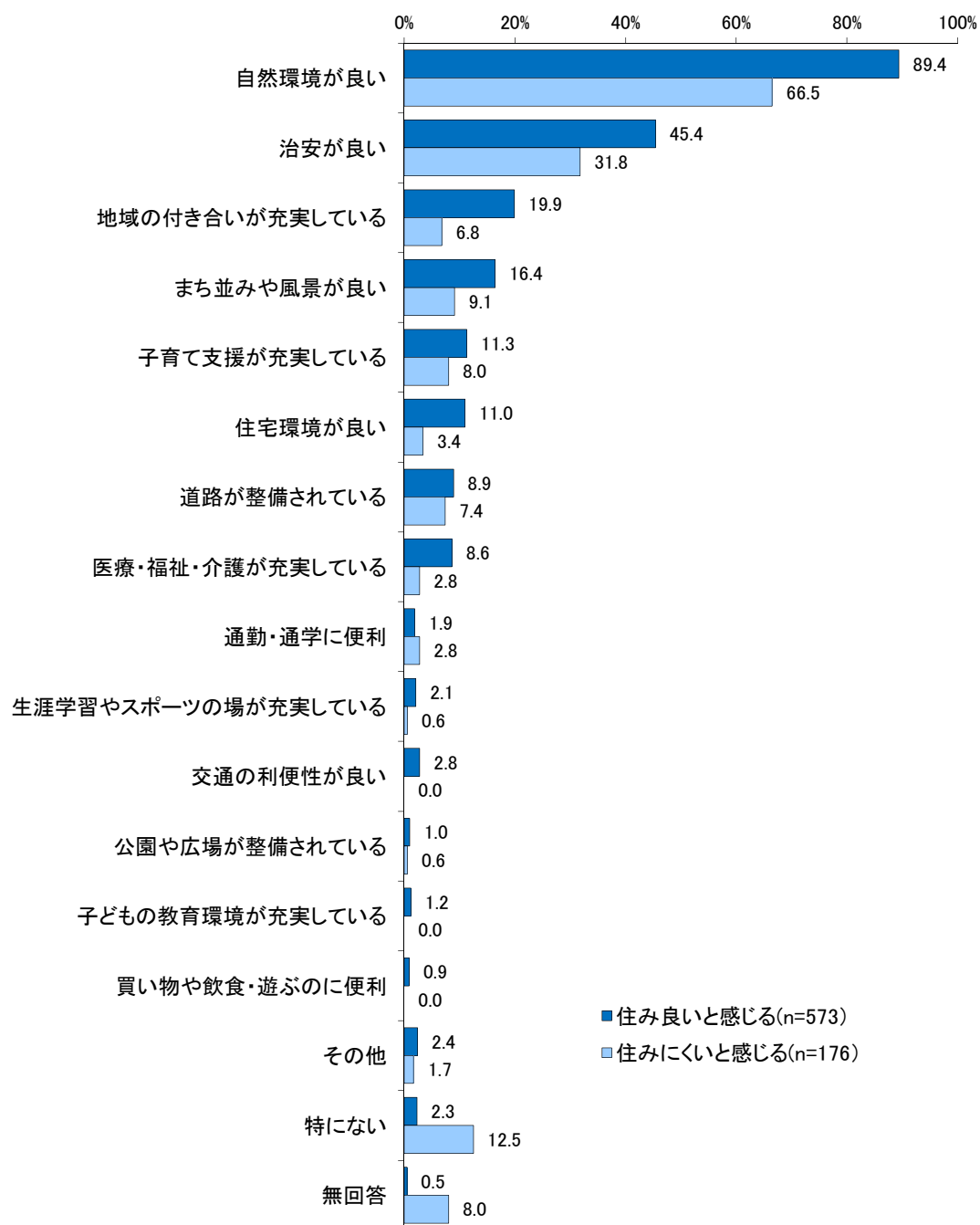
|      | 回答数 | 自然環境<br>が良い | 治安が良<br>い | 地域の付<br>き合いが<br>充実して<br>いる | まち並み<br>や風景が<br>良い | 子育て支<br>援が充実<br>している | 住宅環境<br>が良い | 道路が整<br>備されて<br>いる | 医療・福<br>祉・介護<br>が充実し<br>ている | 通勤・通<br>学に便利 |
|------|-----|-------------|-----------|----------------------------|--------------------|----------------------|-------------|--------------------|-----------------------------|--------------|
| 久賀地区 | 180 | 79.4%       | 35.0%     | 12.8%                      | 16.7%              | 10.0%                | 5.0%        | 6.1%               | 4.4%                        | 1.1%         |
| 大島地区 | 343 | 80.5%       | 39.4%     | 13.4%                      | 10.5%              | 12.2%                | 10.8%       | 7.3%               | 7.0%                        | 3.8%         |
| 東和地区 | 170 | 81.2%       | 40.0%     | 18.8%                      | 12.4%              | 6.5%                 | 7.6%        | 8.8%               | 6.5%                        | 0.6%         |
| 橘地区  | 198 | 83.3%       | 40.9%     | 19.2%                      | 21.2%              | 9.1%                 | 8.6%        | 11.1%              | 8.1%                        | 1.5%         |

|      | 回答数 | 生涯学習<br>やスポーツの場が<br>充実している | 交通の利<br>便性が良<br>い | 公園や広<br>場が整備<br>されている | 子どもの<br>教育環境<br>が充実し<br>ている | 買い物や<br>飲食・遊<br>ぶのに便<br>利 | その他  | 特にな  | 無回答  |
|------|-----|----------------------------|-------------------|-----------------------|-----------------------------|---------------------------|------|------|------|
| 久賀地区 | 180 | 3.3%                       | 1.7%              | 0.6%                  | 1.1%                        | 1.1%                      | 2.2% | 8.9% | 2.8% |
| 大島地区 | 343 | 2.3%                       | 2.9%              | 1.2%                  | 1.2%                        | 0.3%                      | 2.6% | 5.8% | 3.2% |
| 東和地区 | 170 | 1.2%                       | 1.2%              | 0.6%                  | —                           | —                         | 2.4% | 5.9% | 2.4% |
| 橘地区  | 198 | 1.0%                       | 1.0%              | 2.0%                  | 1.5%                        | 1.5%                      | 2.0% | 5.1% | 3.0% |

地区別にみると、いずれの地区も「自然環境が良い」と回答した人の割合が最も高くなっている。

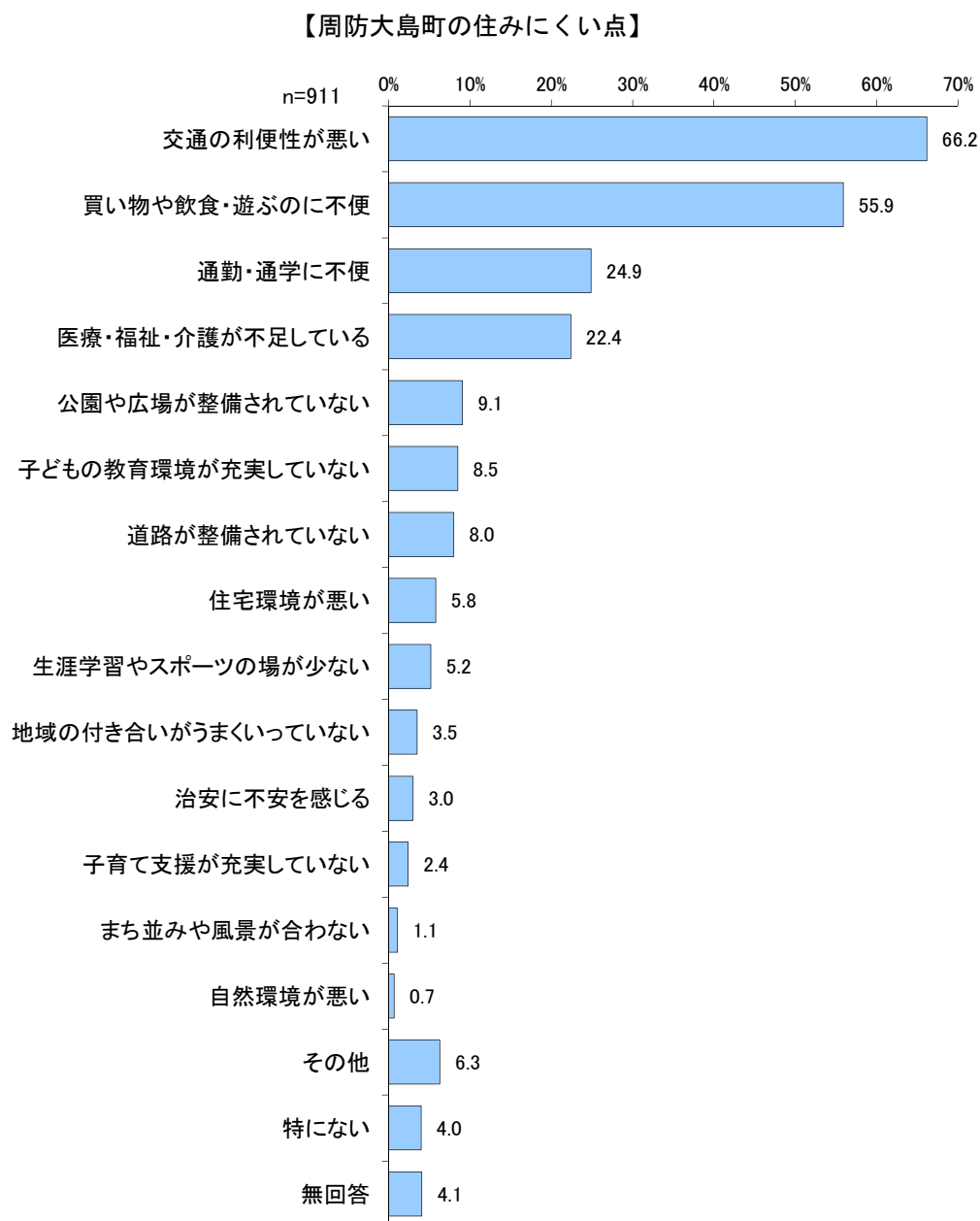
「まち並みや風景が良い」と回答した人の割合は橘地区で2割を超えている。

【周防大島町の住み良い点（住み良さの感じ方別）】



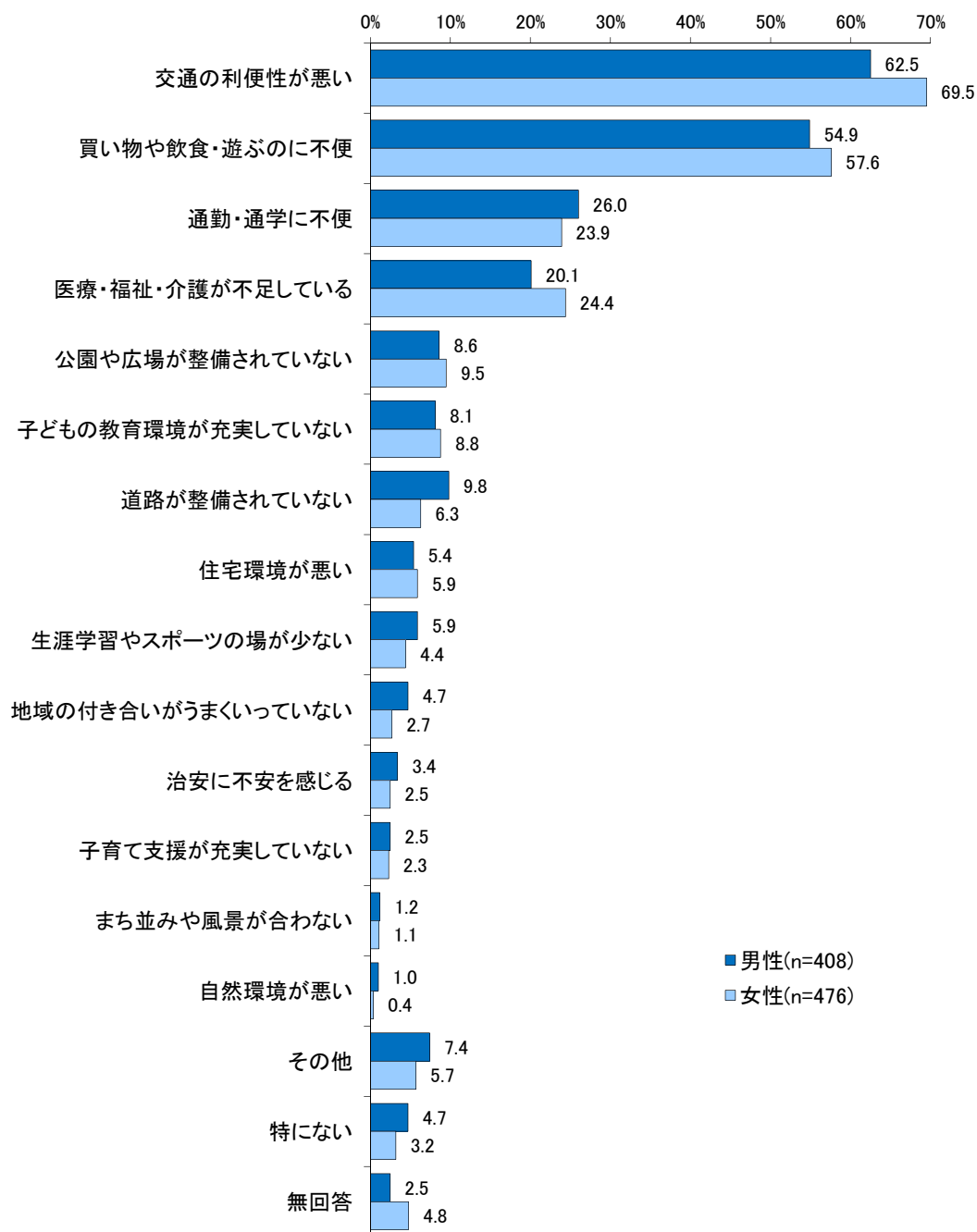
住み良さの感じ方別にみると、住み良いと感じると回答した層、住みにくいと感じると回答した層ともに「自然環境が良い」と回答した人の割合が最も高くなっているが、住み良いと感じると回答した層では約9割となっている。

問 13 あなたは、周防大島町の「住みにくい」ところは主にどのようなところだと思いますか。  
問 11 の回答にかかわらずご回答ください。【〇は3つまで】



周防大島町の住みにくい点について、「交通の利便性が悪い」と回答した人の割合が 66.2%と最も高く、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」(55.9%)、「通勤・通学に不便」(24.9%)、「医療・福祉・介護が不足している」(22.4%)が続いている。

【周防大島町の住みにくい点（性別）】



性別にみると、男女ともに「交通の利便性が悪い」と回答した人の割合が最も高く、次いで「買い物や飲食・遊ぶのに不便」となっている。

【周防大島町の住みにくい点（年齢別）】

|        | 回答数 | 交通の利便性が悪い | 買い物や飲食・遊ぶのに不便 | 通勤・通学に不便 | 医療・福祉・介護が不足している | 公園や広場が整備されていない | 子どもの教育環境が充実していない | 道路が整備されていない | 住宅環境が悪い | 生涯学習やスポーツの場が少ない |
|--------|-----|-----------|---------------|----------|-----------------|----------------|------------------|-------------|---------|-----------------|
| 20歳代以下 | 87  | 70.1%     | 72.4%         | 40.2%    | 13.8%           | 8.0%           | 4.6%             | 9.2%        | 9.2%    | 5.7%            |
| 30歳代   | 126 | 58.7%     | 57.1%         | 28.6%    | 32.5%           | 14.3%          | 19.0%            | 4.0%        | 11.1%   | 4.8%            |
| 40歳代   | 126 | 64.3%     | 57.1%         | 40.5%    | 21.4%           | 9.5%           | 16.7%            | 3.2%        | 8.7%    | 7.1%            |
| 50歳代   | 150 | 68.7%     | 56.7%         | 28.7%    | 26.0%           | 6.7%           | 7.3%             | 8.0%        | 2.7%    | 4.0%            |
| 60歳代   | 185 | 67.6%     | 55.7%         | 18.9%    | 21.6%           | 9.7%           | 3.8%             | 10.8%       | 4.9%    | 7.0%            |
| 70歳代以上 | 216 | 67.1%     | 48.6%         | 9.3%     | 18.5%           | 6.9%           | 3.7%             | 9.7%        | 1.9%    | 2.8%            |

|        | 回答数 | 地域の付き合いがうまくいっていない | 治安に不安を感じる | 子育て支援が充実していない | まち並みや風景が合わない | 自然環境が悪い | その他  | 特にない | 無回答  |
|--------|-----|-------------------|-----------|---------------|--------------|---------|------|------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 2.3%              | 2.3%      | 1.1%          | 3.4%         | －       | 1.1% | 4.6% | 3.4% |
| 30歳代   | 126 | 1.6%              | 1.6%      | 6.3%          | 0.8%         | －       | 5.6% | 2.4% | 4.0% |
| 40歳代   | 126 | 4.0%              | 1.6%      | 3.2%          | 1.6%         | 0.8%    | 7.9% | 1.6% | 2.4% |
| 50歳代   | 150 | 2.7%              | 3.3%      | 1.3%          | 0.7%         | 0.7%    | 8.0% | 3.3% | 2.7% |
| 60歳代   | 185 | 3.2%              | 3.2%      | 1.6%          | 1.1%         | 0.5%    | 5.4% | 3.8% | 1.6% |
| 70歳代以上 | 216 | 6.0%              | 4.2%      | 1.4%          | 0.5%         | 1.4%    | 7.4% | 6.5% | 7.9% |

年齢別にみると、いずれの年齢層も「交通の利便性が悪い」、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合が上位となっているが、特に20歳代以下で7割を超えている。

「通勤・通学に不便」と回答した人の割合は、20歳代以下、40歳代で4割を超えている。

「医療・福祉・介護が不足している」と回答した人の割合は、30歳代で3割を超えている。

「子どもの教育環境が充実していない」と回答した人の割合は、30歳代、40歳代で1割台後半となっている。

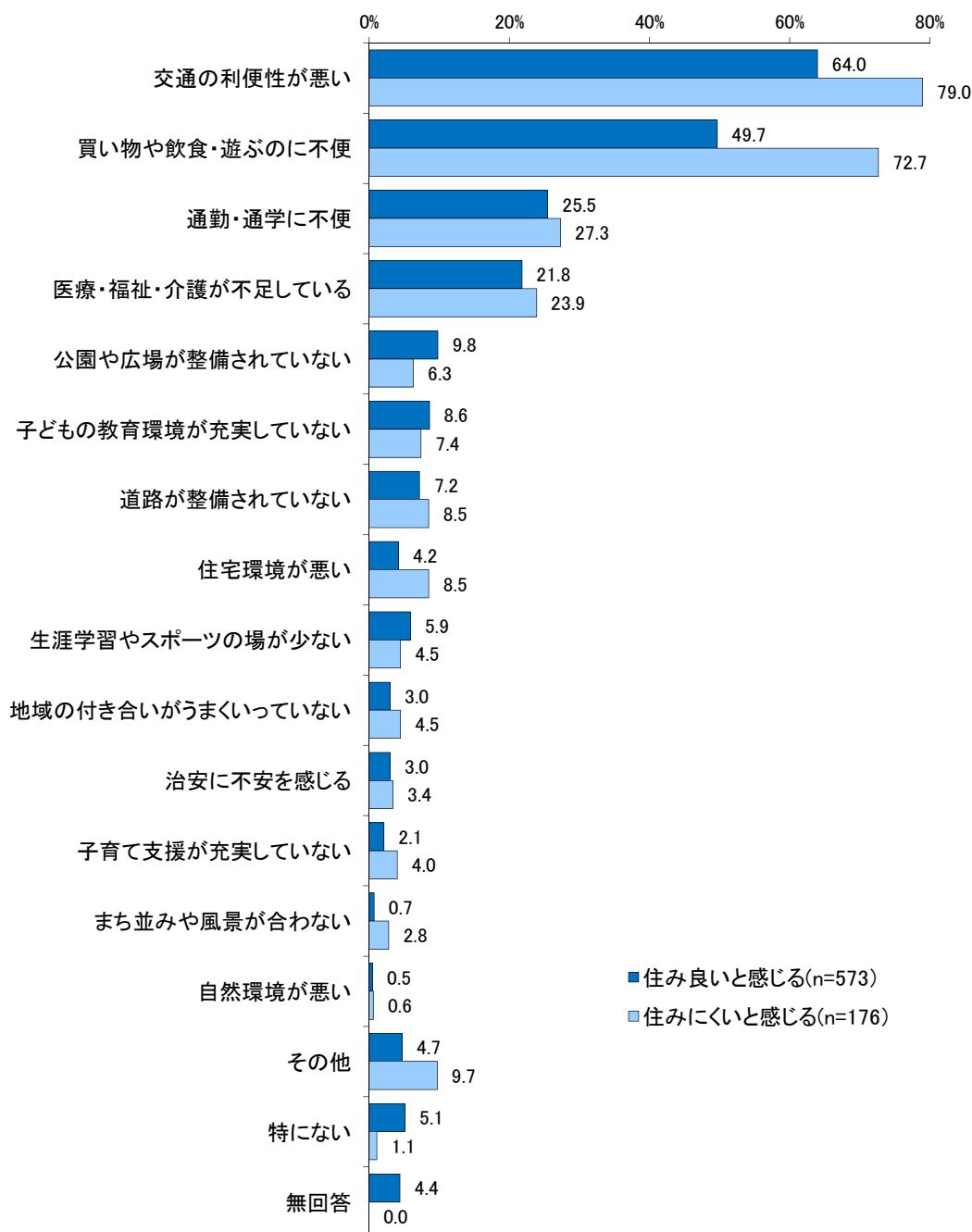
【周防大島町の住みにくい点（地区別）】

|      | 回答数 | 交通の利便性が悪い | 買い物や飲食・遊ぶのに不便 | 通勤・通学に不便 | 医療・福祉・介護が不足している | 公園や広場が整備されていない | 子どもの教育環境が充実していない | 道路が整備されていない | 住宅環境が悪い | 生涯学習やスポーツの場が少ない |
|------|-----|-----------|---------------|----------|-----------------|----------------|------------------|-------------|---------|-----------------|
| 久賀地区 | 180 | 60.6%     | 48.9%         | 27.2%    | 27.8%           | 10.0%          | 6.7%             | 4.4%        | 7.2%    | 5.6%            |
| 大島地区 | 343 | 65.6%     | 53.6%         | 23.3%    | 19.5%           | 11.1%          | 9.0%             | 7.3%        | 3.8%    | 3.5%            |
| 東和地区 | 170 | 67.1%     | 60.6%         | 28.8%    | 18.8%           | 6.5%           | 9.4%             | 9.4%        | 6.5%    | 5.9%            |
| 橘地区  | 198 | 71.2%     | 63.1%         | 22.2%    | 25.3%           | 7.1%           | 7.6%             | 10.6%       | 6.6%    | 6.6%            |

|      | 回答数 | 地域の付き合いがうまくいっていない | 治安に不安を感じる | 子育て支援が充実していない | まち並みや風景が合わない | 自然環境が悪い | その他  | 特にない | 無回答  |
|------|-----|-------------------|-----------|---------------|--------------|---------|------|------|------|
| 久賀地区 | 180 | 3.9%              | 1.7%      | 0.6%          | 1.1%         | －       | 3.9% | 6.1% | 5.6% |
| 大島地区 | 343 | 4.4%              | 2.9%      | 3.8%          | 1.5%         | 1.2%    | 6.7% | 4.1% | 3.5% |
| 東和地区 | 170 | 3.5%              | 2.9%      | 1.8%          | 1.2%         | 0.6%    | 7.1% | 3.5% | 2.4% |
| 橘地区  | 198 | 2.0%              | 4.0%      | 2.0%          | 0.5%         | 0.5%    | 7.6% | 2.0% | 4.5% |

地区別にみると、いずれの地区も「交通の利便性が悪い」、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合が上位となっているが、「交通の利便性が悪い」と回答した人の割合は橘地区で7割を超え、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合は東和地区、橘地区で6割を超えている。

【周防大島町の住みにくい点（住み良さの感じ方別）】

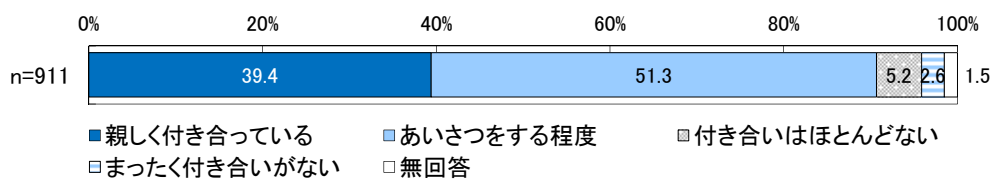


住み良さの感じ方別にみると、住み良いと感じると回答した層、住みにくいと感じると回答した層ともに「交通の利便性が悪い」、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合が上位となっているが、住みにくいと感じると回答した層では、「交通の利便性が悪い」と回答した人の割合が約8割、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合が7割を超えている。

## (2) 近所付き合いの状況

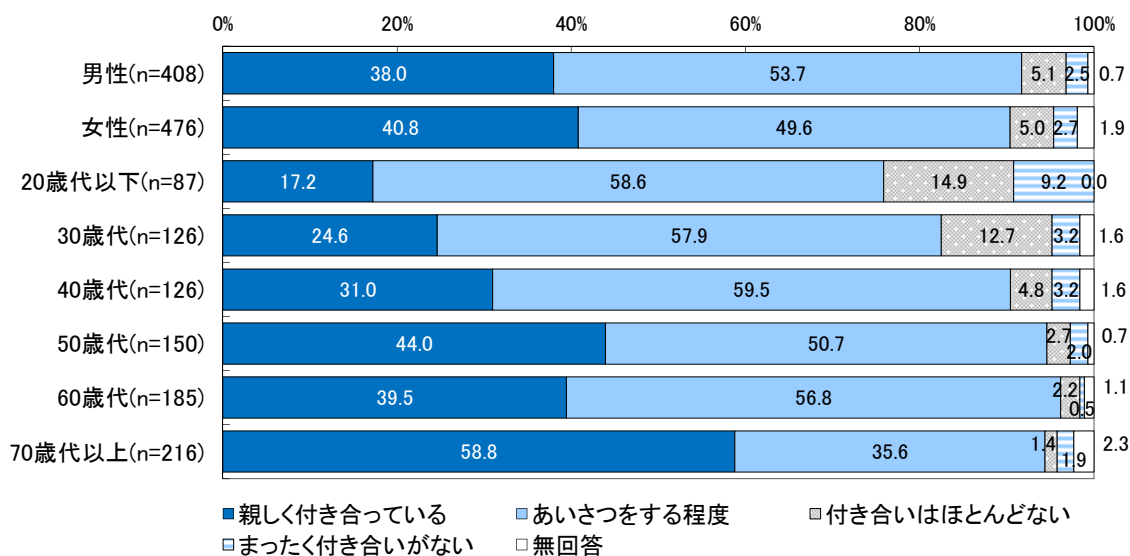
問 14 あなたは、ご近所の人とどのようなお付き合いをされていますか。【〇は1つ】

【近所付き合いの状況】



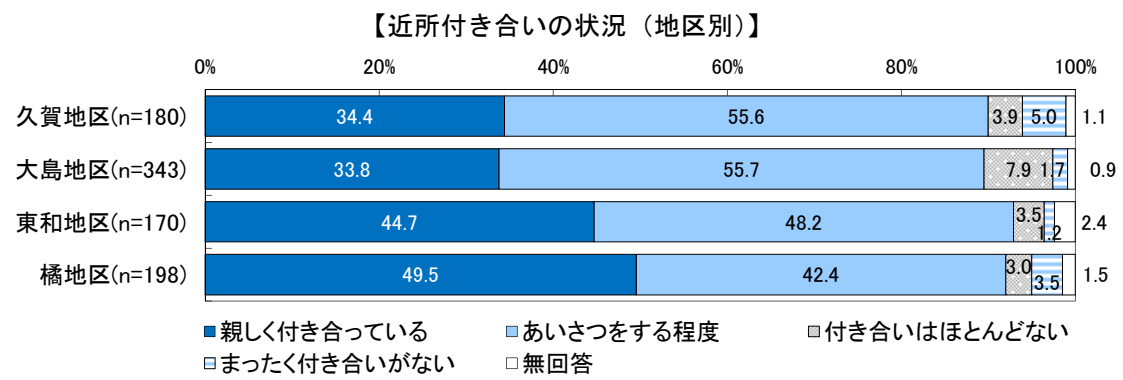
近所付き合いの状況について、「親しく付き合っている」と回答した人の割合が 39.4%、「あいさつをする程度」と回答した人の割合が 51.3%、『付き合いはほとんどない』（「まったく付き合いがない」＋「付き合いはほとんどない」）と回答した人の割合が 7.8%となっている。

【近所付き合いの状況（性別・年齢別）】



性別にみると、「親しく付き合っている」と回答した人の割合は、男女ともに4割前後となっている。

年齢別にみると、「親しく付き合っている」と回答した人の割合は、70歳代以上で6割に近くなっているが、20歳代以下では1割台、30歳代では2割台となっている。

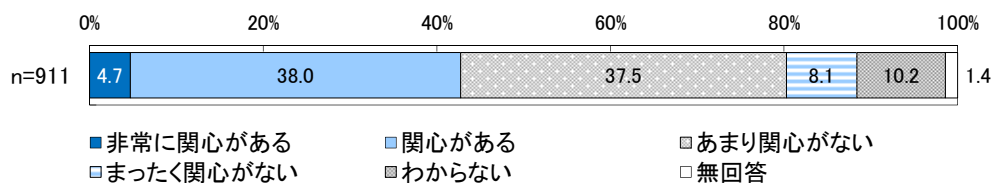


地区別にみると、「親しく付き合っている」と回答した人の割合は、橘地区、東和地区で4割台となっている。

### (3) 自治会や地域活動の状況

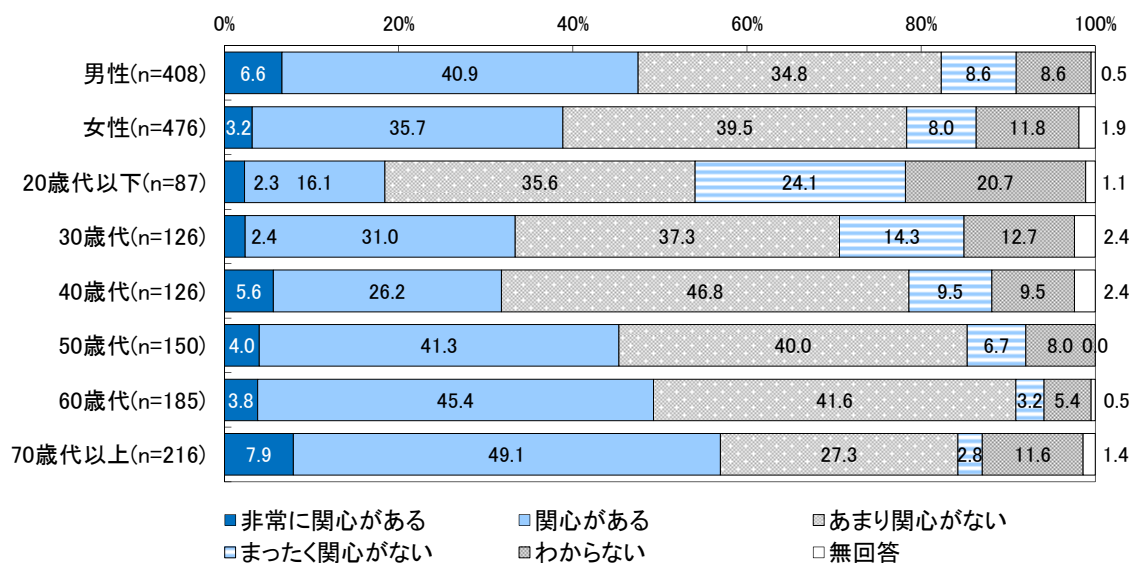
問 15 あなたは、自治会や地域の活動について関心がありますか。【○は1つ】

【自治会や地域活動への関心度】



自治会や地域活動への関心度について、『関心がある』（「非常に興味がある」＋「興味がある」）と回答した人の割合が42.7%、『関心がない』（「まったく関心がない」＋「あまり関心がない」）と回答した人の割合が45.6%となっている。

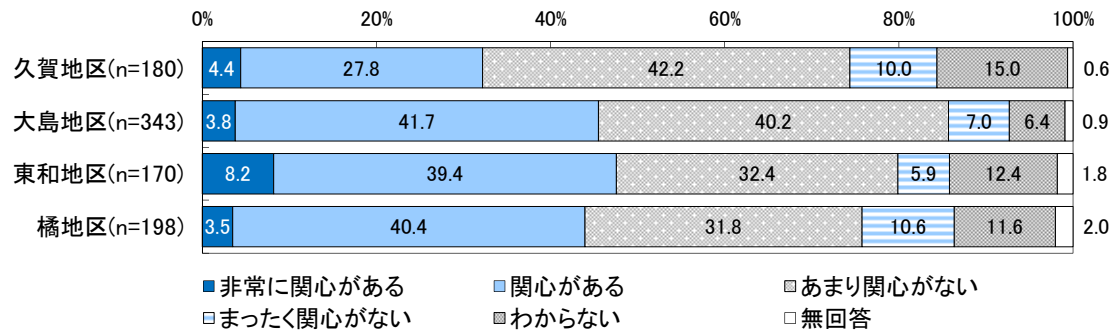
【自治会や地域活動への関心度（性別・年齢別）】



性別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、男性で4割台後半となっているが、女性では3割台となっている。

年齢別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、70歳代以上で5割台後半となっているが、若い世代では低く、20歳代以下、30歳代、40歳代では『関心がない』と回答した人の割合が5割を超えている。

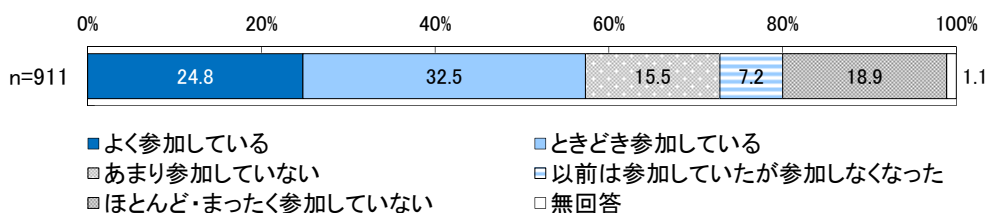
【自治会や地域活動への関心度（地区別）】



地区別にみると、『興味がある』と回答した人の割合は、大島地区、東和地区、橘地区では4割台となっているが、久賀地区では3割台前半である。

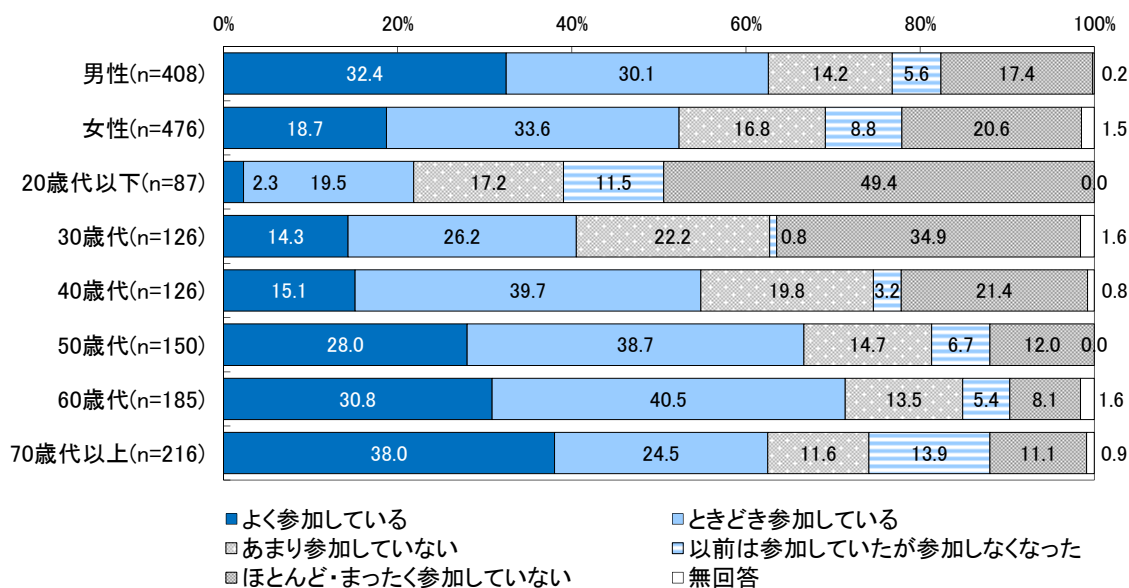
問 16 あなたは、自治会や地域の活動にどのくらい参加していますか。【〇は1つ】

【自治会や地域活動への参加頻度】



自治会や地域活動への参加頻度について、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）と回答した人の割合が 57.3%、『参加していない』（「ほとんど・まったく参加していない」＋「以前は参加していたが参加しなくなった」＋「あまり参加していない」）と回答した人の割合が 41.6%となっている。

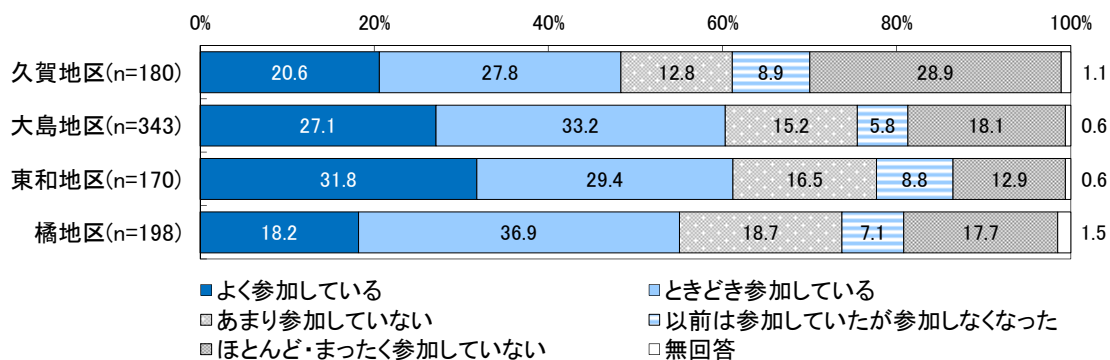
【自治会や地域活動への参加頻度（性別・年齢別）】



性別にみると、『参加している』と回答した人の割合は、男性で6割を超えているが、女性では5割前半となっている。

年齢別にみると、『参加している』と回答した人の割合は、60歳代で7割を超えているが、若い世代では低く、20歳代以下では「ほとんど・まったく参加していない」と回答した人の割合が約5割となっている。

【自治会や地域活動への参加頻度（地区別）】

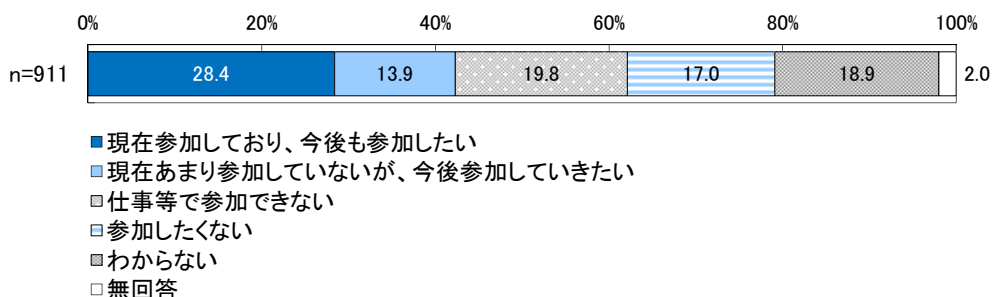


地区別にみると、『参加している』と回答した人の割合は、大島地区、東和地区で6割を超えている。

一方、「ほとんど・まったく参加していない」と回答した人の割合は、久賀地区で2割台後半となっている。

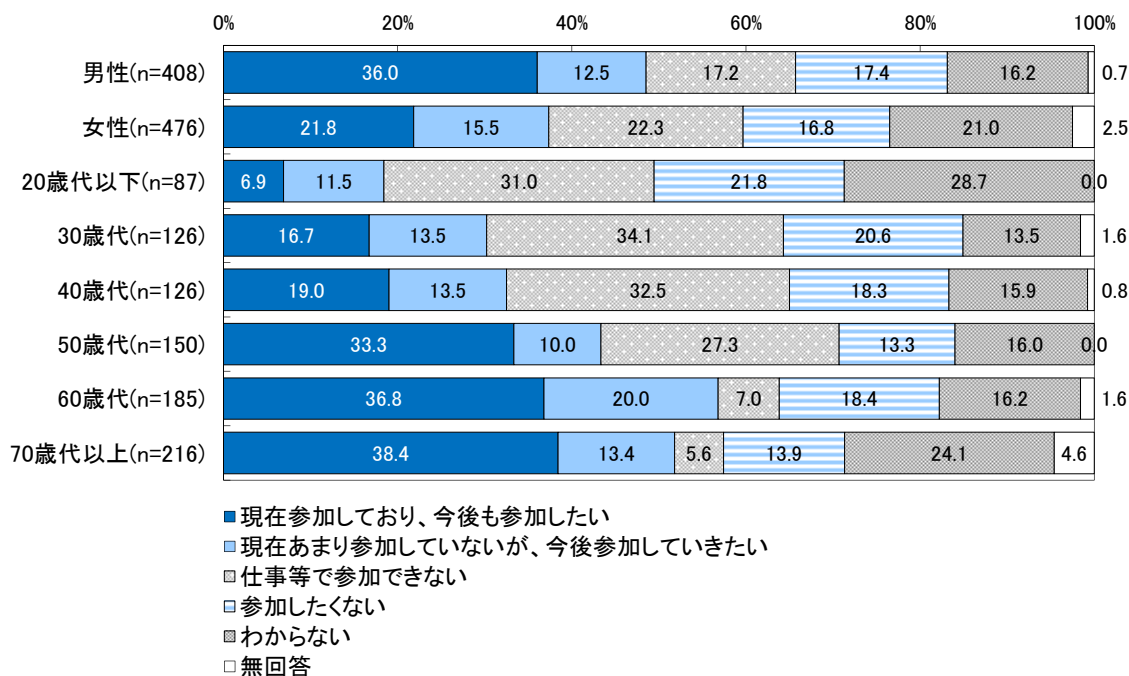
問 17 あなたは、自治会や地域の活動に参加したいと思いますか。【○は1つ】

【自治会や地域活動への参加意向】



自治会や地域活動への参加意向について、『参加したい』（「現在参加しており、今後も参加したい」＋「現在あまり参加していないが、今後参加していきたい」）と回答した人の割合が 42.3%、「仕事等で参加できない」と回答した人の割合が 19.8%、「参加したくない」と回答した人の割合が 17.0%となっている。

【自治会や地域活動への参加意向（性別・年齢別）】

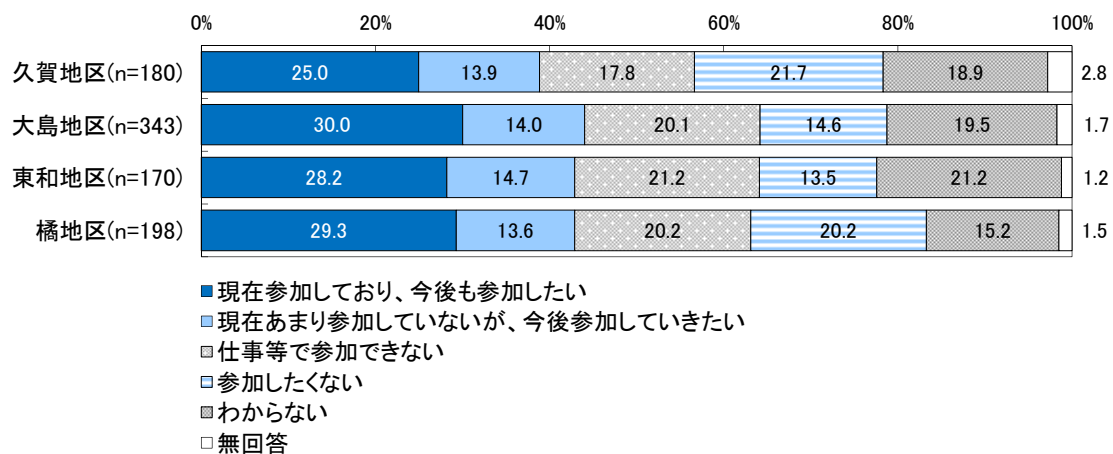


性別にみると、『参加したい』と回答した人の割合は、男性で5割に近くなっているが、女性では3割台となっている。

年齢別にみると、『参加したい』と回答した人の割合は、60歳代、70歳代以上で5割を超えている。

また、20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代のいずれにおいても「現在あまり参加していないが、今後参加していきたい」と回答した人の割合が1割台となっている。

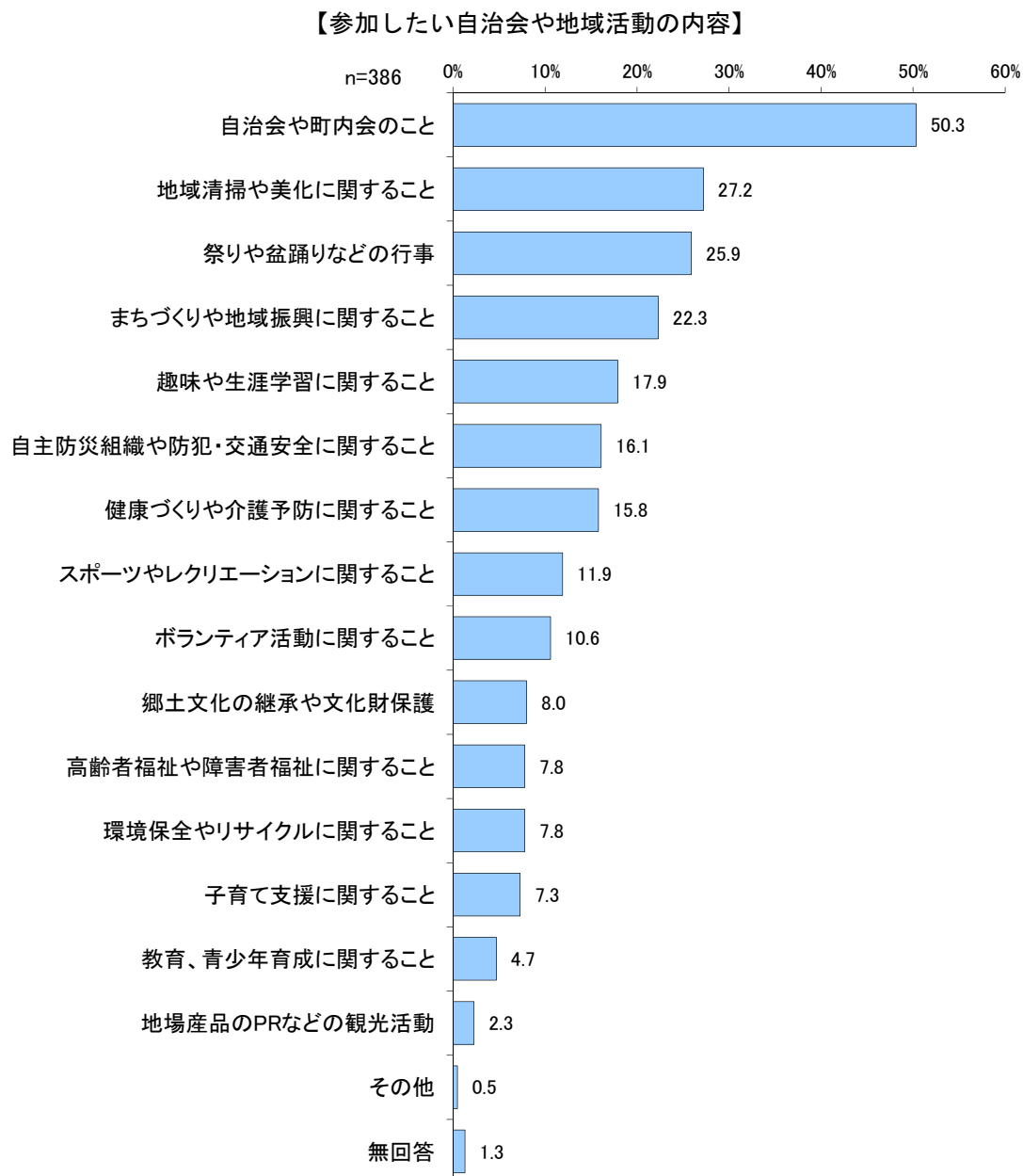
【自治会や地域活動への参加意向（地区別）】



地区別にみると、『参加したい』と回答した人の割合は、大島地区、東和地区、橘地区で4割台、久賀地区で3割台となっている。

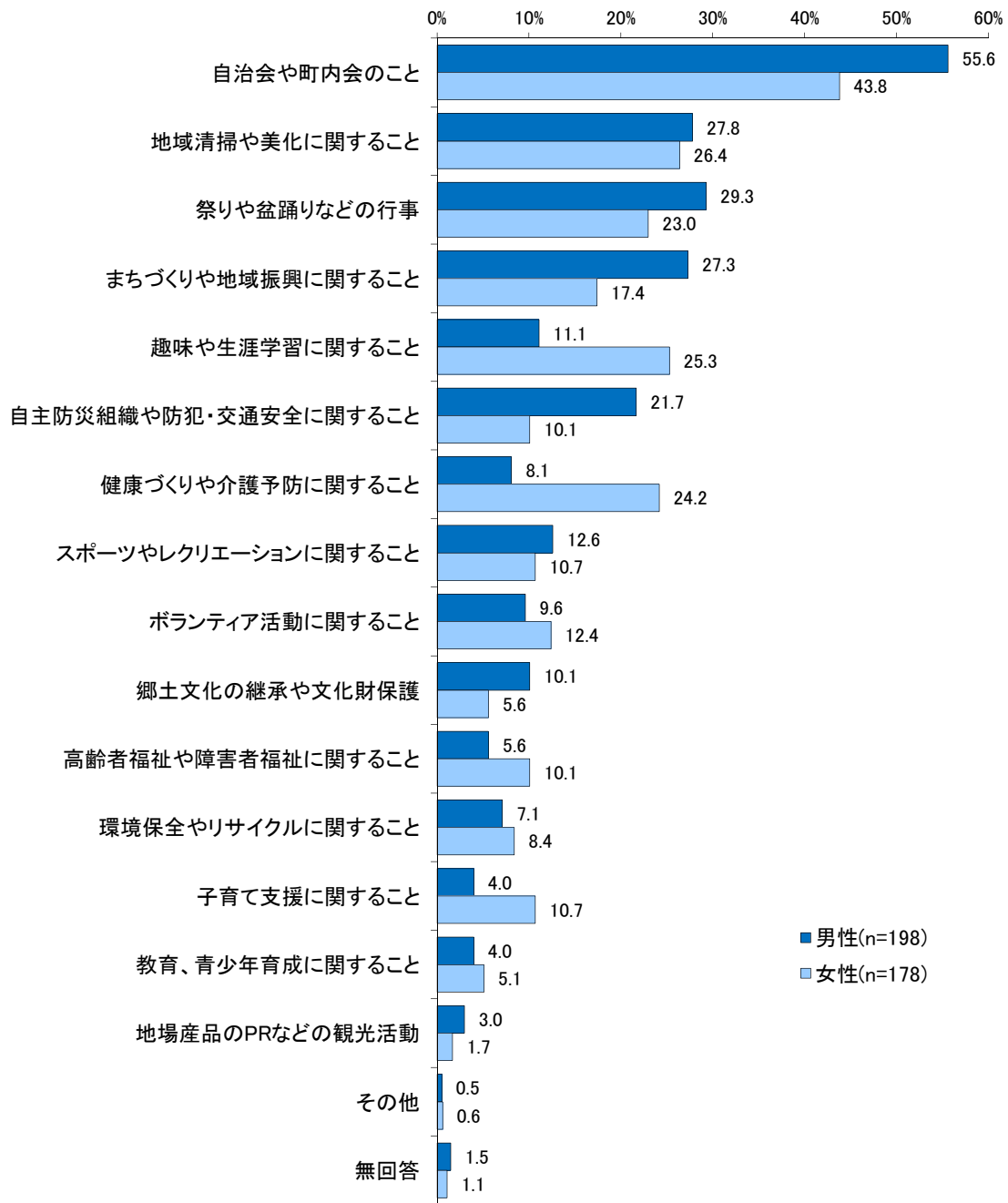
問 17 で「1」または「2」（『参加したい』）と回答した人のみ回答

問 17-1 あなたは、どのような活動に参加したいですか。【〇は3つまで】



参加したい自治会や地域活動の内容について、「自治会や町内会のこと」と回答した人の割合が 50.3%と最も高く、「地域清掃や美化に関すること」（27.2%）、「祭りや盆踊りなどの行事」（25.9%）、「まちづくりや地域振興に関すること」（22.3%）が続いている。

【参加したい自治会や地域活動の内容（性別）】



性別にみると、男女ともに「自治会や町内会のこと」と回答した人の割合が最も高くなっており、男性は「祭りや盆踊りなどの行事」、「地域清掃や美化に関すること」、「まちづくりや地域振興に関すること」、「自主防災組織や防犯・交通安全に関すること」、女性は「地域清掃や美化に関すること」、「趣味や生涯学習に関すること」、「健康づくりや介護予防に関すること」、「祭りや盆踊りなどの行事」が続いている。

【参加したい自治会や地域活動の内容（年齢別）】

|        | 回答数 | 自治会や町内会のこと | 地域清掃や美化に関すること | 祭りや盆踊りなどの行事 | まちづくりや地域振興に関すること | 趣味や生涯学習に関すること | 自主防災組織や防犯・交通安全に関すること | 健康づくりや介護予防に関すること | スポーツやレクリエーションに関すること | ボランティア活動に関すること |
|--------|-----|------------|---------------|-------------|------------------|---------------|----------------------|------------------|---------------------|----------------|
| 20歳代以下 | 16  | 25.0%      | 12.5%         | 37.5%       | 25.0%            | 25.0%         | 6.3%                 | 6.3%             | 18.8%               | 25.0%          |
| 30歳代   | 38  | 26.3%      | 23.7%         | 39.5%       | 50.0%            | 10.5%         | 7.9%                 | 2.6%             | 26.3%               | 2.6%           |
| 40歳代   | 41  | 41.5%      | 17.1%         | 36.6%       | 24.4%            | 14.6%         | 31.7%                | 4.9%             | 22.0%               | 14.6%          |
| 50歳代   | 65  | 53.8%      | 32.3%         | 30.8%       | 20.0%            | 9.2%          | 15.4%                | 15.4%            | 7.7%                | 7.7%           |
| 60歳代   | 105 | 52.4%      | 32.4%         | 21.9%       | 19.0%            | 23.8%         | 13.3%                | 20.0%            | 13.3%               | 13.3%          |
| 70歳代以上 | 112 | 59.8%      | 27.7%         | 17.0%       | 16.1%            | 19.6%         | 17.0%                | 21.4%            | 3.6%                | 9.8%           |

|        | 回答数 | 郷土文化の継承や文化財保護 | 高齢者福祉や障害者福祉に関すること | 環境保全やリサイクルに関すること | 子育て支援に関すること | 教育、青少年育成に関すること | 地場産品のPRなどの観光活動 | その他  | 無回答  |
|--------|-----|---------------|-------------------|------------------|-------------|----------------|----------------|------|------|
| 20歳代以下 | 16  | 12.5%         | 6.3%              | 6.3%             | 6.3%        | 6.3%           | 6.3%           | -    | -    |
| 30歳代   | 38  | 10.5%         | 2.6%              | 13.2%            | 23.7%       | 13.2%          | 2.6%           | -    | -    |
| 40歳代   | 41  | 12.2%         | 4.9%              | 7.3%             | 17.1%       | 12.2%          | 4.9%           | -    | 2.4% |
| 50歳代   | 65  | 4.6%          | 12.3%             | 7.7%             | 7.7%        | 6.2%           | 1.5%           | -    | -    |
| 60歳代   | 105 | 7.6%          | 4.8%              | 6.7%             | 3.8%        | 1.0%           | 1.9%           | 1.9% | 1.0% |
| 70歳代以上 | 112 | 7.1%          | 10.7%             | 8.0%             | 0.9%        | -              | 1.8%           | -    | 2.7% |

年齢別にみると、「自治会や町内会のこと」と回答した人の割合は、50歳代、60歳代、70歳代以上で5割を超えている。

「祭りや盆踊りなどの行事」と回答した人の割合は、20歳代以下、30歳代、40歳代で3割台後半となっている。

「まちづくりや地域振興に関すること」と回答した人の割合は、30歳代で5割となっている。

「自主防災組織や防犯・交通安全に関すること」と回答した人の割合は、40歳代で3割台となっている。

【参加したい自治会や地域活動の内容（地区別）】

|      | 回答数 | 自治会や町内会のこと | 地域清掃や美化に関すること | 祭りや盆踊りなどの行事 | まちづくりや地域振興に関すること | 趣味や生涯学習に関すること | 自主防災組織や防犯・交通安全に関すること | 健康づくりや介護予防に関すること | スポーツやレクリエーションに関すること | ボランティア活動に関すること |
|------|-----|------------|---------------|-------------|------------------|---------------|----------------------|------------------|---------------------|----------------|
| 久賀地区 | 70  | 40.0%      | 15.7%         | 20.0%       | 21.4%            | 24.3%         | 14.3%                | 21.4%            | 12.9%               | 15.7%          |
| 大島地区 | 151 | 52.3%      | 29.8%         | 21.9%       | 21.9%            | 17.2%         | 17.2%                | 11.3%            | 12.6%               | 10.6%          |
| 東和地区 | 73  | 52.1%      | 34.2%         | 35.6%       | 26.0%            | 13.7%         | 12.3%                | 17.8%            | 9.6%                | 13.7%          |
| 橘地区  | 85  | 51.8%      | 27.1%         | 30.6%       | 21.2%            | 17.6%         | 18.8%                | 16.5%            | 11.8%               | 4.7%           |

|      | 回答数 | 郷土文化の継承や文化財保護 | 高齢者福祉や障害者福祉に関すること | 環境保全やリサイクルに関すること | 子育て支援に関すること | 教育、青少年育成に関すること | 地場産品のPRなどの観光活動 | その他  | 無回答  |
|------|-----|---------------|-------------------|------------------|-------------|----------------|----------------|------|------|
| 久賀地区 | 70  | 8.6%          | 12.9%             | 4.3%             | 10.0%       | 4.3%           | 2.9%           | 1.4% | 1.4% |
| 大島地区 | 151 | 6.6%          | 4.6%              | 9.9%             | 6.6%        | 4.6%           | 2.6%           | －    | 2.0% |
| 東和地区 | 73  | 8.2%          | 8.2%              | 6.8%             | 1.4%        | 4.1%           | －              | 1.4% | 1.4% |
| 橘地区  | 85  | 9.4%          | 8.2%              | 8.2%             | 10.6%       | 4.7%           | 3.5%           | －    | －    |

地区別にみると、いずれの地区も「自治会や町内会のこと」と回答した人の割合が最も高くなっている。

「地域清掃や美化に関すること」と回答した人の割合は、東和地区で3割を超えている。

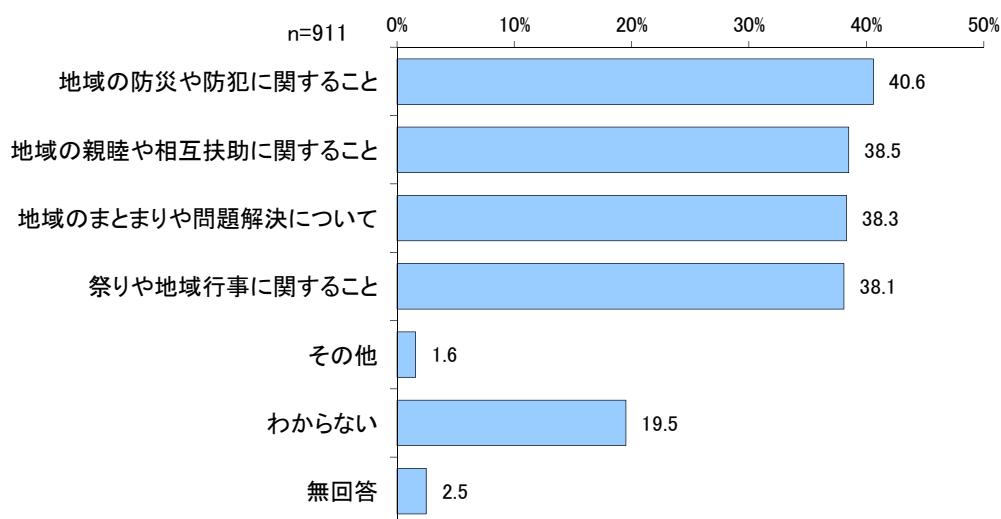
「祭りや盆踊りなどの行事」と回答した人の割合は、東和地区、橘地区で3割を超えている。

「趣味や生涯学習に関すること」、「健康づくりや介護予防に関すること」と回答した人の割合は、久賀地区で2割を超えている。

問 18 あなたは、現在の自治会等の役割についてどのように考えていますか。

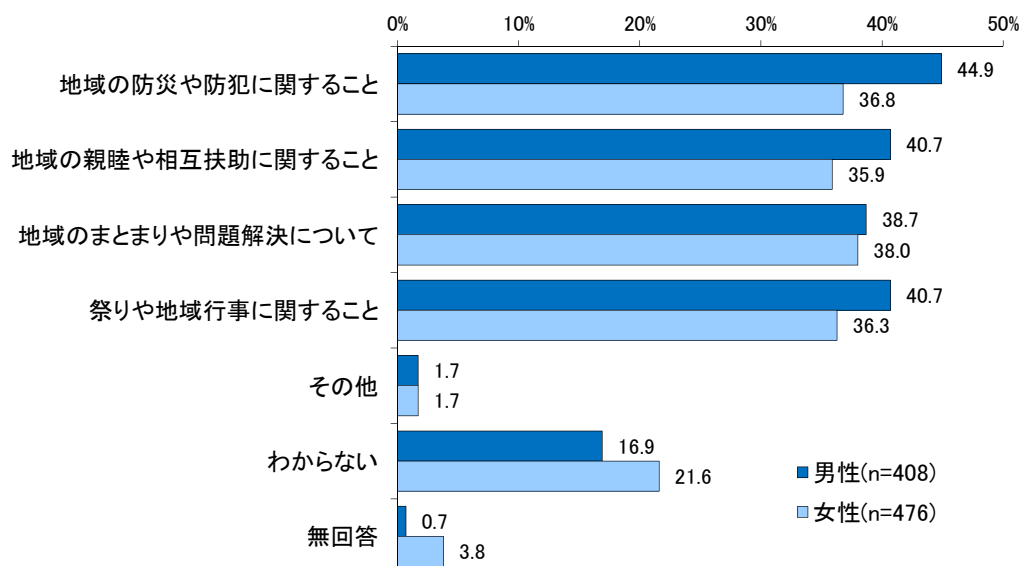
【〇はいくつでも】

【自治会等の役割に対する考え】



自治会等の役割に対する考えについて、「地域の防災や防犯に関すること」と回答した人の割合が 40.6%と最も高く、「地域の親睦や相互扶助に関すること」(38.5%)、「地域のまとりや問題解決について」(38.3%)、「祭りや地域行事に関すること」(38.1%)が同様の値で続いている。

【自治会等の役割に対する考え（性別）】



性別にみると、男女ともにいずれの役割についても 3 割台後半から 4 割台となっている。

【自治会等の役割に対する考え（年齢別）】

|        | 回答数 | 地域の防災や防犯に関すること | 地域の親睦や相互扶助に関すること | 地域のまともりや問題解決について | 祭りや地域行事に関すること | その他  | わからない | 無回答  |
|--------|-----|----------------|------------------|------------------|---------------|------|-------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 20.7%          | 20.7%            | 26.4%            | 39.1%         | 1.1% | 37.9% | 1.1% |
| 30歳代   | 126 | 38.9%          | 32.5%            | 28.6%            | 42.1%         | —    | 25.4% | 1.6% |
| 40歳代   | 126 | 41.3%          | 32.5%            | 39.7%            | 37.3%         | 2.4% | 21.4% | 0.8% |
| 50歳代   | 150 | 49.3%          | 46.0%            | 44.0%            | 42.0%         | 0.7% | 13.3% | 1.3% |
| 60歳代   | 185 | 43.2%          | 41.1%            | 44.9%            | 40.0%         | 2.2% | 13.5% | 2.2% |
| 70歳代以上 | 216 | 40.3%          | 43.1%            | 38.4%            | 32.4%         | 2.8% | 17.6% | 5.1% |

年齢別にみると、20歳代以下、30歳代では「祭りや地域行事に関すること」、40歳代、50歳代では「地域の防災や防犯に関すること」、60歳代では「地域のまともりや問題解決について」、70歳代以上では「地域の親睦や相互扶助に関すること」と回答した人の割合が最も高くなっている。

【自治会等の役割に対する考え（地区別）】

|      | 回答数 | 地域の防災や防犯に関すること | 地域の親睦や相互扶助に関すること | 地域のまともりや問題解決について | 祭りや地域行事に関すること | その他  | わからない | 無回答  |
|------|-----|----------------|------------------|------------------|---------------|------|-------|------|
| 久賀地区 | 180 | 33.3%          | 33.9%            | 35.6%            | 32.8%         | 1.1% | 28.9% | 3.3% |
| 大島地区 | 343 | 46.6%          | 36.7%            | 38.2%            | 35.3%         | 2.0% | 15.7% | 1.5% |
| 東和地区 | 170 | 41.2%          | 39.4%            | 40.6%            | 52.4%         | 2.9% | 14.7% | 2.9% |
| 橘地区  | 198 | 35.9%          | 42.9%            | 39.4%            | 36.9%         | 0.5% | 21.7% | 2.5% |

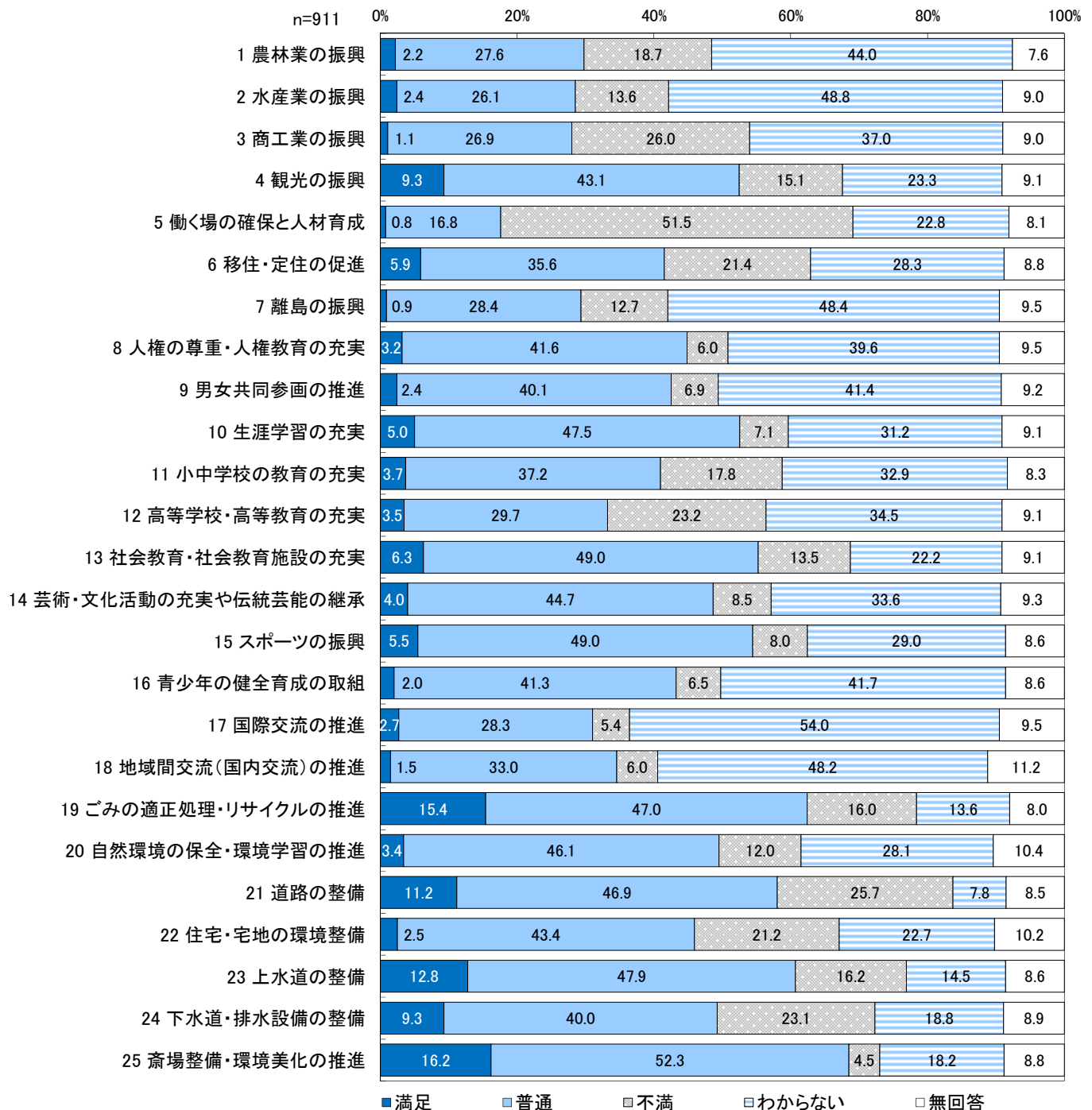
地区別にみると、久賀地区では「地域のまともりや問題解決について」、大島地区では「地域の防災や防犯に関すること」、東和地区では「祭りや地域行事に関すること」、橘地区では「地域の親睦や相互扶助に関すること」と回答した人の割合が最も高くなっている。

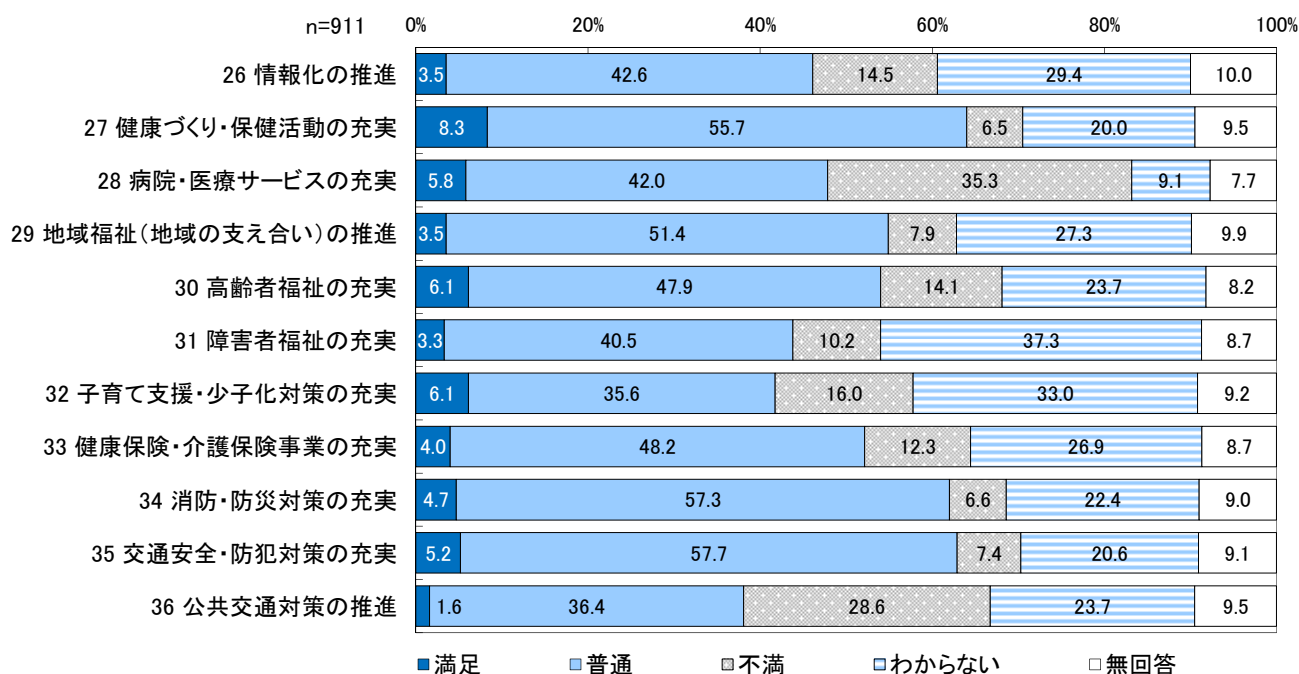
#### (4) まちづくりに関する取組への満足度

問 19 周防大島町は、町の将来像を「元気 にこにこ 安心で 21 世紀にはばたく先進の島」とし、その実現を目指し、周防大島町総合計画後期基本計画（計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度）に基づいて、まちづくりに関する取組を進めています。

次の（１）～（36）の各分野の取組について、あなたの現在の満足度をそれぞれ 1～4 の中から 1 つ選んで○で囲んでください。

【まちづくりに関する取組への満足度】





【満足と回答した割合が高い取組（上位5位）】

|               | 1 位                   | 2 位                       | 3 位             | 4 位            | 5 位                          |
|---------------|-----------------------|---------------------------|-----------------|----------------|------------------------------|
| 全体<br>(n=911) | 斎場整備・環境美化の推進<br>16.2% | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>15.4% | 上水道の整備<br>12.8% | 道路の整備<br>11.2% | 観光の振興<br>下水道・排水設備の整備<br>9.3% |

【不満と回答した割合が高い取組（上位5位）】

|               | 1 位                  | 2 位                   | 3 位                | 4 位             | 5 位            |
|---------------|----------------------|-----------------------|--------------------|-----------------|----------------|
| 全体<br>(n=911) | 働く場の確保と人材育成<br>51.5% | 病院・医療サービスの充実<br>35.3% | 公共交通対策の推進<br>28.6% | 商工業の振興<br>26.0% | 道路の整備<br>25.7% |

まちづくりに関する取組への満足度について、「満足」と回答した人の割合は「25 斎場整備・環境美化の推進」(16.2%) が最も高くなっているが1割台であり、「19 ごみの適正処理・リサイクルの推進」(15.4%)、「23 上水道の整備」(12.8%)、「21 道路の整備」(11.2%)が続いている。

また、「不満」と回答した人の割合は「5 働く場の確保と人材育成」(51.5%) が最も高く5割を超え、「28 病院・医療サービスの充実」(35.3%)、「36 公共交通対策の推進」(28.6%)、「3 商工業の振興」(26.0%)、「21 道路の整備」(25.7%)が続いている。

【満足と回答した割合が高い取組（上位5位/性別・年齢別）】

|                    | 1 位                       | 2 位                       | 3 位                     | 4 位                       | 5 位                     |
|--------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 男性<br>(n=408)      | 斎場整備・環境美化の推進<br>17.9%     | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>17.4% | 上水道の整備<br>13.7%         | 道路の整備<br>11.5%            | 観光の振興<br>10.8%          |
| 女性<br>(n=476)      | 斎場整備・環境美化の推進<br>15.1%     | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>14.1% | 上水道の整備<br>12.0%         | 道路の整備<br>11.1%            | 下水道・排水設備の整備<br>8.6%     |
| 20 歳代以下<br>(n=87)  | 道路の整備<br>17.2%            | 観光の振興<br>16.1%            | 斎場整備・環境美化の推進<br>16.1%   | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>12.6% | 上水道の整備<br>12.6%         |
| 30 歳代<br>(n=126)   | 道路の整備<br>15.1%            | 上水道の整備<br>14.3%           | 斎場整備・環境美化の推進<br>12.7%   | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>11.1% | 子育て支援・少子化対策の充実<br>11.1% |
| 40 歳代<br>(n=126)   | 斎場整備・環境美化の推進<br>14.3%     | 道路の整備<br>13.5%            | 子育て支援・少子化対策の充実<br>12.7% | 観光の振興<br>11.9%            | 健康づくり・保健活動の充実<br>11.1%  |
| 50 歳代<br>(n=150)   | 斎場整備・環境美化の推進<br>16.7%     | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>13.3% | 観光の振興<br>11.3%          | 健康づくり・保健活動の充実<br>10.7%    | 上水道の整備<br>10.0%         |
| 60 歳代<br>(n=185)   | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>18.9% | 斎場整備・環境美化の推進<br>16.2%     | 上水道の整備<br>14.1%         | 道路の整備<br>11.4%            | 下水道・排水設備の整備<br>10.3%    |
| 70 歳代以上<br>(n=216) | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>20.8% | 斎場整備・環境美化の推進<br>19.0%     | 上水道の整備<br>14.8%         | 下水道・排水設備の整備<br>10.2%      | 病院・医療サービスの充実<br>9.3%    |

性別にみると、満足と回答した割合の上位は、5 位を除き同様の結果となっており、いずれの取組も 2 割に達していない。

年齢別にみると、満足と回答した割合が最も高い取組は、20 歳代以下、30 歳代では「道路の整備」、40 歳代、50 歳代では「斎場整備・環境美化の推進」、60 歳代、70 歳代以上で「ごみの適正処理・リサイクルの推進」となっている。また、70 歳代以上での「ごみの適正処理・リサイクルの推進」を除いて 2 割に達していない。

【満足と回答した割合が高い取組（上位5位/地区別）】

|                 | 1 位                       | 2 位                   | 3 位                  | 4 位                       | 5 位                   |
|-----------------|---------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------|-----------------------|
| 久賀地区<br>(n=180) | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>21.1% | 観光の振興<br>9.4%         | 道路の整備<br>9.4%        | 斎場整備・環境美化の推進<br>8.9%      | 健康づくり・保健活動の充実<br>8.3% |
| 大島地区<br>(n=343) | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>16.3% | 斎場整備・環境美化の推進<br>13.4% | 上水道の整備<br>13.4%      | 観光の振興<br>12.2%            | 道路の整備<br>11.4%        |
| 東和地区<br>(n=170) | 斎場整備・環境美化の推進<br>19.4%     | 上水道の整備<br>17.1%       | 道路の整備<br>14.1%       | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>11.8% | 下水道・排水設備の整備<br>11.2%  |
| 橘地区<br>(n=198)  | 斎場整備・環境美化の推進<br>25.3%     | 上水道の整備<br>16.2%       | 下水道・排水設備の整備<br>14.6% | ごみの適正処理・リサイクルの推進<br>12.1% | 道路の整備<br>10.6%        |

地区別にみると、満足と回答した割合が最も高い取組は、久賀地区、大島地区で「ごみの適正処理・リサイクルの推進」、東和地区、橘地区で「斎場整備・環境美化の推進」となっており、久賀地区での「ごみの適正処理・リサイクルの推進」と橘地区での「斎場整備・環境美化の推進」を除いて 2 割に達していない。

【不満と回答した割合が高い取組（上位5位/性別・年齢別）】

|                    | 1 位                  | 2 位                   | 3 位                   | 4 位                 | 5 位                   |
|--------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| 男性<br>(n=408)      | 働く場の確保と人材育成<br>54.4% | 商工業の振興<br>30.6%       | 病院・医療サービスの充実<br>30.6% | 公共交通対策の推進<br>29.7%  | 道路の整備<br>27.0%        |
| 女性<br>(n=476)      | 働く場の確保と人材育成<br>48.9% | 病院・医療サービスの充実<br>38.9% | 公共交通対策の推進<br>27.3%    | 道路の整備<br>24.6%      | 商工業の振興<br>22.9%       |
| 20 歳代以下<br>(n=87)  | 働く場の確保と人材育成<br>42.5% | 道路の整備<br>26.4%        | 病院・医療サービスの充実<br>24.1% | 住宅・宅地の環境整備<br>20.7% | 高等学校・高等教育の充実<br>18.4% |
| 30 歳代<br>(n=126)   | 働く場の確保と人材育成<br>64.3% | 病院・医療サービスの充実<br>58.7% | 公共交通対策の推進<br>37.3%    | 小中学校の教育の充実<br>36.5% | 高等学校・高等教育の充実<br>32.5% |
| 40 歳代<br>(n=126)   | 働く場の確保と人材育成<br>61.1% | 病院・医療サービスの充実<br>41.3% | 高等学校・高等教育の充実<br>34.1% | 商工業の振興<br>26.2%     | 住宅・宅地の環境整備<br>26.2%   |
| 50 歳代<br>(n=150)   | 働く場の確保と人材育成<br>57.3% | 病院・医療サービスの充実<br>41.3% | 公共交通対策の推進<br>40.0%    | 商工業の振興<br>28.7%     | 道路の整備<br>24.7%        |
| 60 歳代<br>(n=185)   | 働く場の確保と人材育成<br>50.8% | 公共交通対策の推進<br>31.4%    | 病院・医療サービスの充実<br>30.3% | 道路の整備<br>29.2%      | 商工業の振興<br>27.0%       |
| 70 歳代以上<br>(n=216) | 働く場の確保と人材育成<br>37.5% | 道路の整備<br>25.5%        | 商工業の振興<br>25.0%       | 公共交通対策の推進<br>22.2%  | 病院・医療サービスの充実<br>21.8% |

性別にみると、不満と回答した割合は、男女ともに「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、2 番目に高い取組は、男性では「商工業の振興」、女性では「病院・医療サービスの充実」となっている。

年齢別にみると、不満と回答した割合は、いずれの年齢層においても「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、2 番目に高い取組は、20 歳代以下、70 歳代以上では「道路の整備」、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「病院・医療サービスの充実」、60 歳代では「公共交通対策の推進」となっており、30 歳代では「病院・医療サービスの充実」が6 割に近づいている。

また、20 歳代以下、30 歳代、40 歳代では「高等学校・高等教育の充実」が上位5 位以内となっており、30 歳代、40 歳代では3 割を超えている。

【不満と回答した割合が高い取組（上位5 位/地区別）】

|                 | 1 位                  | 2 位                   | 3 位                   | 4 位                   | 5 位             |
|-----------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| 久賀地区<br>(n=180) | 働く場の確保と人材育成<br>48.9% | 病院・医療サービスの充実<br>38.9% | 下水道・排水設備の整備<br>30.6%  | 高等学校・高等教育の充実<br>30.0% | 道路の整備<br>26.1%  |
| 大島地区<br>(n=343) | 働く場の確保と人材育成<br>50.1% | 病院・医療サービスの充実<br>36.4% | 公共交通対策の推進<br>31.8%    | 道路の整備<br>27.1%        | 商工業の振興<br>25.9% |
| 東和地区<br>(n=170) | 働く場の確保と人材育成<br>50.0% | 病院・医療サービスの充実<br>31.2% | 公共交通対策の推進<br>26.5%    | 商工業の振興<br>22.9%       | 農林業の振興<br>22.4% |
| 橘地区<br>(n=198)  | 働く場の確保と人材育成<br>56.1% | 商工業の振興<br>32.3%       | 病院・医療サービスの充実<br>32.3% | 公共交通対策の推進<br>29.3%    | 道路の整備<br>27.8%  |

地区別にみると、不満と回答した割合は、いずれの地区においても「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、2番目に高い取組は、久賀地区、大島地区、東和地区では「病院・医療サービスの充実」、橘地区では「商工業の振興」となっている。

また、久賀地区では「高等学校・高等教育の充実」が上位となっており、3割となっている。

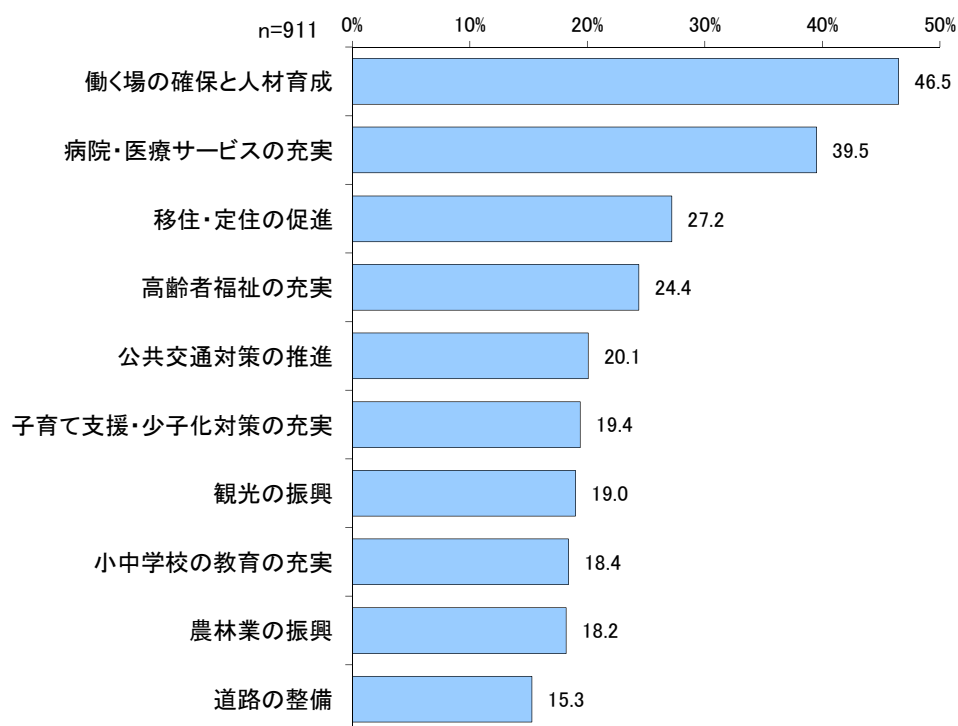
【不満と回答した割合が高い取組（上位5位・8位/18歳未満の家族がいる人）】

|                         | 1位                   | 2位                    | 3位                    | 4位                  | 5位                               | 8位                      |
|-------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|----------------------------------|-------------------------|
| 18歳未満の家族がいる人<br>(n=179) | 働く場の確保と人材育成<br>55.9% | 病院・医療サービスの充実<br>49.2% | 高等学校・高等教育の充実<br>38.5% | 小中学校の教育の充実<br>32.4% | 住宅・宅地の環境整備<br>公共交通対策の推進<br>27.4% | 子育て支援・少子化対策の充実<br>25.1% |

18歳未満の家族がいる人では、「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、3位が「高等学校・高等教育の充実」、4位が「小中学校の教育の充実」、8位が「子育て支援・少子化対策の充実」となっている。

問19 周防大島町は、町の将来像を「元気 にこにこ 安心で21世紀にはばたく先進の島」とし、その実現を目指し、周防大島町総合計画後期基本計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）に基づいて、まちづくりに関する取組を進めています。  
今後の重要度が高いと思われる取組を5つまで選んで番号を○で囲んでください。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位10位）】



今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組について、「働く場の確保と人材育成」と回答した人の割合が46.5%と最も高く、次いで「病院・医療サービスの充実」(39.5%)となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位5位/性別・年齢別）】

|                    | 1 位                   | 2 位                   | 3 位                     | 4 位                     | 5 位                     |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 男性<br>(n=408)      | 働く場の確保と人材育成<br>47.5%  | 病院・医療サービスの充実<br>32.4% | 移住・定住の促進<br>30.1%       | 農林業の振興<br>25.0%         | 観光の振興<br>23.3%          |
| 女性<br>(n=476)      | 病院・医療サービスの充実<br>46.0% | 働く場の確保と人材育成<br>45.6%  | 高齢者福祉の充実<br>30.0%       | 移住・定住の促進<br>25.4%       | 小中学校の教育の充実<br>22.3%     |
| 20 歳代以下<br>(n=87)  | 働く場の確保と人材育成<br>44.8%  | 移住・定住の促進<br>28.7%     | 病院・医療サービスの充実<br>26.4%   | 子育て支援・少子化対策の充実<br>26.4% | 観光の振興<br>24.1%          |
| 30 歳代<br>(n=126)   | 働く場の確保と人材育成<br>46.8%  | 病院・医療サービスの充実<br>44.4% | 子育て支援・少子化対策の充実<br>41.3% | 小中学校の教育の充実<br>38.1%     | 移住・定住の促進<br>35.7%       |
| 40 歳代<br>(n=126)   | 働く場の確保と人材育成<br>58.7%  | 病院・医療サービスの充実<br>42.9% | 小中学校の教育の充実<br>32.5%     | 子育て支援・少子化対策の充実<br>31.0% | 移住・定住の促進<br>25.4%       |
| 50 歳代<br>(n=150)   | 働く場の確保と人材育成<br>52.7%  | 病院・医療サービスの充実<br>42.7% | 公共交通対策の推進<br>27.3%      | 移住・定住の促進<br>26.7%       | 高齢者福祉の充実<br>23.3%       |
| 60 歳代<br>(n=185)   | 働く場の確保と人材育成<br>49.2%  | 病院・医療サービスの充実<br>43.2% | 移住・定住の促進<br>28.1%       | 高齢者福祉の充実<br>28.1%       | 公共交通対策の推進<br>24.9%      |
| 70 歳代以上<br>(n=216) | 病院・医療サービスの充実<br>34.7% | 働く場の確保と人材育成<br>32.9%  | 高齢者福祉の充実<br>30.6%       | 移住・定住の促進<br>22.7%       | 健康保険・介護保険事業の充実<br>18.1% |

性別にみると、男性では「働く場の確保と人材育成」が最も高く、2位が「病院・医療サービスの充実」、3位が「移住・定住の促進」となっているが、女性では「病院・医療サービスの充実」が最も高く、2位が「働く場の確保と人材育成」、3位が「高齢者福祉の充実」となっている。

年齢別にみると、70歳代以上を除く年齢層では「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、70歳代以上では「病院・医療サービスの充実」となっている。

また、20歳代以下、30歳代、40歳代では「子育て支援・少子化対策の充実」、30歳代、40歳代では「小中学校の教育の充実」が上位5位以内となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位5位/地区別）】

|                 | 1 位                  | 2 位                   | 3 位               | 4 位               | 5 位                 |
|-----------------|----------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 久賀地区<br>(n=180) | 働く場の確保と人材育成<br>43.3% | 病院・医療サービスの充実<br>37.8% | 移住・定住の促進<br>26.7% | 高齢者福祉の充実<br>23.9% | 小中学校の教育の充実<br>21.1% |
| 大島地区<br>(n=343) | 働く場の確保と人材育成<br>47.2% | 病院・医療サービスの充実<br>42.9% | 移住・定住の促進<br>28.6% | 高齢者福祉の充実<br>23.9% | 公共交通対策の推進<br>22.4%  |
| 東和地区<br>(n=170) | 働く場の確保と人材育成<br>45.9% | 病院・医療サービスの充実<br>35.9% | 高齢者福祉の充実<br>28.2% | 移住・定住の促進<br>25.9% | 農林業の振興<br>22.4%     |
| 橘地区<br>(n=198)  | 働く場の確保と人材育成<br>48.0% | 病院・医療サービスの充実<br>37.9% | 移住・定住の促進<br>27.3% | 農林業の振興<br>23.7%   | 高齢者福祉の充実<br>23.2%   |

地区別にみると、いずれの地区においても「働く場の確保と人材育成」が最も高く、「病院・医療サービスの充実」が2番目に高くなっている。

3位から5位については、いずれの地区も「移住・定住の促進」、「高齢者福祉の充実」が入っているが、残りの取組について、久賀地区では「小中学校の教育の充実」、大島地区では「公共交通対策の推進」、東和地区、橘地区では「農林業の振興」となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位5位/18歳未満の家族がいる人）】

|                         | 1位                   | 2位                    | 3位                  | 4位                      | 5位                |
|-------------------------|----------------------|-----------------------|---------------------|-------------------------|-------------------|
| 18歳未満の家族がいる人<br>(n=179) | 働く場の確保と人材育成<br>50.3% | 病院・医療サービスの充実<br>44.7% | 小中学校の教育の充実<br>44.1% | 子育て支援・少子化対策の充実<br>38.0% | 移住・定住の促進<br>31.8% |

18歳未満の家族がいる人では、「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、3位が「小中学校の教育の充実」、4位が「子育て支援・少子化対策の充実」となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位5位/住み良さの感じ方別）】

|                     | 1位                   | 2位                    | 3位                | 4位                | 5位                      |
|---------------------|----------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|
| 住み良いと感じる<br>(n=573) | 働く場の確保と人材育成<br>46.8% | 病院・医療サービスの充実<br>38.7% | 移住・定住の促進<br>26.0% | 高齢者福祉の充実<br>25.7% | 公共交通対策の推進<br>20.2%      |
| 住みにくと感じる<br>(n=176) | 働く場の確保と人材育成<br>42.0% | 病院・医療サービスの充実<br>35.8% | 移住・定住の促進<br>33.5% | 観光の振興<br>24.4%    | 子育て支援・少子化対策の充実<br>20.5% |

住み良さの感じ方別にみると、住み良いと感じる層、住みにくと感じる層ともに「働く場の確保と人材育成」、「病院・医療サービスの充実」、「移住・定住の促進」が上位3項目となっている。

また、4・5位については、住み良いと感じる層では「高齢者福祉の充実」、「公共交通対策の推進」、住みにくと感じる層では「観光の振興」、「子育て支援・少子化対策の充実」となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位5位/定住意向別）】

|                        | 1位                   | 2位                    | 3位                | 4位                      | 5位              |
|------------------------|----------------------|-----------------------|-------------------|-------------------------|-----------------|
| 住み続けたいと思う<br>(n=573)   | 働く場の確保と人材育成<br>47.9% | 病院・医療サービスの充実<br>40.5% | 移住・定住の促進<br>28.7% | 高齢者福祉の充実<br>25.7%       | 農林業の振興<br>21.0% |
| 住み続けたいと思わない<br>(n=176) | 働く場の確保と人材育成<br>48.9% | 病院・医療サービスの充実<br>42.5% | 移住・定住の促進<br>27.6% | 子育て支援・少子化対策の充実<br>24.1% | 観光の振興<br>23.6%  |

定住意向別にみると、住み続けたいと思う層、住み続けたいと思わない層ともに「働く場の確保と人材育成」、「病院・医療サービスの充実」、「移住・定住の促進」が上位3項目となっている。

また、4・5位については、住み続けたいと思う層では「高齢者福祉の充実」、「農林業の振興」、住み続けたいと思わない層では「子育て支援・少子化対策の充実」、「観光の振興」となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組（上位5位/子どもや孫の定住についての考え方別）】

|                        | 1 位                  | 2 位                   | 3 位               | 4 位                | 5 位                     |
|------------------------|----------------------|-----------------------|-------------------|--------------------|-------------------------|
| 住んでほしいと思う<br>(n=573)   | 働く場の確保と人材育成<br>49.0% | 病院・医療サービスの充実<br>42.5% | 移住・定住の促進<br>27.0% | 高齢者福祉の充実<br>26.1%  | 子育て支援・少子化対策の充実<br>21.4% |
| 住んでほしいと思わない<br>(n=176) | 働く場の確保と人材育成<br>47.4% | 病院・医療サービスの充実<br>41.5% | 移住・定住の促進<br>27.3% | 公共交通対策の推進<br>22.5% | 高齢者福祉の充実<br>21.7%       |

子どもや孫に将来周防大島町に住んでほしいかの考え方別にみると、住んでほしいと思う層、住んでほしいと思わない層ともに「働く場の確保と人材育成」、「病院・医療サービスの充実」、「移住・定住の促進」が上位3項目となっている。

また、4・5位については、住んでほしいと思う層では「高齢者福祉の充実」、「子育て支援・少子化対策の充実」、住んでほしいと思わない層では「公共交通対策の推進」、「高齢者福祉の充実」となっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組と不満と回答した割合】

| 重要度<br>順位 | 取組             | 重要度が高いとする<br>回答割合 | 不満とする回答 |    |
|-----------|----------------|-------------------|---------|----|
|           |                |                   | 割合      | 順位 |
| 1         | 働く場の確保と人材育成    | 46.5%             | 51.5%   | 1  |
| 2         | 病院・医療サービスの充実   | 39.5%             | 35.3%   | 2  |
| 3         | 移住・定住の促進       | 27.2%             | 21.4%   | 8  |
| 4         | 高齢者福祉の充実       | 24.4%             | 14.1%   | 17 |
| 5         | 公共交通対策の推進      | 20.1%             | 28.6%   | 3  |
| 6         | 子育て支援・少子化対策の充実 | 19.4%             | 16.0%   | 14 |
| 7         | 観光の振興          | 19.0%             | 15.1%   | 15 |
| 8         | 小中学校の教育の充実     | 18.4%             | 17.8%   | 11 |
| 9         | 農林業の振興         | 18.2%             | 18.7%   | 10 |
| 10        | 道路の整備          | 15.3%             | 25.7%   | 5  |

重要度が最も高い「働く場の確保と人材育成」については不満とする割合も最も高く、重要度が2位である「病院・医療サービスの充実」については不満とする割合も2番目に高くなっている。

【今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組と不満と回答した割合

（上位5位/18歳未満の家族がいる人）】

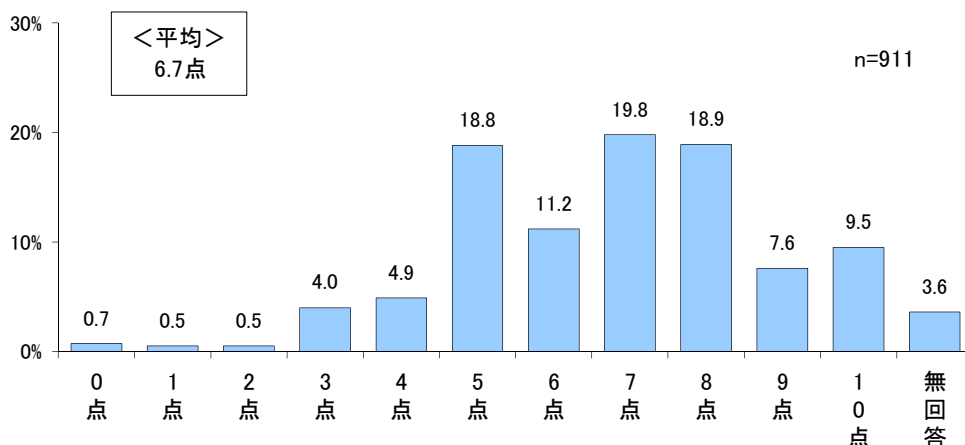
| 重要度<br>順位 | 取組             | 重要度が高いとする<br>回答割合 | 不満とする回答 |    |
|-----------|----------------|-------------------|---------|----|
|           |                |                   | 割合      | 順位 |
| 1         | 働く場の確保と人材育成    | 50.3%             | 55.9%   | 1  |
| 2         | 病院・医療サービスの充実   | 44.7%             | 49.2%   | 2  |
| 3         | 小中学校の教育の充実     | 44.1%             | 32.4%   | 4  |
| 4         | 子育て支援・少子化対策の充実 | 38.0%             | 25.1%   | 8  |
| 5         | 移住・定住の促進       | 31.8%             | 20.7%   | 12 |

18歳未満の家族がいる人では、重要度が高い1位と2位は全体と同様の傾向であるが、重要度が3位である「小中学校の教育の充実」については不満とする割合も4番目に高くなっている。

## (5) 幸福度

問 20 あなたは、今どれくらい幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。【あてはまる点数に○をしてください】

【現在の幸福度】



現在の幸福度について、『8 点以上』（「8 点」＋「9 点」＋「10 点」）と回答した人の割合が 36.0%、『2 点以下』（「0 点」＋「1 点」＋「2 点」）と回答した人の割合が 1.7%であり、平均 6.7 点となっている。

【現在の幸福度（性別・年齢別）】

|        | 回答数 | 0点   | 1点   | 2点   | 3点   | 4点   | 5点    |
|--------|-----|------|------|------|------|------|-------|
| 男性     | 408 | 0.7% | 0.5% | 0.5% | 4.2% | 5.9% | 19.4% |
| 女性     | 476 | 0.6% | 0.6% | 0.6% | 3.6% | 4.2% | 17.6% |
| 20歳代以下 | 87  | —    | 1.1% | 1.1% | 6.9% | 4.6% | 17.2% |
| 30歳代   | 126 | 0.8% | 1.6% | 0.8% | 6.3% | 9.5% | 15.1% |
| 40歳代   | 126 | 1.6% | —    | —    | 3.2% | 5.6% | 19.0% |
| 50歳代   | 150 | 0.7% | 0.7% | 0.7% | 4.7% | 4.0% | 19.3% |
| 60歳代   | 185 | 1.1% | —    | 0.5% | 1.1% | 3.8% | 16.2% |
| 70歳代以上 | 216 | —    | 0.5% | 0.5% | 3.7% | 3.7% | 22.2% |

|        | 回答数 | 6点    | 7点    | 8点    | 9点   | 10点   | 無回答  | 平均   |
|--------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
| 男性     | 408 | 13.0% | 22.3% | 17.4% | 5.1% | 8.1%  | 2.9% | 6.5点 |
| 女性     | 476 | 9.9%  | 18.3% | 20.0% | 9.9% | 10.7% | 4.0% | 6.9点 |
| 20歳代以下 | 87  | 13.8% | 19.5% | 23.0% | 6.9% | 5.7%  | —    | 6.5点 |
| 30歳代   | 126 | 11.1% | 21.4% | 12.7% | 6.3% | 7.9%  | 6.3% | 6.3点 |
| 40歳代   | 126 | 8.7%  | 25.4% | 21.4% | 6.3% | 7.1%  | 1.6% | 6.7点 |
| 50歳代   | 150 | 15.3% | 14.0% | 20.7% | 8.7% | 10.0% | 1.3% | 6.7点 |
| 60歳代   | 185 | 11.4% | 22.7% | 20.5% | 7.6% | 9.7%  | 5.4% | 7.0点 |
| 70歳代以上 | 216 | 9.3%  | 17.6% | 15.7% | 9.3% | 13.0% | 4.6% | 6.9点 |

性別にみると、『8 点以上』と回答した人の割合は、女性で 4 割を超えている。

年齢別にみると、『8 点以上』と回答した人の割合は、50 歳代で 4 割に近くなっている。

【現在の幸福度（地区別）】

|      | 回答数 | 0点   | 1点   | 2点   | 3点   | 4点   | 5点    |
|------|-----|------|------|------|------|------|-------|
| 久賀地区 | 180 | 1.1% | 1.1% | 0.6% | 4.4% | 4.4% | 18.3% |
| 大島地区 | 343 | 0.6% | 0.6% | 0.9% | 4.1% | 5.5% | 19.2% |
| 東和地区 | 170 | 1.2% | －    | －    | 4.1% | 6.5% | 19.4% |
| 橘地区  | 198 | －    | 0.5% | 0.5% | 3.0% | 3.0% | 16.7% |

|      | 回答数 | 6点    | 7点    | 8点    | 9点   | 10点   | 無回答  | 平均   |
|------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
| 久賀地区 | 180 | 13.3% | 12.8% | 20.6% | 7.8% | 11.1% | 4.4% | 6.7点 |
| 大島地区 | 343 | 9.3%  | 20.1% | 17.2% | 9.9% | 9.0%  | 3.5% | 6.7点 |
| 東和地区 | 170 | 10.0% | 20.0% | 19.4% | 4.7% | 11.2% | 3.5% | 6.7点 |
| 橘地区  | 198 | 14.1% | 26.3% | 18.7% | 6.6% | 7.6%  | 3.0% | 6.8点 |

地区別にみると、『8点以上』と回答した人の割合は、いずれの地区でも3割台となっている。

【現在の幸福度（住み良さの感じ方別）】

|           | 回答数 | 0点   | 1点   | 2点   | 3点   | 4点   | 5点    |
|-----------|-----|------|------|------|------|------|-------|
| 住み良いと感じる  | 573 | －    | 0.3% | 0.2% | 2.1% | 2.4% | 16.6% |
| 住みにくいと感じる | 176 | 2.3% | 1.1% | 2.3% | 6.8% | 9.1% | 22.2% |

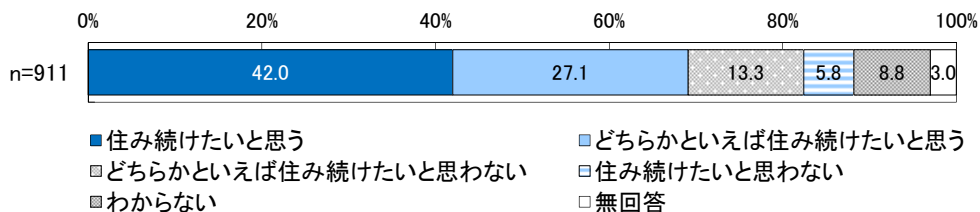
|           | 回答数 | 6点    | 7点    | 8点    | 9点   | 10点   | 無回答  | 平均   |
|-----------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
| 住み良いと感じる  | 573 | 11.3% | 20.2% | 22.3% | 9.2% | 12.0% | 3.1% | 7.1点 |
| 住みにくいと感じる | 176 | 14.2% | 15.9% | 12.5% | 5.7% | 4.0%  | 4.0% | 5.8点 |

住み良さの感じ方別にみると、『8点以上』と回答した人の割合は、住み良いと感じる層では4割台、住みにくいと感じる層では2割台となっている。

## (6) 今後の周防大島町での居住継続希望

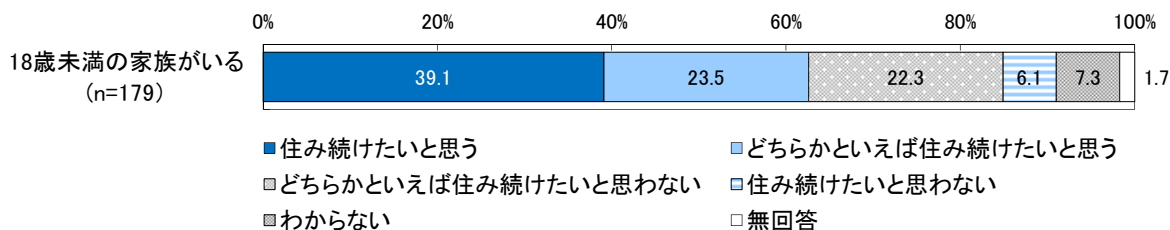
問 21 あなたは、今後も周防大島町に住み続けたいと思いますか。【○は1つ】

【今後の周防大島町での居住継続希望】



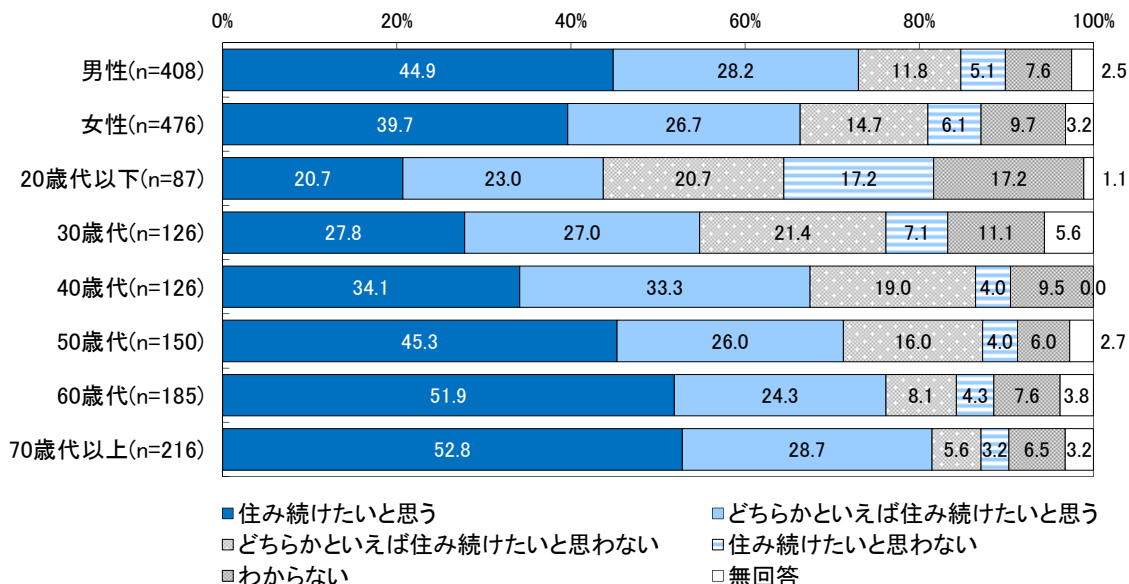
今後の周防大島町での居住継続希望について、『住み続けたいと思う』（「住み続けたいと思う」＋「どちらかといえば住み続けたいと思う」）と回答した人の割合が 69.1%、『住み続けたいと思わない』（「住み続けたいと思わない」＋「どちらかといえば住み続けたいと思わない」）と回答した人の割合が 19.1%となっている。

【今後の周防大島町での居住継続希望（18歳未満の家族がいる層）】



18歳未満の家族がいる層では、『住み続けたいと思う』と回答した人の割合が 62.6%、『住み続けたいと思わない』と回答した人の割合が 28.4%となっている。

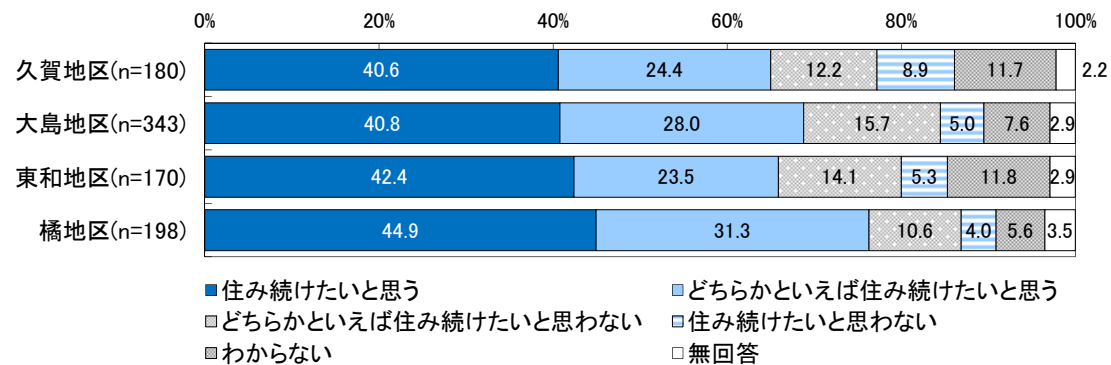
【今後の周防大島町での居住継続希望（性別・年齢別）】



性別にみると、『住みたいと思う』と回答した人の割合は、男性で7割を超えている。

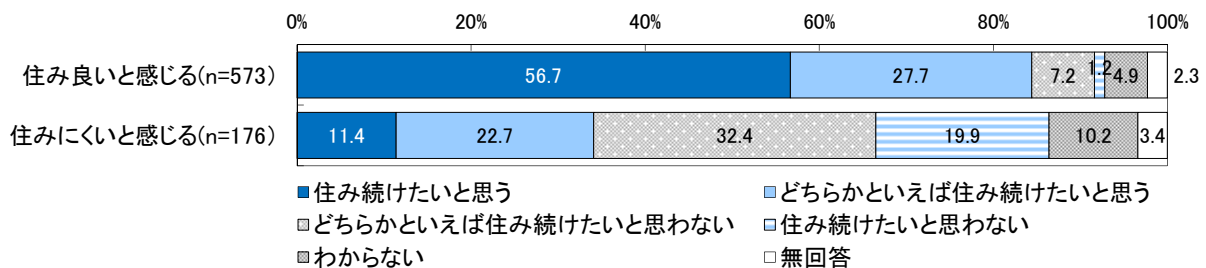
年齢別にみると、『住みたいと思う』と回答した人の割合は、年齢が上がるほど高くなっており、70歳代以上で8割を超えているが、20歳代以下では5割未満となっている。

【今後の周防大島町での居住継続希望（地区別）】



地区別にみると、『住みたいと思う』と回答した人の割合は、久賀地区、大島地区、東和地区では6割台、橘地区では7割台となっている。

【今後の周防大島町での居住継続希望（住み良さの感じ方別）】

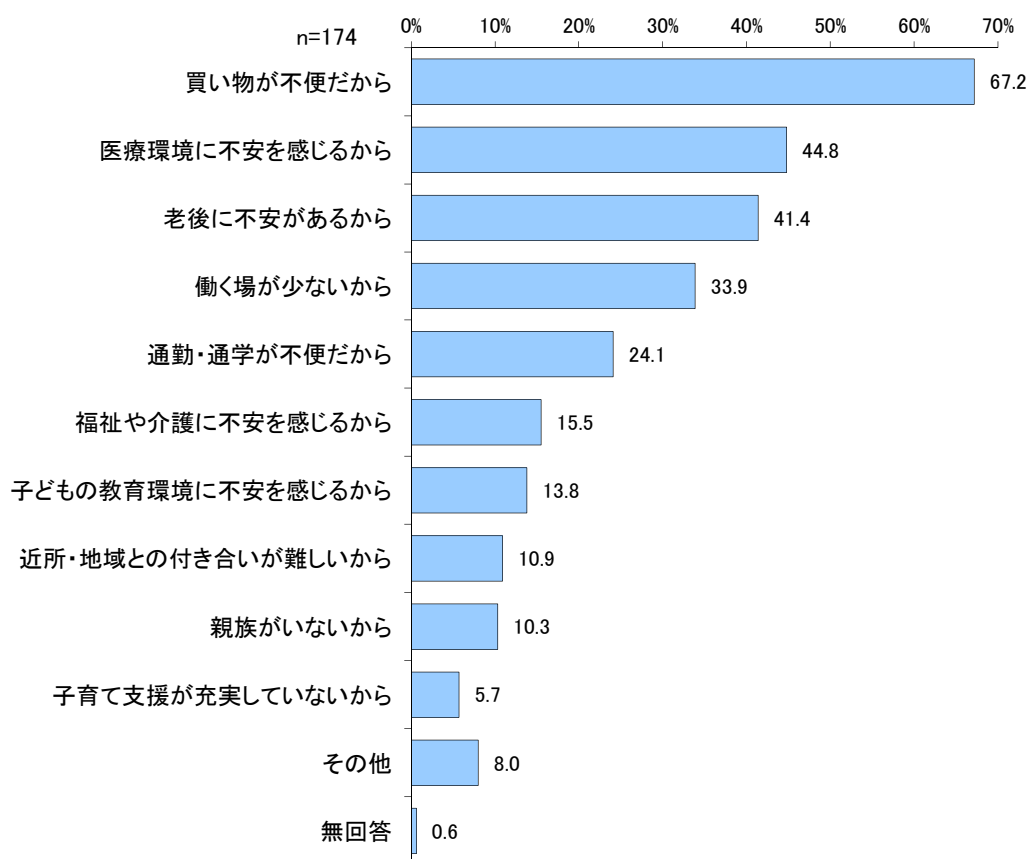


住み良さの感じ方別にみると、『住みたいと思う』と回答した人の割合は、住み良いと感じる層では8割を超えているが、住みにくいと感じる層では3割台となっている。

問 21 で「3」または「4」（『住み続けたいと思わない』）と回答した人のみ回答

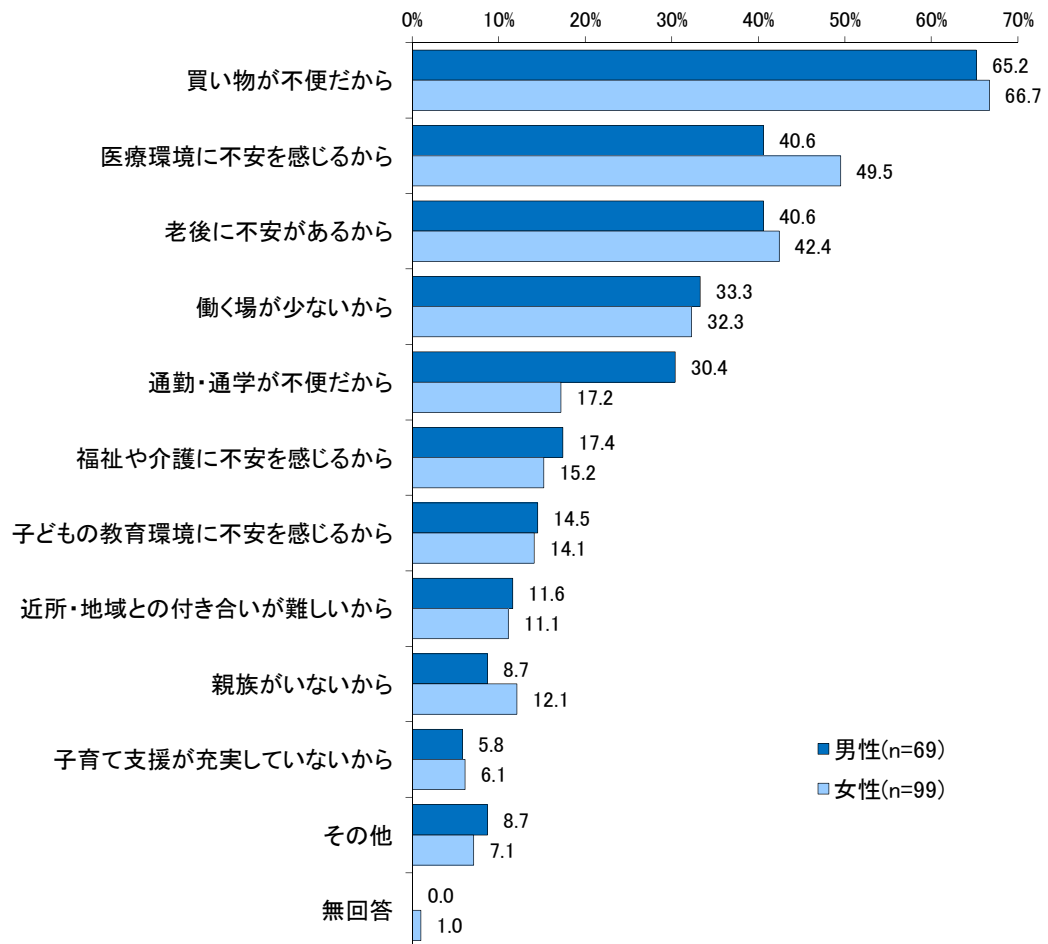
問 21-1 住み続けたいと思わないのはどのような理由ですか。【〇は3つまで】

【周防大島町に住み続けたくない理由】



周防大島町に住み続けたくない理由について、「買い物が不便だから」と回答した人の割合が67.2%と最も高く、「医療環境に不安を感じるから」（44.8%）、「老後に不安があるから」（41.4%）、「働く場が少ないから」（33.9%）が続いている。

【周防大島町に住み続けたくない理由（性別）】



性別にみると、「医療環境に不安を感じるから」と回答した人の割合は、女性で約5割となっている。

「通勤・通学が不便だから」と回答した人の割合は、男性で3割を超えている。

【周防大島町に住み続けたくない理由（年齢別）】

|        | 回答数 | 買い物が不便だから | 医療環境に不安を感じるから | 老後に不安があるから | 働く場が少ないから | 通勤・通学が不便だから | 福祉や介護に不安を感じるから | 子どもの教育環境に不安を感じるから | 近所・地域との付き合いが難しいから |
|--------|-----|-----------|---------------|------------|-----------|-------------|----------------|-------------------|-------------------|
| 20歳代以下 | 33  | 69.7%     | 15.2%         | 9.1%       | 42.4%     | 39.4%       | 3.0%           | 12.1%             | 12.1%             |
| 30歳代   | 36  | 61.1%     | 44.4%         | 47.2%      | 36.1%     | 41.7%       | —              | 27.8%             | 5.6%              |
| 40歳代   | 29  | 48.3%     | 48.3%         | 41.4%      | 48.3%     | 24.1%       | 20.7%          | 24.1%             | 3.4%              |
| 50歳代   | 30  | 76.7%     | 56.7%         | 56.7%      | 30.0%     | 16.7%       | 16.7%          | 3.3%              | 13.3%             |
| 60歳代   | 23  | 69.6%     | 69.6%         | 56.5%      | 30.4%     | —           | 17.4%          | 4.3%              | 17.4%             |
| 70歳代以上 | 19  | 84.2%     | 47.4%         | 42.1%      | —         | —           | 57.9%          | —                 | 21.1%             |

|        | 回答数 | 親族がいないから | 子育て支援が充実していないから | その他   | 無回答  |
|--------|-----|----------|-----------------|-------|------|
| 20歳代以下 | 33  | 18.2%    | 6.1%            | 9.1%  | 3.0% |
| 30歳代   | 36  | 5.6%     | 13.9%           | 8.3%  | —    |
| 40歳代   | 29  | 6.9%     | 6.9%            | 13.8% | —    |
| 50歳代   | 30  | 6.7%     | —               | 3.3%  | —    |
| 60歳代   | 23  | 13.0%    | 4.3%            | 4.3%  | —    |
| 70歳代以上 | 19  | 15.8%    | —               | 5.3%  | —    |

年齢別にみると、「買い物が不便だから」と回答した人の割合は、70歳代以上で8割を超えている。

「医療環境に不安を感じるから」と回答した人の割合は、60歳代で7割に近くなっている。

「老後に不安があるから」と回答した人の割合は、50歳代、60歳代で5割台後半となっている。

「働く場が少ないから」と回答した人の割合は、40歳代で5割に近くなっている。

「通勤・通学に不便だから」と回答した人の割合は、20歳代以下、30歳代で4割前後となっている。

「福祉や介護に不安を感じるから」と回答した人の割合は、70歳代以上で5割を超えている。

「子どもの教育環境を不安に感じるから」と回答した人の割合は、30歳代、40歳代で2割台となっている。

【周防大島町に住み続けたくない理由（地区別）】

|      | 回答数 | 買い物が不便だから | 医療環境に不安を感じるから | 老後に不安があるから | 働く場が少ないから | 通勤・通学が不便だから | 福祉や介護に不安を感じるから | 子どもの教育環境に不安を感じるから | 近所・地域との付き合いが難しいから |
|------|-----|-----------|---------------|------------|-----------|-------------|----------------|-------------------|-------------------|
| 久賀地区 | 38  | 55.3%     | 44.7%         | 47.4%      | 31.6%     | 26.3%       | 10.5%          | 18.4%             | 13.2%             |
| 大島地区 | 71  | 63.4%     | 45.1%         | 32.4%      | 31.0%     | 22.5%       | 16.9%          | 16.9%             | 9.9%              |
| 東和地区 | 33  | 81.8%     | 57.6%         | 51.5%      | 30.3%     | 18.2%       | 21.2%          | 9.1%              | 6.1%              |
| 橘地区  | 29  | 72.4%     | 34.5%         | 44.8%      | 44.8%     | 27.6%       | 13.8%          | 6.9%              | 17.2%             |

|      | 回答数 | 親族がいないから | 子育て支援が充実していないから | その他  | 無回答  |
|------|-----|----------|-----------------|------|------|
| 久賀地区 | 38  | 10.5%    | 2.6%            | 5.3% | —    |
| 大島地区 | 71  | 14.1%    | 8.5%            | 9.9% | —    |
| 東和地区 | 33  | 9.1%     | 3.0%            | 6.1% | —    |
| 橘地区  | 29  | 3.4%     | 6.9%            | 6.9% | 3.4% |

地区別にみると、「買い物が不便だから」と回答した人の割合は、東和地区で8割台、橘地区で7割台となっている。

「医療環境に不安を感じるから」と回答した人の割合は、東和地区で5割を超えている。

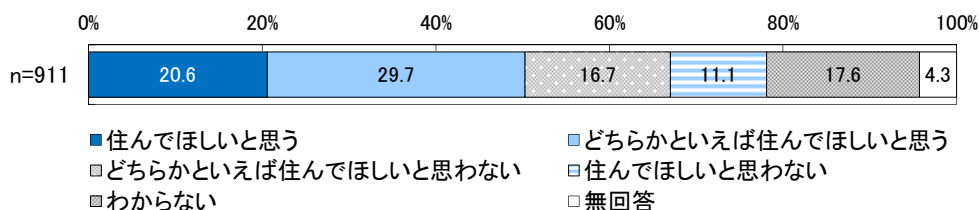
「老後に不安があるから」と回答した人の割合は、東和地区で5割を超えている。

「働く場が少ないから」と回答した人の割合は、橘地区で4割を超えている。

(7) 子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考え

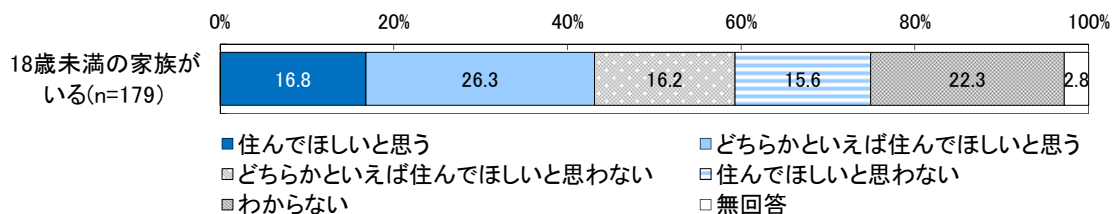
問 22 あなたは、自分の子どもや孫、地域の子供たちに、将来、周防大島町に住んでほしいと思いますか。【○は1つ】

【子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考え】



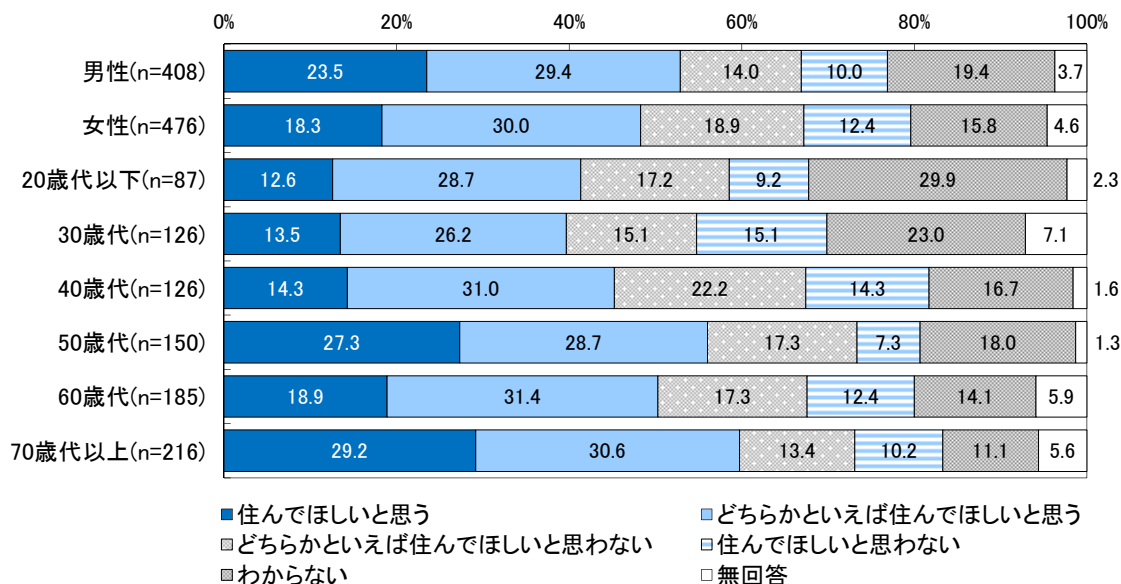
子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考えについて、『住んでほしいと思う』（「住んでほしいと思う」＋「どちらかといえば住んでほしいと思う」）と回答した人の割合が 50.3%、『住んでほしいと思わない』（「住んでほしいと思わない」＋「どちらかといえば住んでほしいと思わない」）と回答した人の割合が 27.8%となっている。

【子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考え（18歳未満の家族がいる層）】



18歳未満の家族がいる層では、『住んでほしいと思う』と回答した人の割合が 43.1%、『住んでほしいと思わない』と回答した人の割合が 31.8%となっている。

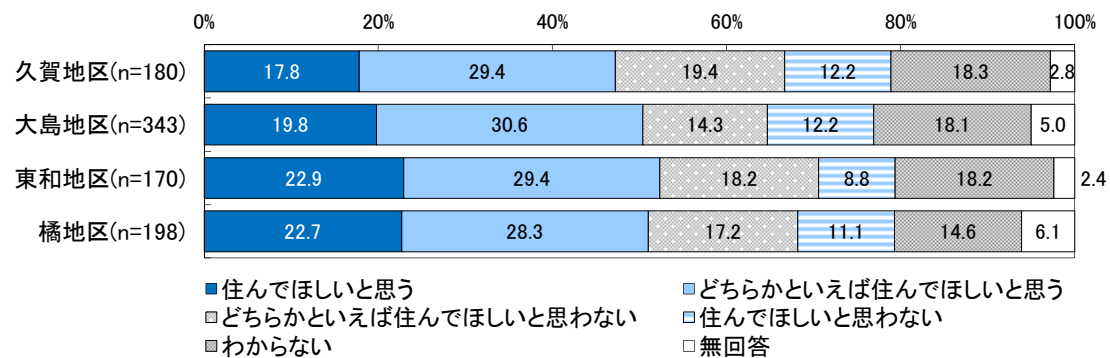
【子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考え（性別・年齢別）】



性別にみると、『住んでほしいと思う』と回答した人の割合は、男性で5割を超えている。

年齢別にみると、『住んでほしいと思う』と回答した人の割合は、70歳代以上で6割に近くなっているが、20歳代以下、30歳代では4割前後となっている。

【子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考え（地区別）】

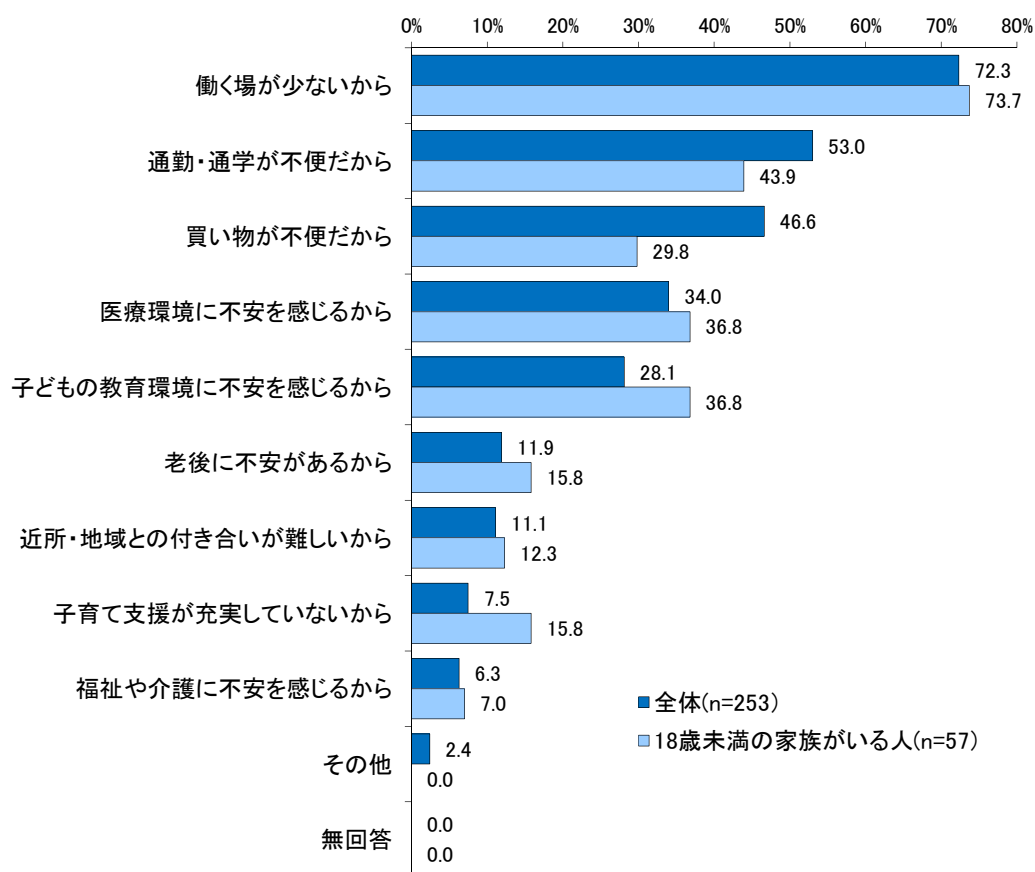


地区別にみると、『住んでほしいと思う』と回答した人の割合は、久賀地区では4割台、大島地区、東和地区、橘地区では5割台となっている。

問 22 で「3」または「4」（『住んでほしいと思わない』）と回答した人のみ回答

問 22-1 住んでほしいと思わないのはどのような理由ですか。【〇は3つまで】

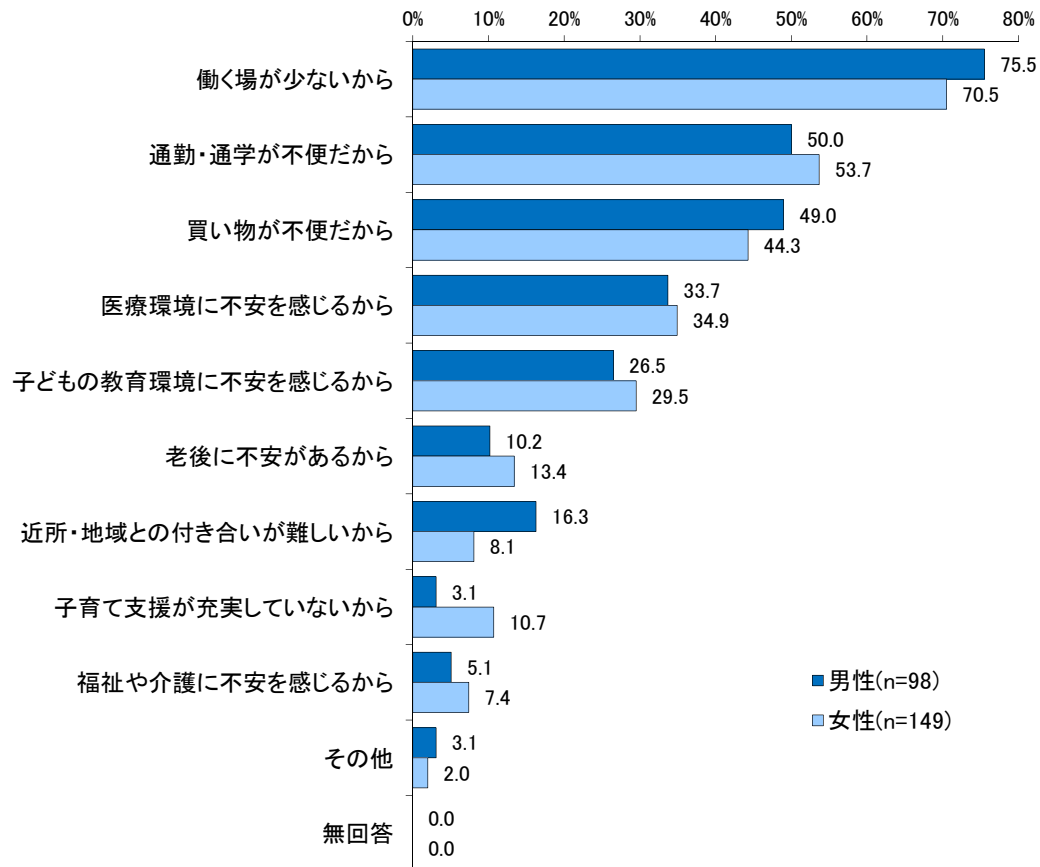
【子どもたちに周防大島町に住んでほしいと思わない理由（全体・18歳未満の家族がいる人）】



子どもたちに周防大島町に住んでほしいと思わない理由について、全体では、「働く場が少ないから」と回答した人の割合が72.3%と最も高く、「通勤・通学が不便だから」(53.0%)、「買い物が不便だから」(46.6%)、「医療環境に不安を感じるから」(34.0%)、「子どもの教育環境に不安を感じるから」(28.1%)が続いている。

18歳未満の家族がいる人では、「働く場が少ないから」、「通勤・通学が不便だから」が全体と同様に上位となっているが、「子どもの教育環境に不安を感じるから」と回答した人の割合が3割台後半となっている。

【子どもたちに周防大島町に住んでほしいと思わない理由（性別）】



性別にみると、「働く場が少ないから」と回答した人の割合は、男女ともに7割を超えている。

【子どもたちに周防大島町に住んでほしいと思わない理由（年齢別）】

|        | 回答数 | 働く場が<br>少ないから | 通勤・通<br>学が不便<br>だから | 買い物が<br>不便だか<br>ら | 医療環境<br>に不安を<br>感じるか<br>ら | 子どもの<br>教育環境<br>に不安を<br>感じるか<br>ら | 老後に不<br>安がある<br>から | 近所・地<br>域との付<br>き合いが<br>難しいか<br>ら | 子育て支<br>援が充実<br>していな<br>いから |
|--------|-----|---------------|---------------------|-------------------|---------------------------|-----------------------------------|--------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 20歳代以下 | 23  | 56.5%         | 65.2%               | 56.5%             | 17.4%                     | 26.1%                             | —                  | 13.0%                             | 4.3%                        |
| 30歳代   | 38  | 63.2%         | 55.3%               | 42.1%             | 42.1%                     | 34.2%                             | 21.1%              | 5.3%                              | 10.5%                       |
| 40歳代   | 46  | 80.4%         | 58.7%               | 32.6%             | 26.1%                     | 32.6%                             | 17.4%              | 8.7%                              | 10.9%                       |
| 50歳代   | 37  | 67.6%         | 54.1%               | 48.6%             | 37.8%                     | 35.1%                             | 8.1%               | 8.1%                              | 8.1%                        |
| 60歳代   | 55  | 87.3%         | 56.4%               | 43.6%             | 32.7%                     | 18.2%                             | 7.3%               | 12.7%                             | 10.9%                       |
| 70歳代以上 | 51  | 66.7%         | 33.3%               | 58.8%             | 41.2%                     | 27.5%                             | 13.7%              | 17.6%                             | —                           |

|        | 回答数 | 福祉や介<br>護に不安<br>を感じる<br>から | その他  | 無回答 |
|--------|-----|----------------------------|------|-----|
| 20歳代以下 | 23  | 4.3%                       | —    | —   |
| 30歳代   | 38  | 2.6%                       | 2.6% | —   |
| 40歳代   | 46  | 8.7%                       | —    | —   |
| 50歳代   | 37  | 2.7%                       | 5.4% | —   |
| 60歳代   | 55  | 3.6%                       | 1.8% | —   |
| 70歳代以上 | 51  | 13.7%                      | 3.9% | —   |

年齢別にみると、「働く場が少ないから」と回答した人の割合は、40 歳代、60 歳代で 8 割を超えている。

「通勤・通学が不便だから」と回答した人の割合は、20 歳代以下で 6 割台となっている。

「買い物が不便だから」と回答した人の割合は、70 歳代以上で 6 割に近くなっている。

【子どもたちに周防大島町に住んでほしいと思わない理由（地区別）】

|      | 回答数 | 働く場が少ないから | 通勤・通学が不便だから | 買い物が不便だから | 医療環境に不安を感じるから | 子どもの教育環境に不安を感じるから | 老後に不安があるから | 近所・地域との付き合いが難しいから | 子育て支援が充実していないから |
|------|-----|-----------|-------------|-----------|---------------|-------------------|------------|-------------------|-----------------|
| 久賀地区 | 57  | 78.9%     | 42.1%       | 38.6%     | 35.1%         | 31.6%             | 8.8%       | 10.5%             | 3.5%            |
| 大島地区 | 91  | 62.6%     | 57.1%       | 44.0%     | 31.9%         | 28.6%             | 8.8%       | 11.0%             | 9.9%            |
| 東和地区 | 46  | 65.2%     | 56.5%       | 52.2%     | 37.0%         | 32.6%             | 21.7%      | 13.0%             | 8.7%            |
| 橘地区  | 56  | 87.5%     | 51.8%       | 53.6%     | 33.9%         | 21.4%             | 12.5%      | 10.7%             | 7.1%            |

|      | 回答数 | 福祉や介護に不安を感じるから | その他  | 無回答 |
|------|-----|----------------|------|-----|
| 久賀地区 | 57  | 3.5%           | 3.5% | —   |
| 大島地区 | 91  | 7.7%           | 3.3% | —   |
| 東和地区 | 46  | 8.7%           | —    | —   |
| 橘地区  | 56  | 5.4%           | 1.8% | —   |

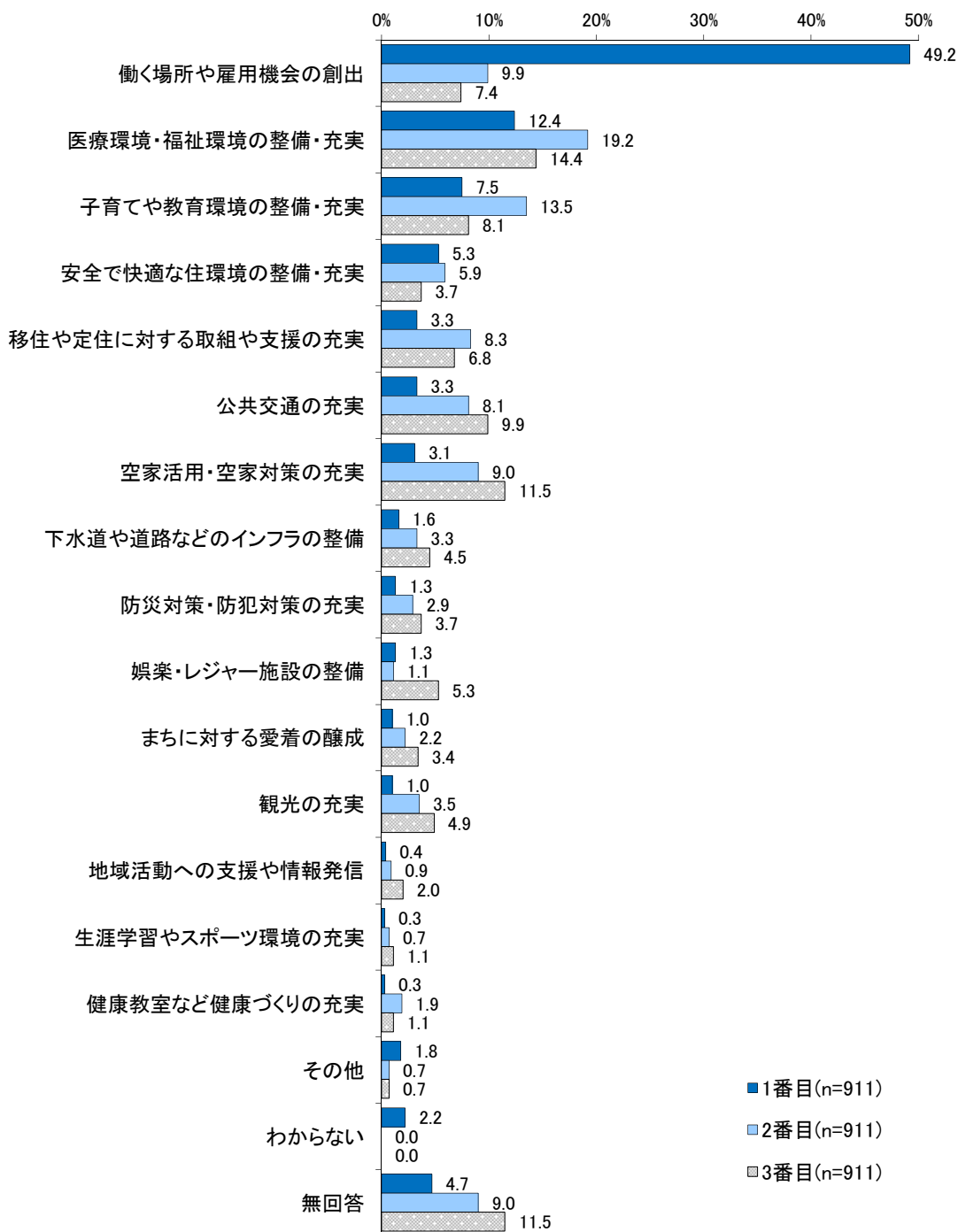
地区別にみると、いずれの地区でも「働く場が少ないから」と回答した人の割合が最も高くなっており、特に橘地区では 8 割台後半となっている。

また、「子どもの教育環境に不安を感じるから」と回答した人の割合は、久賀地区、東和地区で 3 割を超えている。

(8) 人口減少が進む状況で行うべき取組

問 23 人口減少が進む状況の中で、周防大島町は今後どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。【優先度の高い順に3つまで選択肢の番号を記入してください】

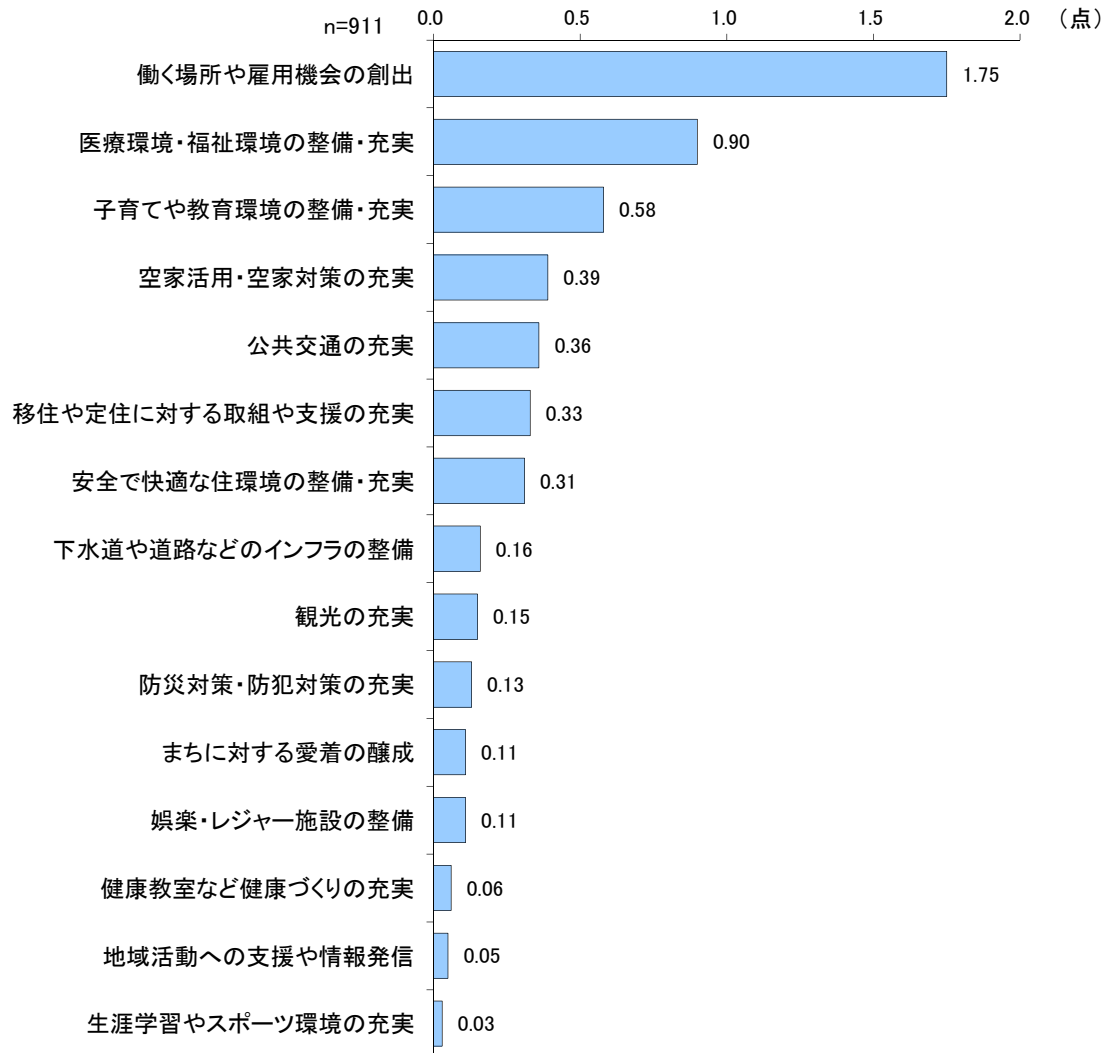
【人口減少に対して周防大島町が今後力を入れるべき取組】



人口減少に対して周防大島町が今後力を入れるべき取組について、1番目として回答した項目では、「働く場所や雇用機会の創出」と回答した人の割合が最も高く、49.2%となっている。

2番目として回答した項目では、「医療環境・福祉環境の整備・充実」と回答した人の割合が最も高くなっている。

【人口減少に対して周防大島町が今後力を入れるべき取組（点数）】



\* 1 番目に回答した項目 : 3 点、2 番目に回答した項目 : 2 点、3 番目に回答した項目 : 1 点、  
回答していない項目 : 0 点とし、合計点を算出

人口減少に対して周防大島町が今後力を入れるべき取組について、1 ～ 3 番目に回答した項目を点数化すると、「働く場所や雇用機会の創出」との回答が 1.75 点と最も高く、次いで「医療環境・福祉環境の整備・充実」（0.90 点）となっている。

【人口減少に対して周防大島町が今後力を入れるべき取組（上位5位/性別・年齢別）】

|                    | 1 位                       | 2 位                          | 3 位                          | 4 位                               | 5 位                               |
|--------------------|---------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 男性<br>(n=408)      | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>53.7% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>9.3%  | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>5.9%   | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>4.9%       | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>4.7% |
| 女性<br>(n=476)      | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>45.2% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>15.5% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>8.8%   | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>5.3%       | 空家活用・空家対<br>策の充実<br>4.2%          |
| 20 歳代以下<br>(n=87)  | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>39.1% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>14.9%  | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>8.0%  | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>8.0%       | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>6.9% |
| 30 歳代<br>(n=126)   | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>34.1% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>19.8%  | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>13.5% | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>5.6% | 公共交通の充実<br>4.0%                   |
| 40 歳代<br>(n=126)   | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>55.6% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>9.5%  | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>5.6%  | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>4.8%        | 空家活用・空家対<br>策の充実<br>4.8%          |
| 50 歳代<br>(n=150)   | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>53.3% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>12.0% | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>8.0%  | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>4.0%        | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>3.3% |
| 60 歳代<br>(n=185)   | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>55.7% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>15.1% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>4.3%   | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>4.3% | 空家活用・空家対<br>策の充実<br>3.8%          |
| 70 歳代以上<br>(n=216) | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>49.5% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>13.9% | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>4.6%  | 公共交通の充実<br>3.7%                   | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>3.2%        |

性別にみると、男女ともに「働く場所や雇用機会の創出」と回答した人の割合が最も高く、男性では5割を超えている。

年齢別にみると、いずれの年齢層も、「働く場所や雇用機会の創出」と回答した人の割合が最も高く、40歳代から60歳代では5割を超えている。

また、2番目に高い取組は、20歳代以下、30歳代では「子育てや教育環境の整備・充実」、40歳代から70歳代以上では「医療環境・福祉環境の整備・充実」となっている。

【人口減少に対して周防大島町が今後力を入れるべき取組（上位5位/地区別）】

|                 | 1 位                       | 2 位                          | 3 位                        | 4 位                         | 5 位                               |
|-----------------|---------------------------|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 久賀地区<br>(n=180) | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>47.2% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>12.2% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>7.2% | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>5.6% | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>3.9% |
| 大島地区<br>(n=343) | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>46.1% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>15.2% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>8.7% | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>5.5% | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>3.5% |
| 東和地区<br>(n=170) | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>50.6% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>12.9% | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>5.9% | 公共交通の充実<br>4.1%             | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>2.9%       |
| 橘地区<br>(n=198)  | 働く場所や雇用機<br>会の創出<br>54.5% | 医療環境・福祉環<br>境の整備・充実<br>8.1%  | 子育てや教育環<br>境の整備・充実<br>6.1% | 安全で快適な住環<br>境の整備・充実<br>5.6% | 移住や定住に対<br>する取組や支援の<br>充実<br>4.0% |

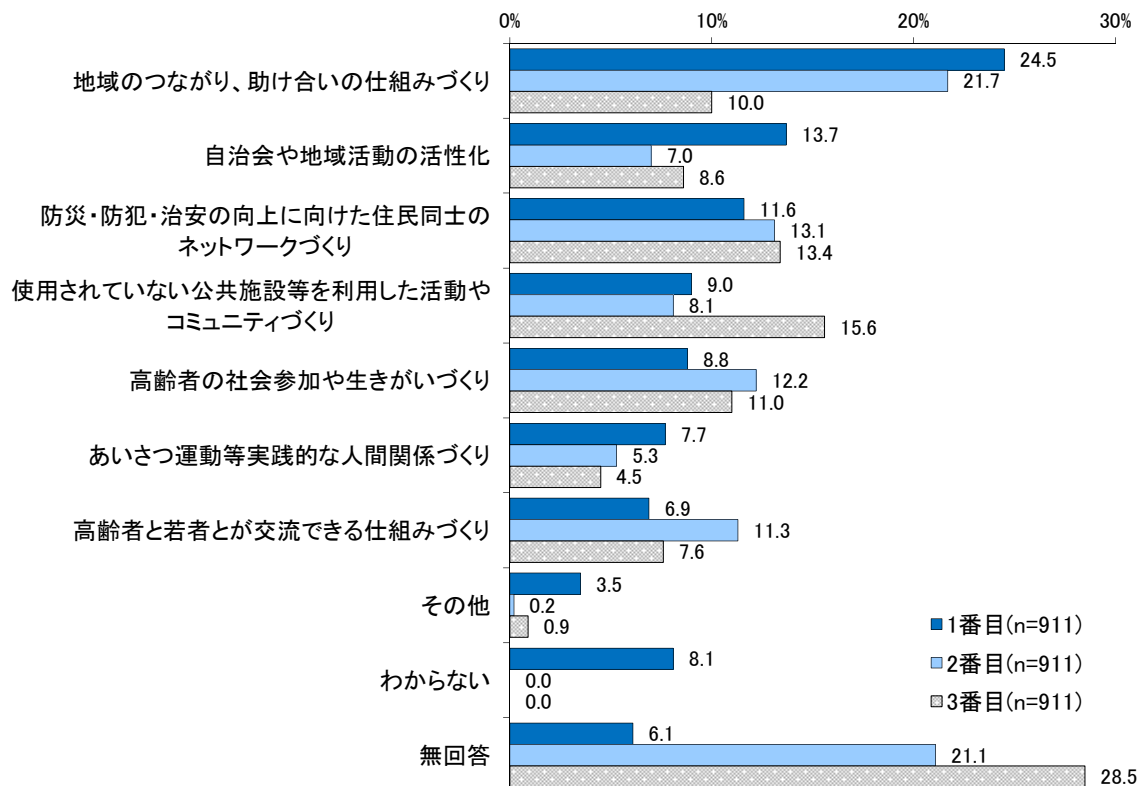
地区別にみると、いずれの地区でも3番目に高い取組までが、「働く場所や雇用機会の創出」、「医療環境・福祉環境の整備・充実」、「子育てや教育環境の整備・充実」の順となっている。

(9) 安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組

問 24 人口減少が進む状況の中で、地域で安心して暮らすためには、地域の中でどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。

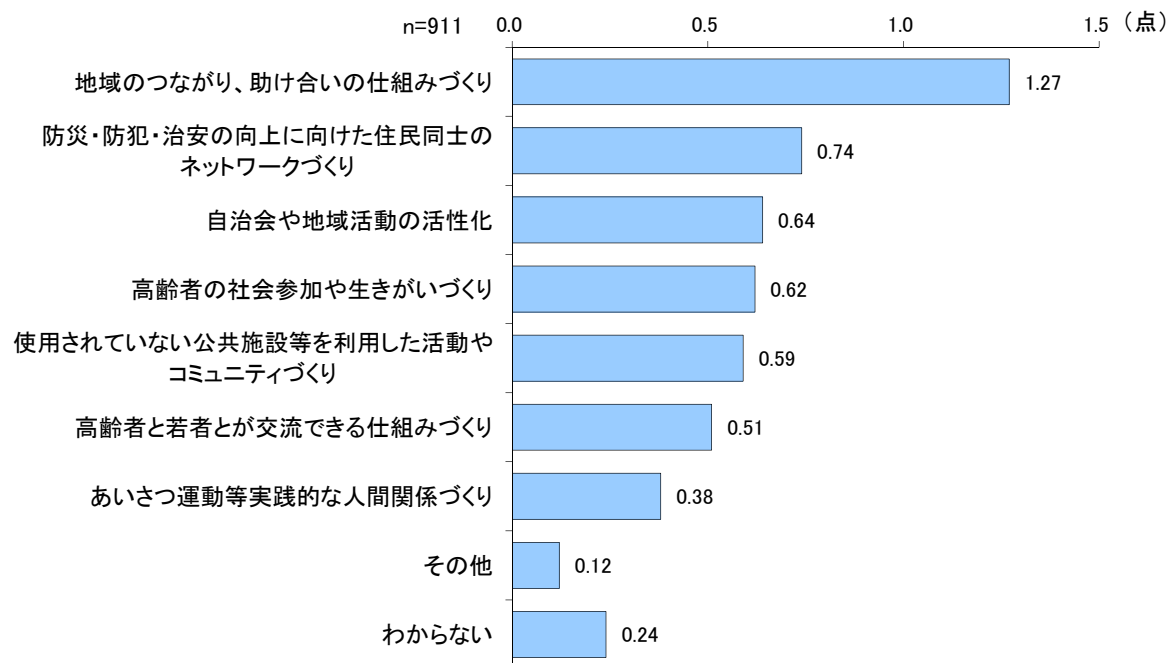
【優先度の高い順に3つまで選択肢の番号を記入してください】

【安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組】



安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組について、1番目・2番目として回答した項目ともに「地域のつながり、助け合いの仕組みづくり」と回答した人の割合が最も高くなっている。

【安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組（点数）】



\* 1 番目に回答した項目 : 3 点、2 番目に回答した項目 : 2 点、3 番目に回答した項目 : 1 点、  
回答していない項目 : 0 点とし、合計点を算出

安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組について、1 ～ 3 番目に回答した項目を点数化すると、「地域のつながり、助け合いの仕組みづくり」との回答が 1.27 点と最も高くなっている。

【安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組（上位5位/性別・年齢別）】

|                    | 1 位                              | 2 位                                                 | 3 位                                                 | 4 位                                                | 5 位                                                |
|--------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 男性<br>(n=408)      | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>22.1% | 自治会や地域活動の活性化<br>17.4%                               | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>10.3% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>10.0% | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>9.1%                   |
| 女性<br>(n=476)      | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>25.2% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>13.4%  | 自治会や地域活動の活性化<br>11.1%                               | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>9.0%                   | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>8.0% |
| 20 歳代以下<br>(n=87)  | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>19.5% | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>16.1% | 自治会や地域活動の活性化<br>13.8%                               | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>12.6% | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>9.2%                   |
| 30 歳代<br>(n=126)   | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>23.0% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>19.0%  | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>11.1% | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>9.5%                   | 高齢者と若者とが<br>交流できる仕組み<br>づくり<br>8.7%                |
| 40 歳代<br>(n=126)   | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>24.6% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>16.7%  | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>14.3% | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>9.5%                   | あいさつ運動等実<br>践的な人間関係づ<br>くり<br>6.3%                 |
| 50 歳代<br>(n=150)   | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>24.7% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>14.7%  | 自治会や地域活動の活性化<br>10.0%                               | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>9.3%                   | あいさつ運動等実<br>践的な人間関係づ<br>くり<br>8.0%                 |
| 60 歳代<br>(n=185)   | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>26.5% | 自治会や地域活動の活性化<br>22.2%                               | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>10.8%                   | あいさつ運動等実<br>践的な人間関係づ<br>くり<br>7.6%                 | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>7.6%  |
| 70 歳代以上<br>(n=216) | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組みづくり<br>22.7% | 自治会や地域活動の活性化<br>20.4%                               | あいさつ運動等実<br>践的な人間関係づ<br>くり<br>9.7%                  | 高齢者と若者とが<br>交流できる仕組み<br>づくり<br>7.4%                | 高齢者の社会参<br>加や生きがいつく<br>り<br>6.5%                   |

性別にみると、男女ともに「地域のつながり、助け合いの仕組みづくり」と回答した人の割合が最も高くなっている。

また、2 番目に高い取組は、男性では「自治会や地域活動の活性化」、女性では「防災・防犯・治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢層も「地域のつながり、助け合いの仕組みづくり」と回答した人の割合が最も高くなっている。

また、2 番目に高い取組は、20 歳代以下では「使用されていない公共施設等を利用した活動やコミュニティづくり」、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「防災・防犯・治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」、60 歳代、70 歳代以上では「自治会や地域活動の活性化」となっている。

【安心して暮らすために地域の中で力を入れるべき取組（上位5位/地区別）】

|                 | 1 位                                  | 2 位                                                | 3 位                                                | 4 位                                                | 5 位                                                 |
|-----------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 久賀地区<br>(n=180) | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組<br>みづくり<br>26.7% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>11.7% | 自治会や地域活<br>動の活性化<br>11.1%                          | 高齢者の社会参<br>加や生きがいく<br>り<br>11.1%                   | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>10.6% |
| 大島地区<br>(n=343) | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組<br>みづくり<br>24.5% | 自治会や地域活<br>動の活性化<br>13.4%                          | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>12.2% | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>9.3% | 高齢者と若者とが<br>交流できる仕組<br>みづくり<br>8.5%                 |
| 東和地区<br>(n=170) | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組<br>みづくり<br>22.9% | 自治会や地域活<br>動の活性化<br>20.0%                          | 高齢者の社会参<br>加や生きがいく<br>り<br>8.8%                    | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>8.8%  | 使用されていない<br>公共施設等を利用<br>した活動やコミュニ<br>ティづくり<br>8.2%  |
| 橘地区<br>(n=198)  | 地域のつながり、<br>助け合いの仕組<br>みづくり<br>20.2% | 防災・防犯・治安<br>の向上に向けた住<br>民同士のネットワ<br>ークづくり<br>13.6% | 自治会や地域活<br>動の活性化<br>12.6%                          | 高齢者の社会参<br>加や生きがいく<br>り<br>10.6%                   | あいさつ運動等実<br>践的な人間関係づ<br>くり<br>9.6%                  |

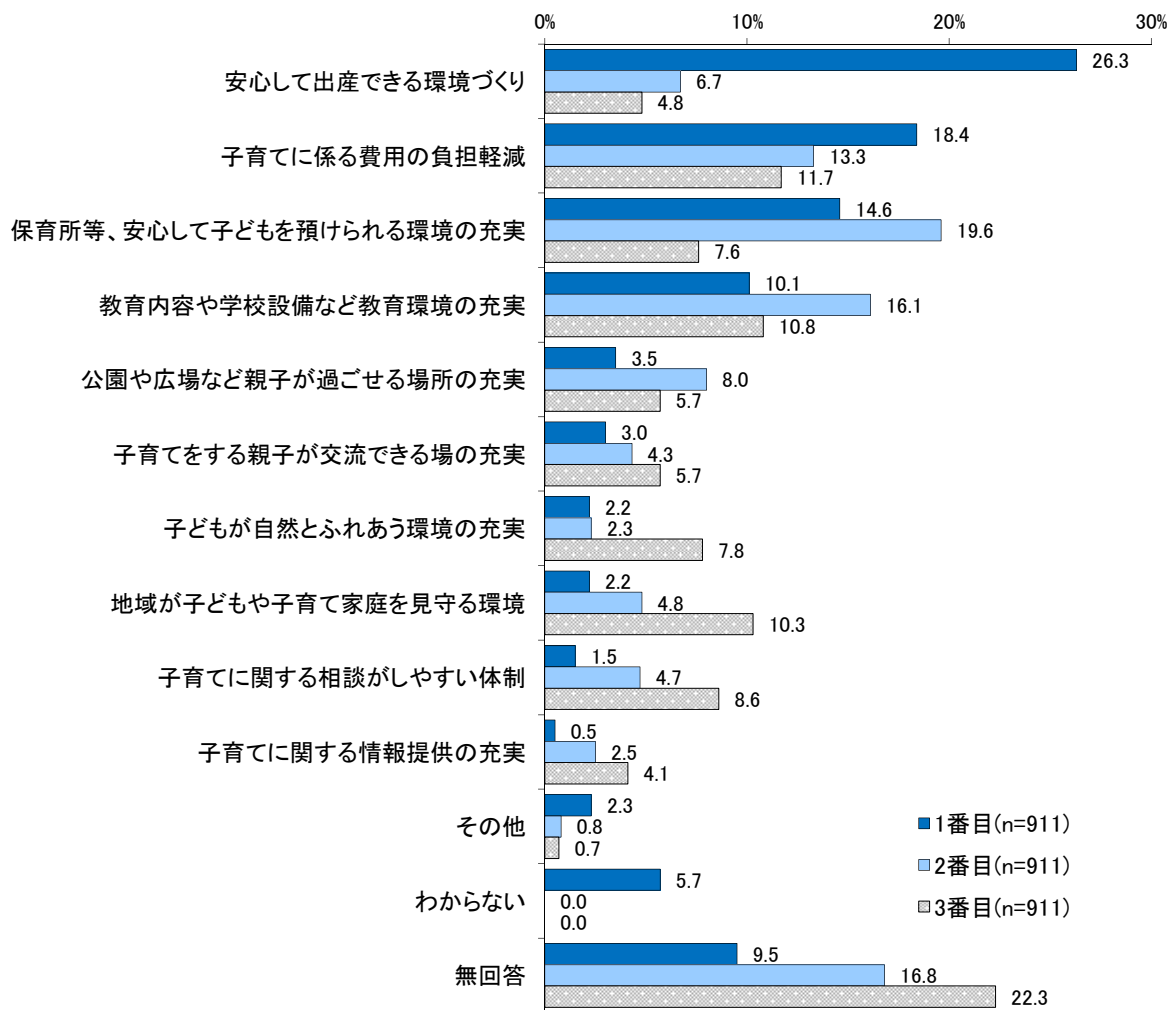
地区別にみると、いずれの地区でも「地域のつながり、助け合いの仕組みづくり」と回答した人の割合が最も高くなっている。

また、2番目に高い取組は、久賀地区、橘地区では「防災・防犯・治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」、大島地区、東和地区では「自治会や地域活動の活性化」となっている。

(10) 子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組

問 25 子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実として、どのような取組が必要と思いますか。【優先度の高い順に3つまで選択肢の番号を記入してください】

【子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組】

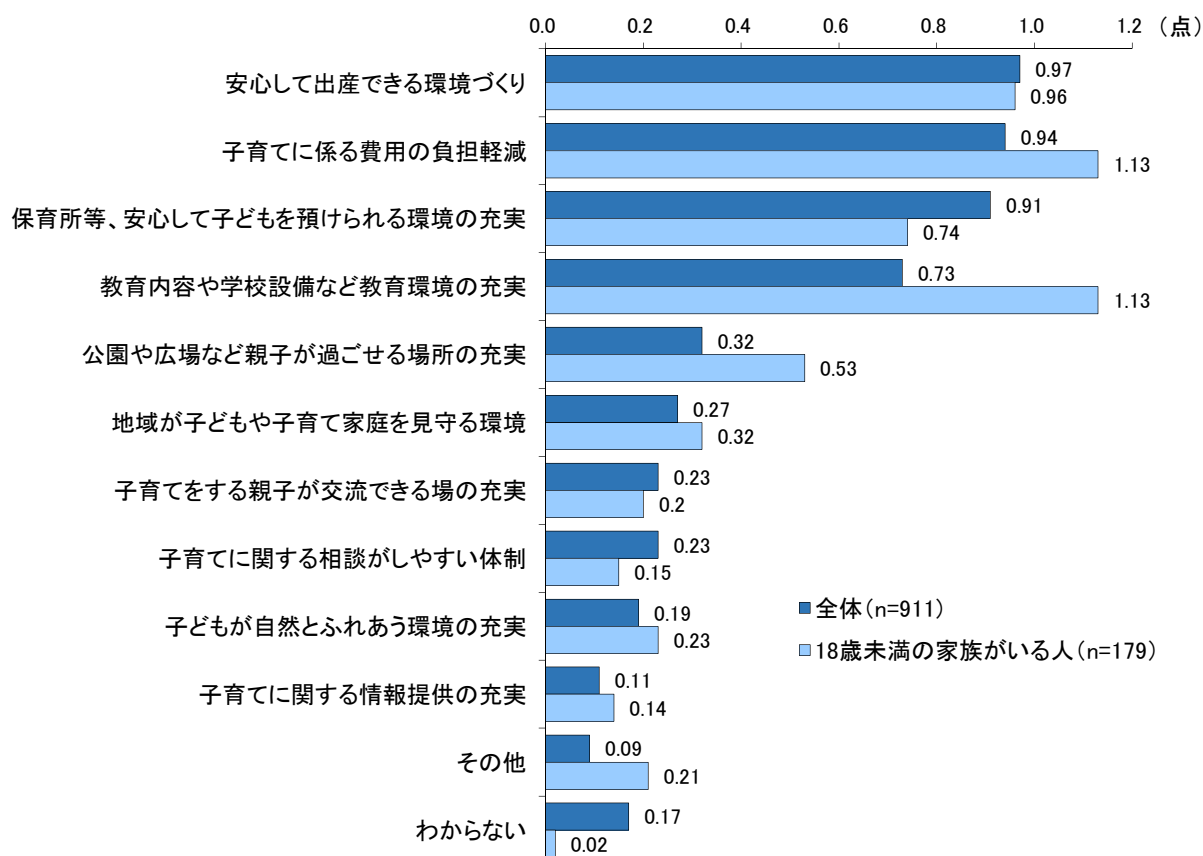


子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組について、1番目として回答した項目では、「安心して出産できる環境づくり」と回答した人の割合が26.3%と最も高くなっている。

2番目として回答した項目では、「保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実」と回答した人の割合が19.6%と最も高くなっている。

【子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組

(点数/全体・18歳未満の家族がいる人)】



\* 1 番目に回答した項目 : 3 点、2 番目に回答した項目 : 2 点、3 番目に回答した項目 : 1 点、  
回答していない項目 : 0 点とし、合計点を算出

子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組について、1～3番目に回答した項目を点数化すると、「安心して出産できる環境づくり」との回答が 0.97 点と最も高く、「子育てに係る費用の負担軽減」(0.94 点)、「保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実」(0.91 点)、「教育内容や学校設備など教育環境の充実」(0.73 点)が続いている。

18 歳未満の家族がいる人では、「子育てに係る費用の負担軽減」、「教育内容や学校設備など教育環境の充実」がともに 1.13 点と最も点数が高く、次いで「安心して出産できる環境づくり」(0.96 点)となっている。

【子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組（１番目/上位５位/性別・年齢別）】

|                    | 1 位                     | 2 位                              | 3 位                              | 4 位                              | 5 位                         |
|--------------------|-------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 男性<br>(n=408)      | 安心して出産できる環境づくり<br>27.2% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>21.6%           | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>13.7% | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>9.1%       | 公園や広場など親子が過ごせる場所の充実<br>3.7% |
| 女性<br>(n=476)      | 安心して出産できる環境づくり<br>25.6% | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>16.0% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>15.8%           | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>11.1%      | 公園や広場など親子が過ごせる場所の充実<br>3.4% |
| 20 歳代以下<br>(n=87)  | 安心して出産できる環境づくり<br>23.0% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>19.5%           | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>11.5%      | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>9.2%  | 公園や広場など親子が過ごせる場所の充実<br>6.9% |
| 30 歳代<br>(n=126)   | 安心して出産できる環境づくり<br>32.5% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>25.4%           | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>13.5%      | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>8.7%  | 公園や広場など親子が過ごせる場所の充実<br>6.3% |
| 40 歳代<br>(n=126)   | 子育てに係る費用の負担軽減<br>24.6%  | 安心して出産できる環境づくり<br>23.8%          | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>14.3%      | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>13.5% | 地域が子どもや子育て家庭を見守る環境<br>4.8%  |
| 50 歳代<br>(n=150)   | 安心して出産できる環境づくり<br>21.3% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>20.7%           | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>18.7% | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>12.0%      | 子育てをする親子が交流できる場の充実<br>4.0%  |
| 60 歳代<br>(n=185)   | 安心して出産できる環境づくり<br>28.1% | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>20.0% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>17.3%           | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>8.6%       | 子育てに関する相談がしやすい体制<br>2.2%    |
| 70 歳代以上<br>(n=216) | 安心して出産できる環境づくり<br>27.8% | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>14.4% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>8.8%            | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>5.6%       | 子育てをする親子が交流できる場の充実<br>5.1%  |

性別にみると、男女ともに「安心して出産できる環境づくり」と回答した人の割合が最も高くなっている。

２番目に高い取組は、男性では「子育てに係る費用の負担軽減」、女性では「保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実」となっている。

年齢別にみると、40 歳代を除くすべての年齢層で「安心して出産できる環境づくり」と回答した人の割合が最も高くなっており、30 歳代では３割を超えている。

また、40 歳代では「子育てに係る費用の負担軽減」と回答した人の割合が最も高くなっている。

２番目に高い取組は、20 歳代以下、30 歳代、50 歳代では「子育てに係る費用の負担軽減」、40 歳代では「安心して出産できる環境づくり」、60 歳代、70 歳代以上では「保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実」となっている。

【子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組（１番目/上位５位/地区別）】

|                 | １位                      | ２位                               | ３位                               | ４位                          | ５位                          |
|-----------------|-------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 久賀地区<br>(n=180) | 安心して出産できる環境づくり<br>25.6% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>21.7%           | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>11.1% | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>10.0% | 子育てをする親子が交流できる場の充実<br>5.0%  |
| 大島地区<br>(n=343) | 安心して出産できる環境づくり<br>26.2% | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>15.5% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>15.2%           | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>10.2% | 公園や広場など親子が過ごせる場所の充実<br>4.1% |
| 東和地区<br>(n=170) | 安心して出産できる環境づくり<br>30.6% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>20.0%           | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>16.5% | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>9.4%  | 子育てをする親子が交流できる場の充実<br>2.9%  |
| 橘地区<br>(n=198)  | 安心して出産できる環境づくり<br>23.7% | 子育てに係る費用の負担軽減<br>19.2%           | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>15.7% | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>11.1% | 子育てをする親子が交流できる場の充実<br>3.0%  |

地区別にみると、いずれの地区でも「安心して出産できる環境づくり」と回答した人の割合が最も高く、２・３番目に高い取組は、「子育てに係る費用の負担軽減」、「保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実」となっている。

【子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組

（１番目/上位５位/18歳未満の家族がいる人）】

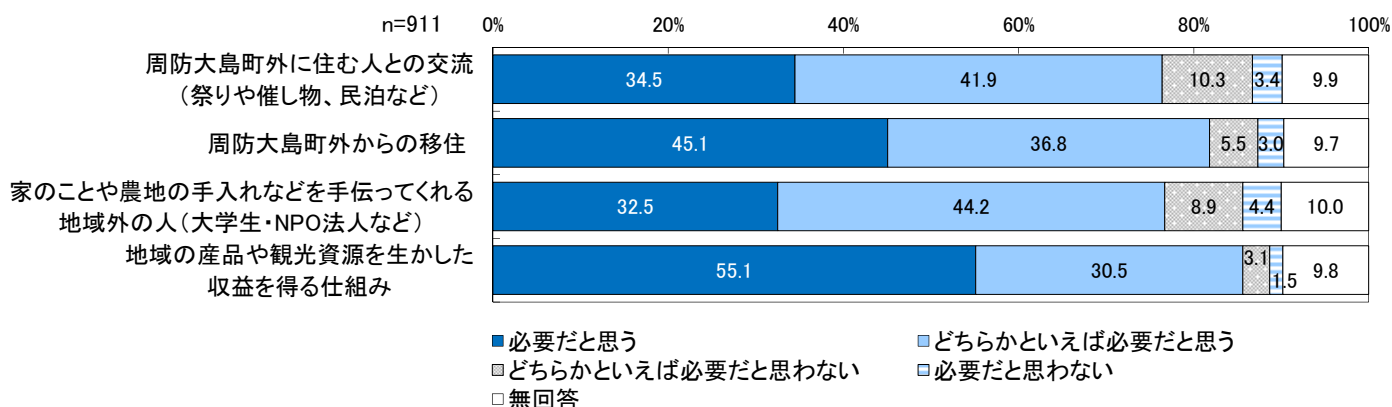
|                         | １位                     | ２位                      | ３位                          | ４位                              | ５位                          |
|-------------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 18歳未満の家族がいる人<br>(n=179) | 子育てに係る費用の負担軽減<br>25.7% | 安心して出産できる環境づくり<br>22.9% | 教育内容や学校設備など教育環境の充実<br>18.4% | 保育所等、安心して子どもを預けられる環境の充実<br>9.5% | 公園や広場など親子が過ごせる場所の充実<br>5.6% |

18歳未満の家族がいる人では、「子育てに係る費用の負担軽減」と回答した人の割合が最も高く、２位が「安心して出産できる環境づくり」、３位が「教育内容や学校設備など教育環境の充実」となっている。

(11) 活気のある地域づくりを進めていくうえで必要だと思うこと

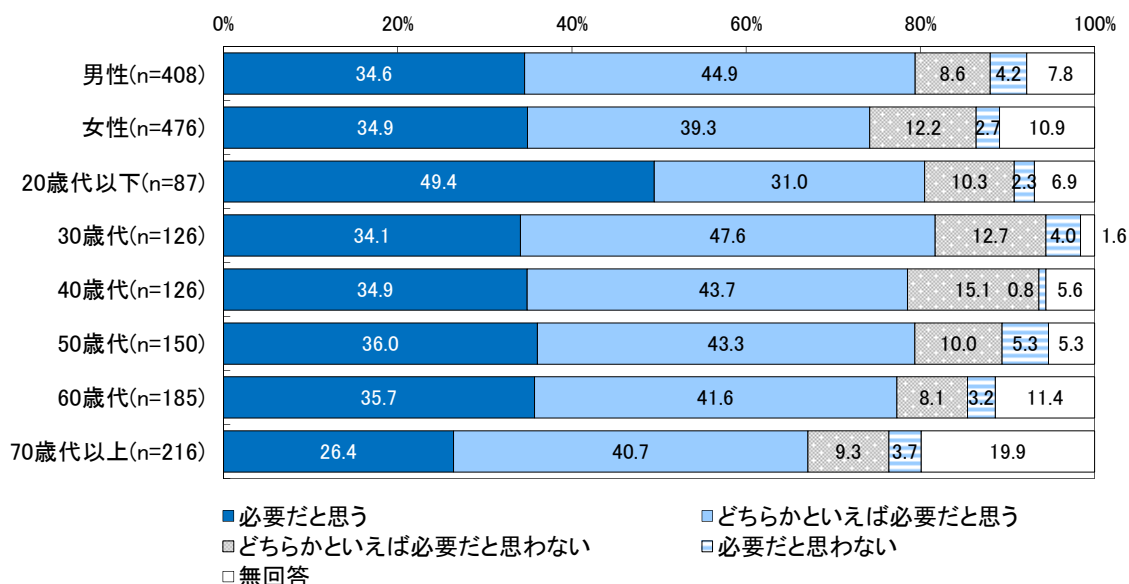
問 26 人口減少が進む状況の中で、活気のある地域づくりを進めていくうえで、次の項目についてどのように思いますか。【(1)～(4)それぞれ○は1つ】

【活気のある地域づくりを進めていくうえで必要だと思うこと】



活気のある地域づくりを進めていくうえで必要だと思うことについて、いずれの項目も『必要だと思う』(「必要だと思う」+「どちらかといえば必要だと思う」)と回答した人の割合が7割台から8割台であり、特に、「地域の産品や観光資源を生かした収益を得る仕組み」では85.6%となっている。

【① 周防大島町外に住む人との交流 (性別・年齢別)】

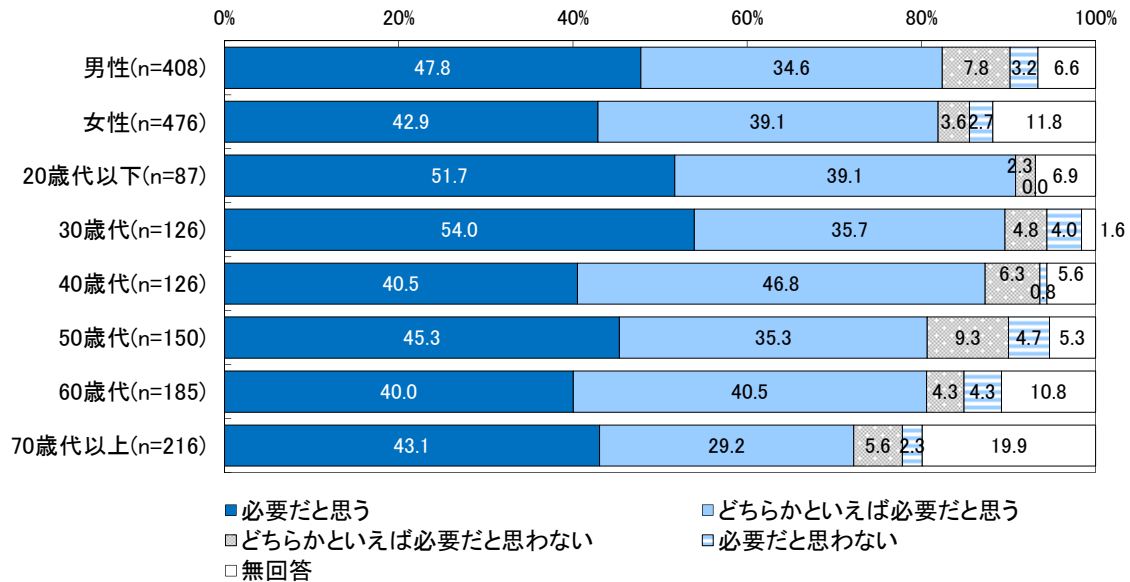


性別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、男性で約8割となっている。

年齢別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、20歳代以下、30歳代で8割を超えている。

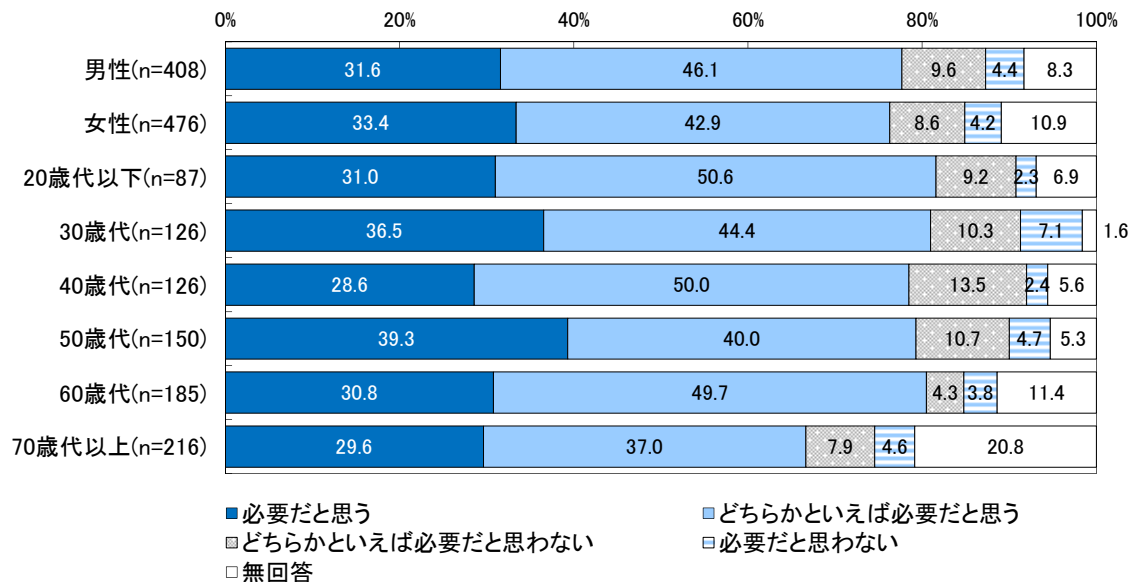
また、20歳代以下では「必要だと思う」と回答した人の割合が約5割となっている。

【② 周防大島町外からの移住（性別・年齢別）】



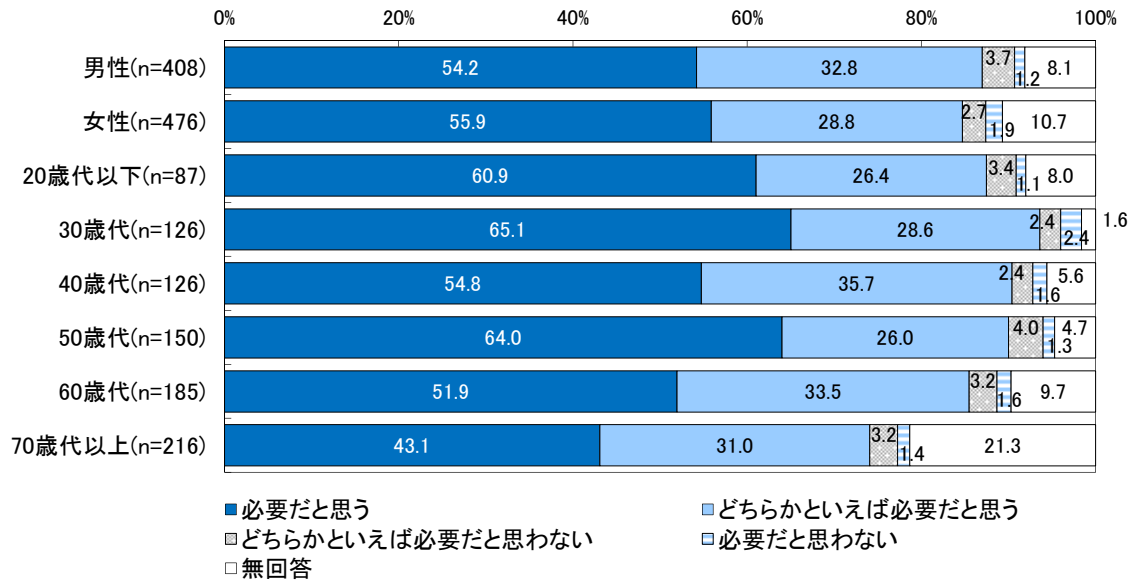
性別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、男女ともに8割を超えている。  
 年齢別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、20歳代以下、30歳代で9割前後となっている。

【③ 家のことや農地の手入れなどを手伝ってくれる地域外の人（性別・年齢別）】



性別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、男女ともに7割台半ばとなっている。  
 年齢別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、20歳代以下から60歳代で8割前後となっている。

【④ 地域の産品や観光資源を生かした収益を得る仕組み（性別・年齢別）】



性別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、男女ともに8割を超えている。

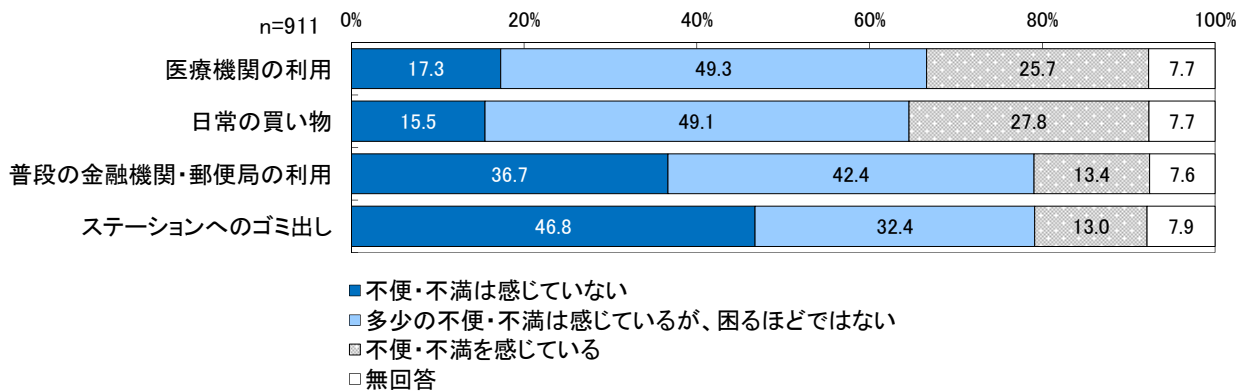
年齢別にみると、『必要だと思う』と回答した人の割合は、30歳代、40歳代、50歳代で9割を超えている。

(12) 暮らしの中で不便・不満に感じること

問 27 あなたは、日常の暮らしの中で次の項目についてどのように感じていますか。

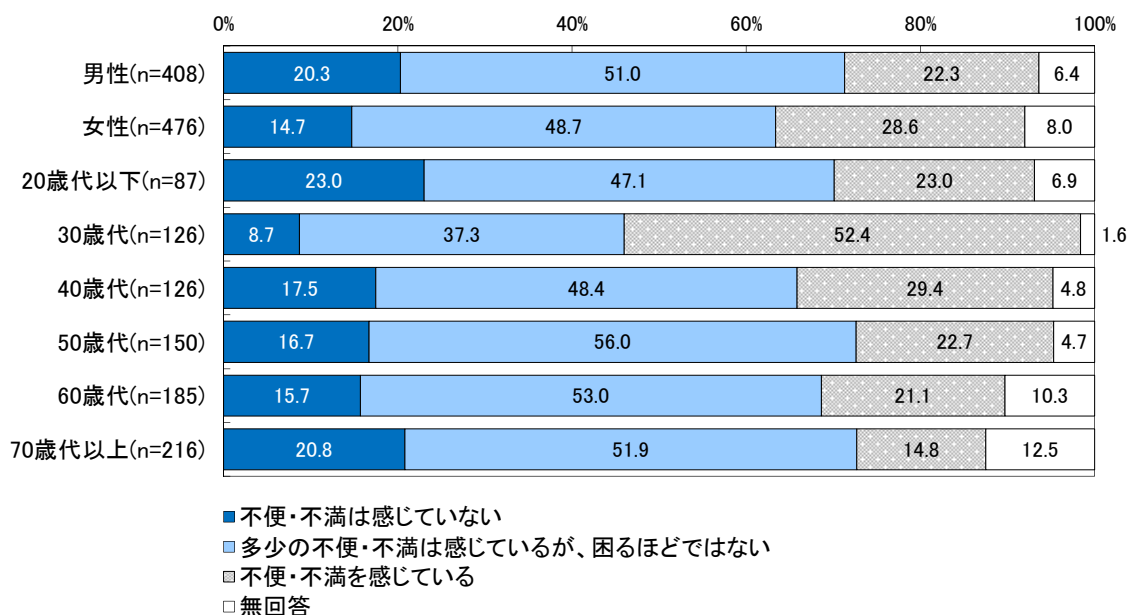
【(1)～(4)それぞれ○は1つ】

【暮らしの中で不便・不満に感じること】



暮らしの中で不便・不満に感じることについて、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、「医療機関の利用」で25.7%、「日常の買い物」で27.8%、「普段の金融機関・郵便局の利用」で13.4%、「ステーションへのゴミ出し」で13.0%となっている。

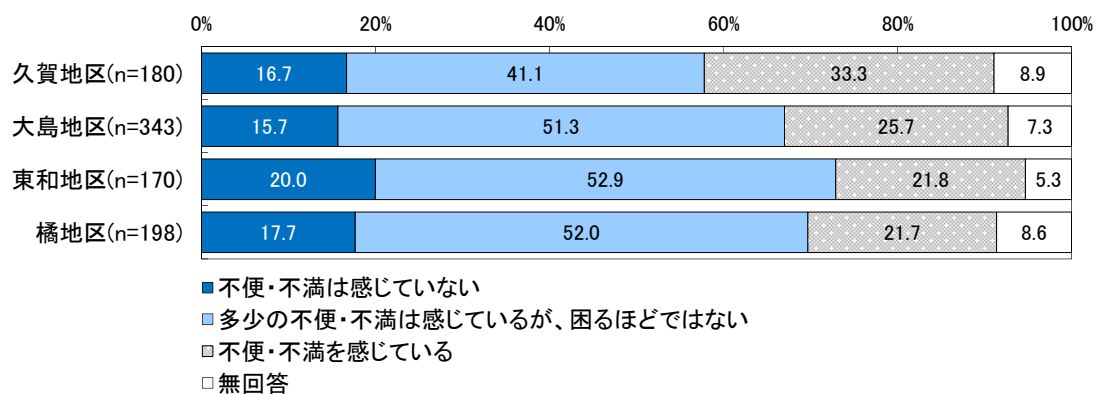
【① 医療機関の利用（性別・年齢別）】



性別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、女性で3割に近くなっている。

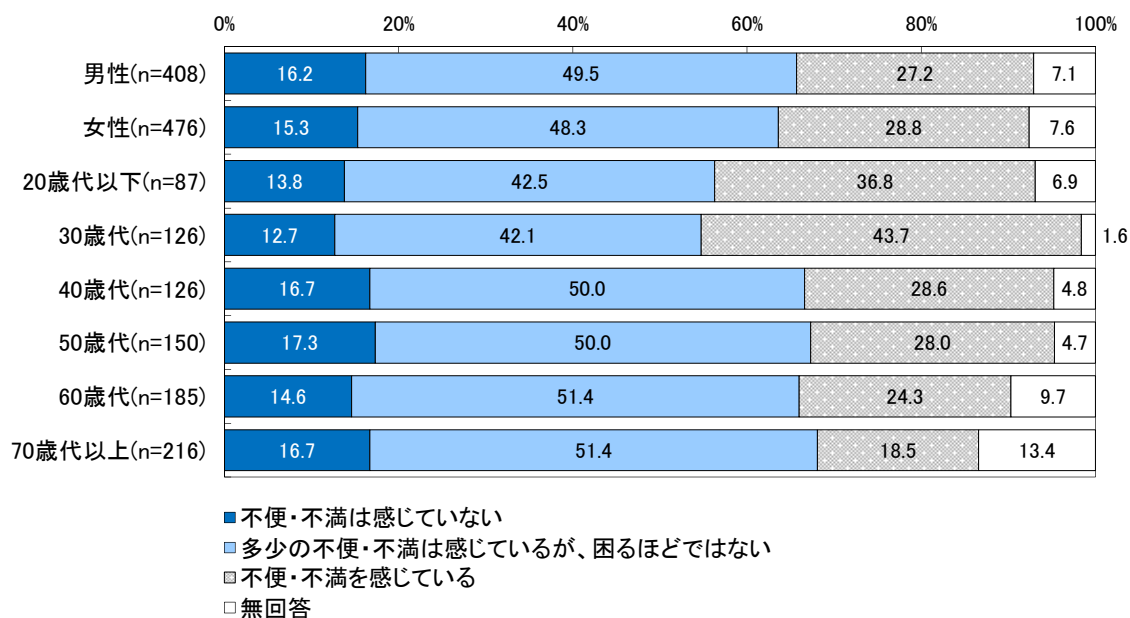
年齢別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、30歳代で5割を超えている。

【① 医療機関の利用（地区別）】



地区別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、久賀地区で3割を超えている。

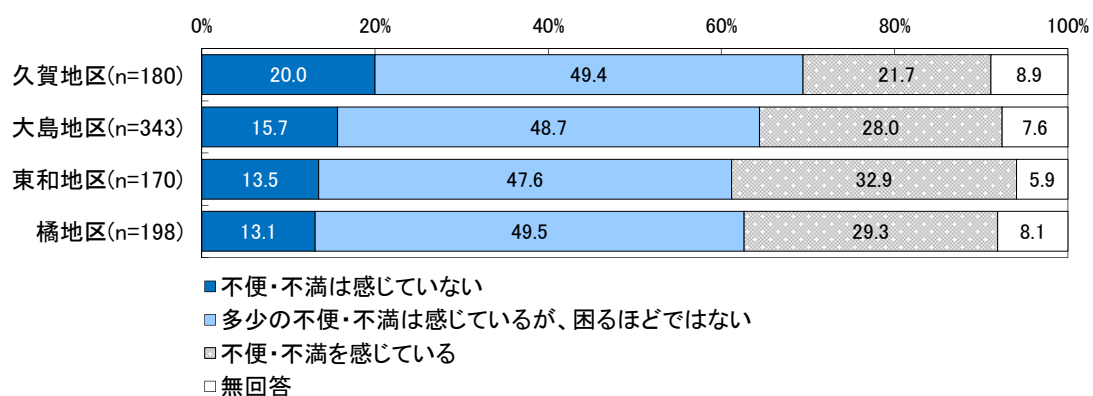
## 【② 日常の買い物（性別・年齢別）】



性別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、男女ともに2割台後半となっている。

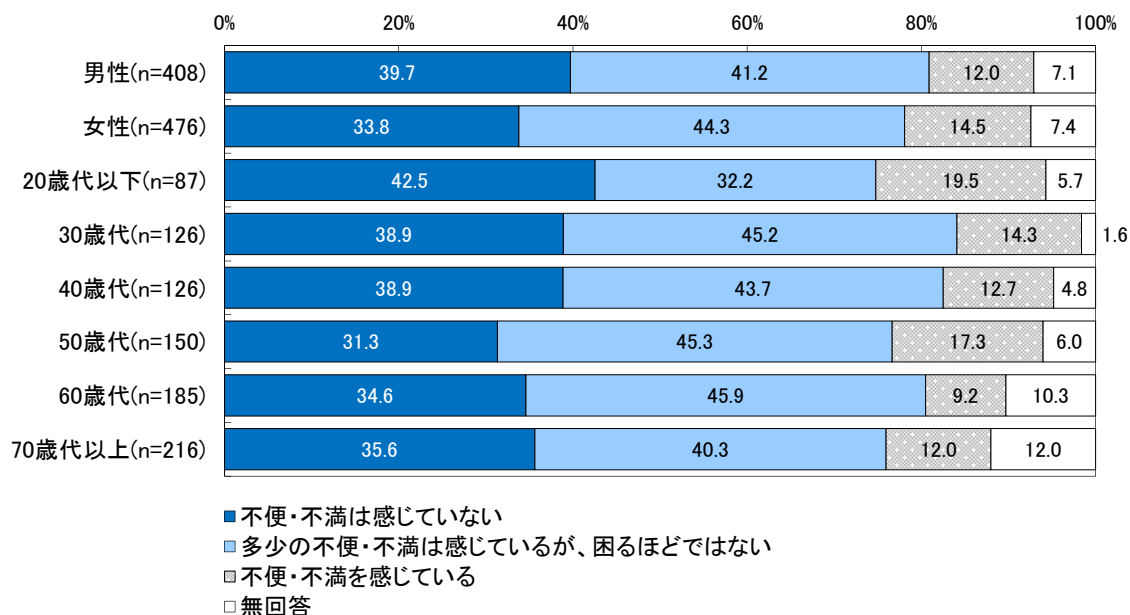
年齢別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、30歳代で4割を超え、20歳代以下で3割台後半となっている。

## 【② 日常の買い物（地区別）】



地区別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、東和地区で3割を超えており、大島地区、橘地区でも2割台後半となっている。

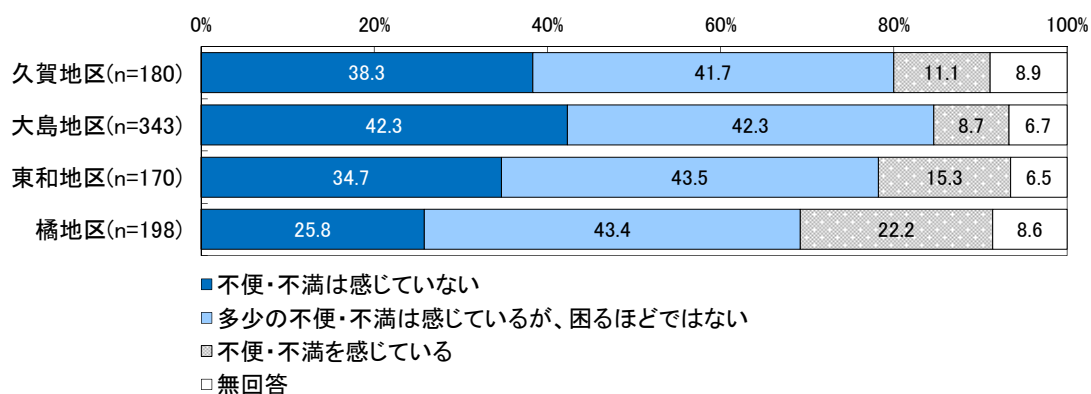
### 【③ 普段の金融機関・郵便局の利用（性別・年齢別）】



性別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、男女ともに1割台となっている。

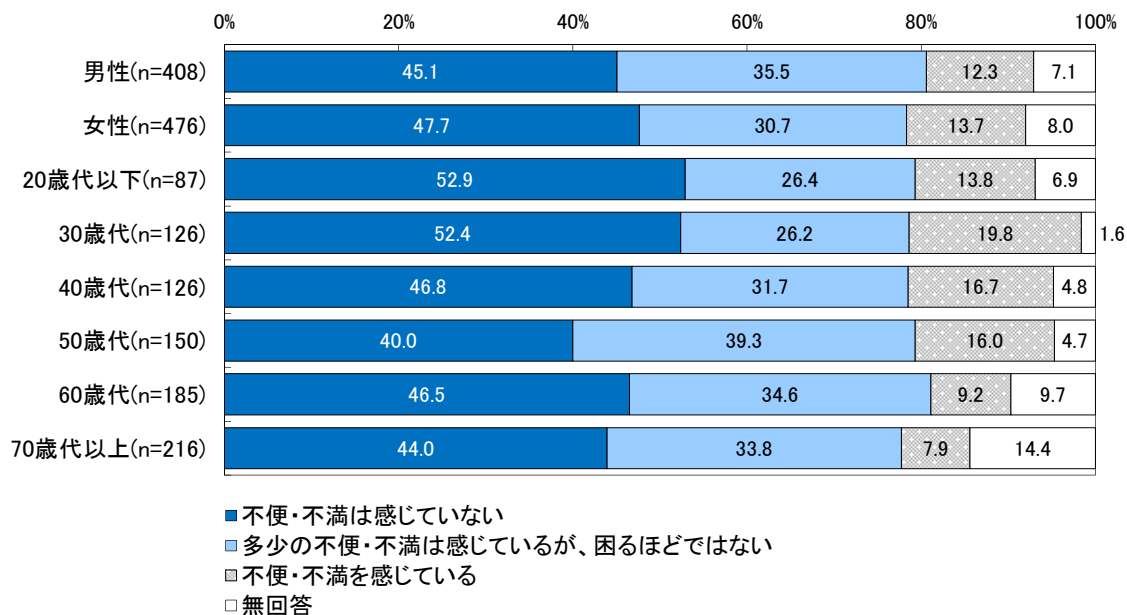
年齢別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、20歳代以下で約2割となっている。

### 【③ 普段の金融機関・郵便局の利用（地区別）】



地区別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、橘地区で2割を超えている。

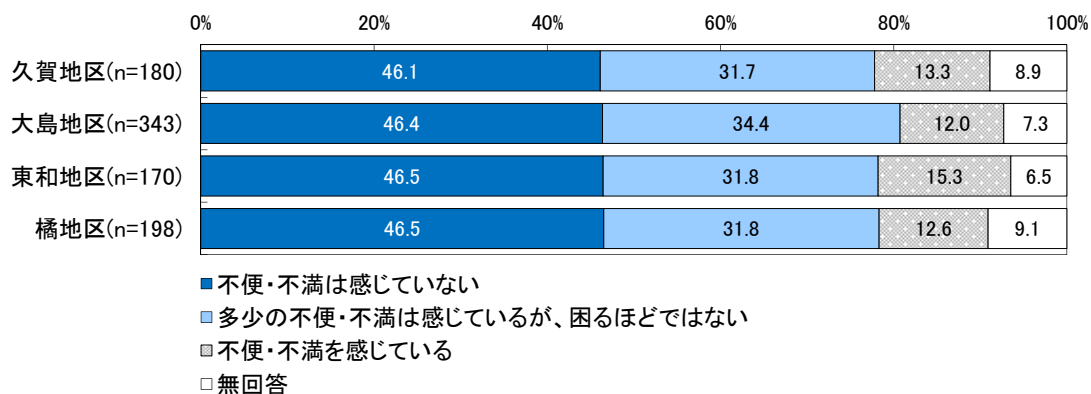
【④ ステーションへのゴミ出し（性別・年齢別）】



性別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、男女ともに1割台となっている。

年齢別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、30歳代で約2割となっている。

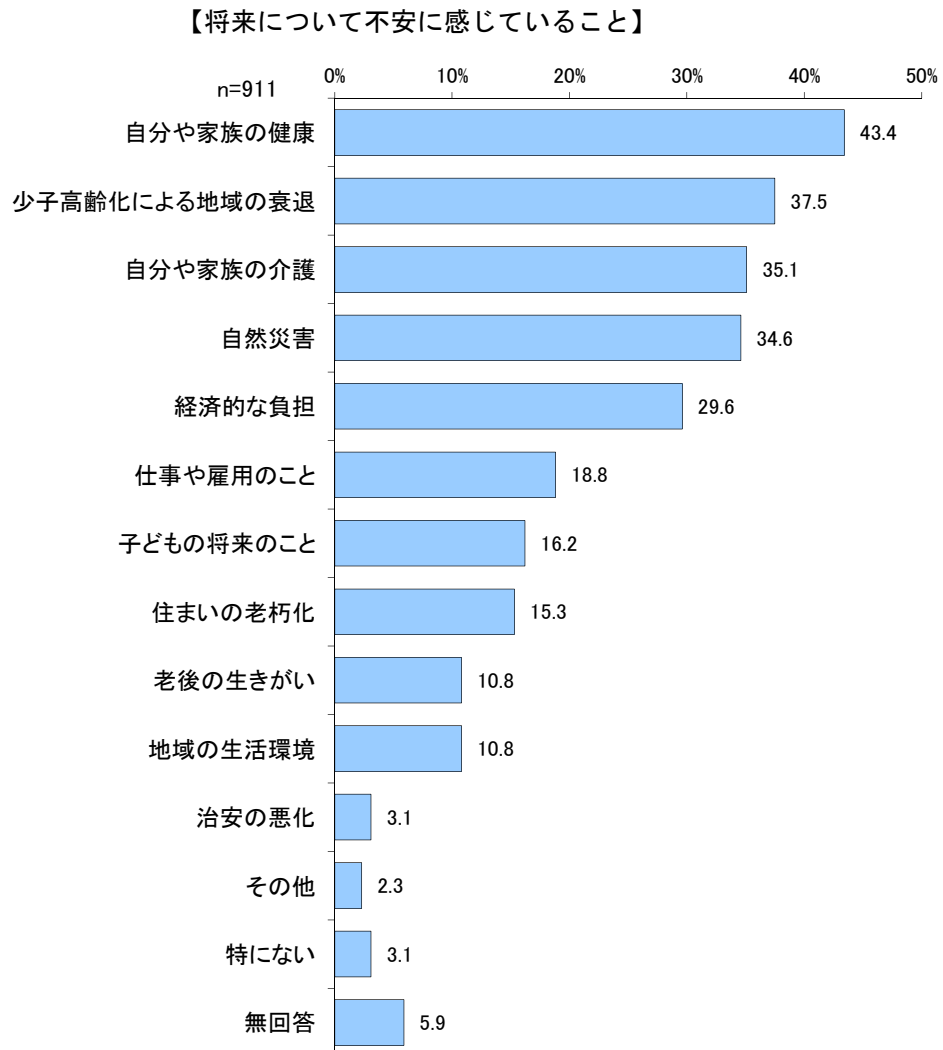
【④ ステーションへのゴミ出し（地区別）】



地区別にみると、「不便・不満を感じている」と回答した人の割合は、いずれの地区でも1割台となっている。

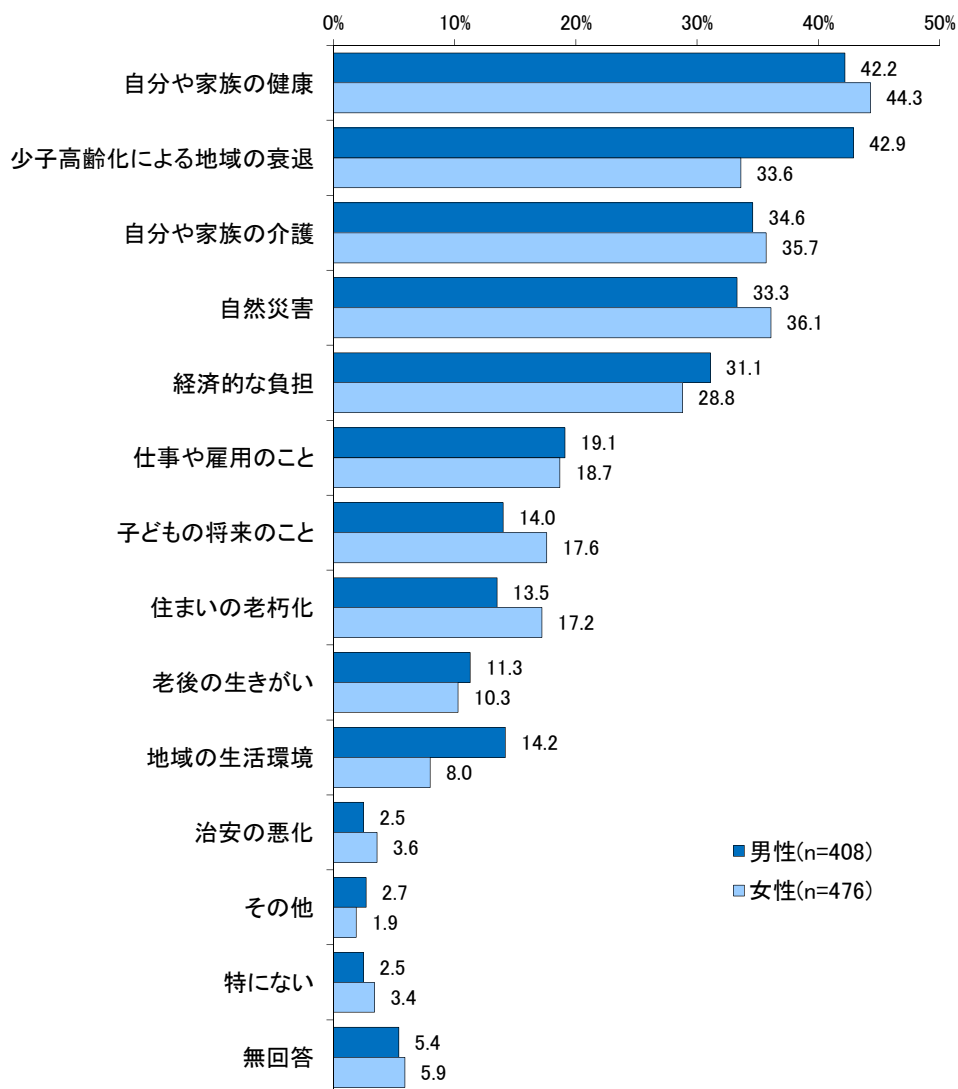
(13) 将来について不安に感じていること

問 28 あなたは、将来についてどのようなことが不安ですか。【〇は3つまで】



将来について不安に感じていることについて、「自分や家族の健康」と回答した人の割合が43.4%と最も高く、「少子高齢化による地域の衰退」(37.5%)、「自分や家族の介護」(35.1%)、「自然災害」(34.6%)、「経済的な負担」(29.6%)が続いている。

【将来について不安に感じていること（性別）】



性別にみると、男性では「少子高齢化による地域の衰退」、「自分や家族の健康」と回答した人の割合がともに4割を超えて上位となっている。

女性では、「自分や家族の健康」と回答した人の割合が4割を超え最も高くなっている。

【将来について不安に感じていること（年齢別）】

|        | 回答数 | 自分や家族の健康 | 少子高齢化による地域の衰退 | 自分や家族の介護 | 自然災害  | 経済的な負担 | 仕事や雇用のこと | 子どもの将来のこと | 住まいの老朽化 |
|--------|-----|----------|---------------|----------|-------|--------|----------|-----------|---------|
| 20歳代以下 | 87  | 27.6%    | 33.3%         | 27.6%    | 28.7% | 34.5%  | 40.2%    | 14.9%     | 10.3%   |
| 30歳代   | 126 | 33.3%    | 41.3%         | 20.6%    | 34.1% | 42.1%  | 34.1%    | 34.9%     | 15.1%   |
| 40歳代   | 126 | 41.3%    | 34.1%         | 34.1%    | 29.4% | 27.8%  | 33.3%    | 24.6%     | 14.3%   |
| 50歳代   | 150 | 42.0%    | 37.3%         | 44.7%    | 34.0% | 34.0%  | 18.7%    | 13.3%     | 16.7%   |
| 60歳代   | 185 | 50.3%    | 41.6%         | 35.7%    | 40.5% | 27.6%  | 5.4%     | 8.1%      | 16.8%   |
| 70歳代以上 | 216 | 51.4%    | 37.5%         | 40.3%    | 35.6% | 21.3%  | 4.2%     | 7.9%      | 16.2%   |

|        | 回答数 | 老後の生きがい | 地域の生活環境 | 治安の悪化 | その他  | 特にない | 無回答  |
|--------|-----|---------|---------|-------|------|------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 11.5%   | 8.0%    | —     | 2.3% | 9.2% | 4.6% |
| 30歳代   | 126 | 7.9%    | 12.7%   | 4.8%  | 0.8% | 1.6% | 1.6% |
| 40歳代   | 126 | 11.1%   | 9.5%    | 2.4%  | 4.8% | 0.8% | 4.8% |
| 50歳代   | 150 | 10.0%   | 10.0%   | 4.0%  | 4.0% | 0.7% | 4.0% |
| 60歳代   | 185 | 15.1%   | 13.5%   | 2.7%  | 1.1% | 2.2% | 7.0% |
| 70歳代以上 | 216 | 8.3%    | 9.7%    | 3.7%  | 1.4% | 5.1% | 9.7% |

年齢別にみると、「自分や家族の健康」と回答した人の割合は、60歳代、70歳代以上で5割を超えている。

「経済的な負担」と回答した人の割合は、30歳代で4割を超えている。

「仕事や雇用のこと」と回答した人の割合は、20歳代以下で4割を超えている。

「子どもの将来のこと」と回答した人の割合は、30歳代で3割を超えている。

【将来について不安に感じていること（地区別）】

|      | 回答数 | 自分や家族の健康 | 少子高齢化による地域の衰退 | 自分や家族の介護 | 自然災害  | 経済的な負担 | 仕事や雇用のこと | 子どもの将来のこと | 住まいの老朽化 |
|------|-----|----------|---------------|----------|-------|--------|----------|-----------|---------|
| 久賀地区 | 180 | 32.2%    | 32.8%         | 34.4%    | 30.6% | 33.9%  | 21.1%    | 18.9%     | 14.4%   |
| 大島地区 | 343 | 44.3%    | 34.4%         | 37.3%    | 36.7% | 25.1%  | 16.0%    | 19.0%     | 16.3%   |
| 東和地区 | 170 | 48.8%    | 48.2%         | 37.1%    | 35.3% | 31.8%  | 18.8%    | 11.8%     | 17.1%   |
| 橘地区  | 198 | 47.5%    | 39.4%         | 30.3%    | 34.3% | 32.3%  | 20.7%    | 11.6%     | 13.6%   |

|      | 回答数 | 老後の生きがい | 地域の生活環境 | 治安の悪化 | その他  | 特にない | 無回答  |
|------|-----|---------|---------|-------|------|------|------|
| 久賀地区 | 180 | 9.4%    | 5.6%    | 1.7%  | 2.8% | 6.7% | 6.1% |
| 大島地区 | 343 | 12.0%   | 12.0%   | 2.6%  | 1.7% | 2.6% | 5.8% |
| 東和地区 | 170 | 11.2%   | 8.2%    | 2.9%  | 2.9% | 2.4% | 2.9% |
| 橘地区  | 198 | 9.1%    | 15.7%   | 5.6%  | 2.0% | 1.0% | 8.1% |

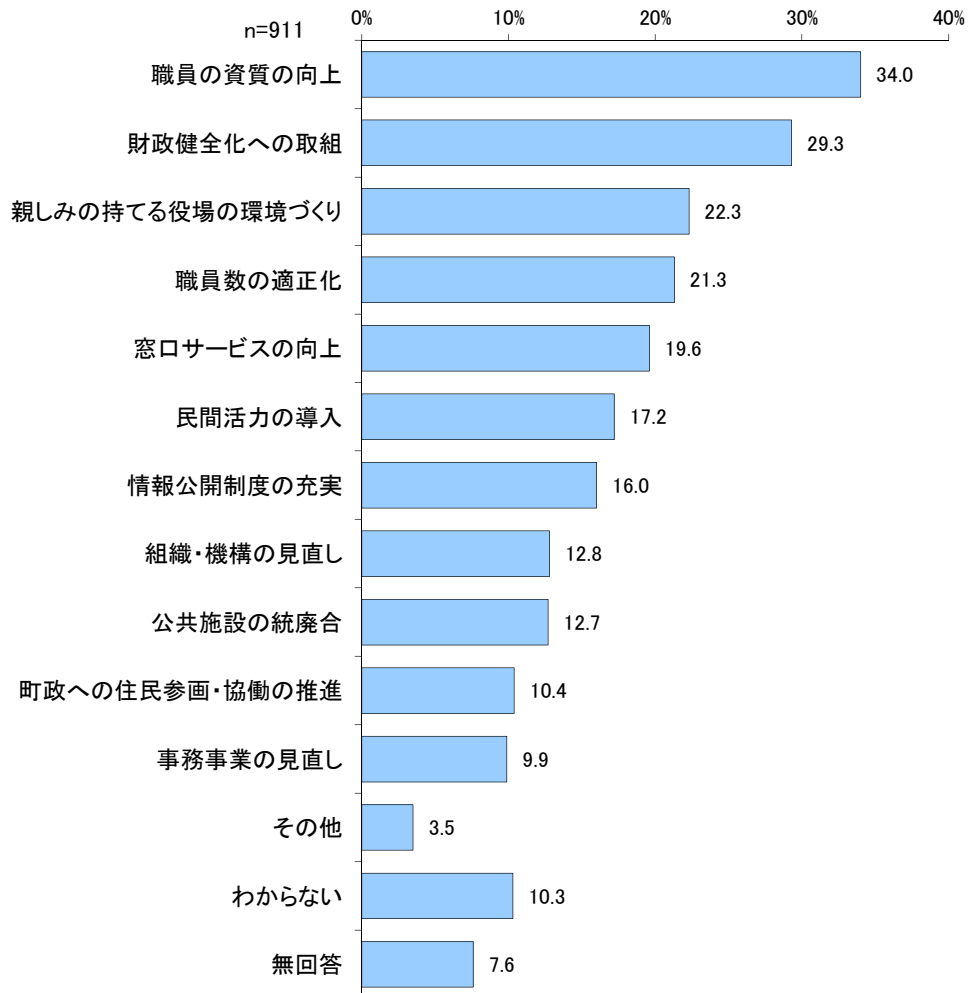
地区別にみると、「少子高齢化による地域の衰退」と回答した人の割合は、東和地区で5割に近くなっている。

(14) 重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容

問 29 周防大島町では、効率的な住民サービスの向上や効率的な行政運営を図るため行財政改革に取り組んでいます。あなたは、今後、何に重点を置いて取り組むべきと思いますか。

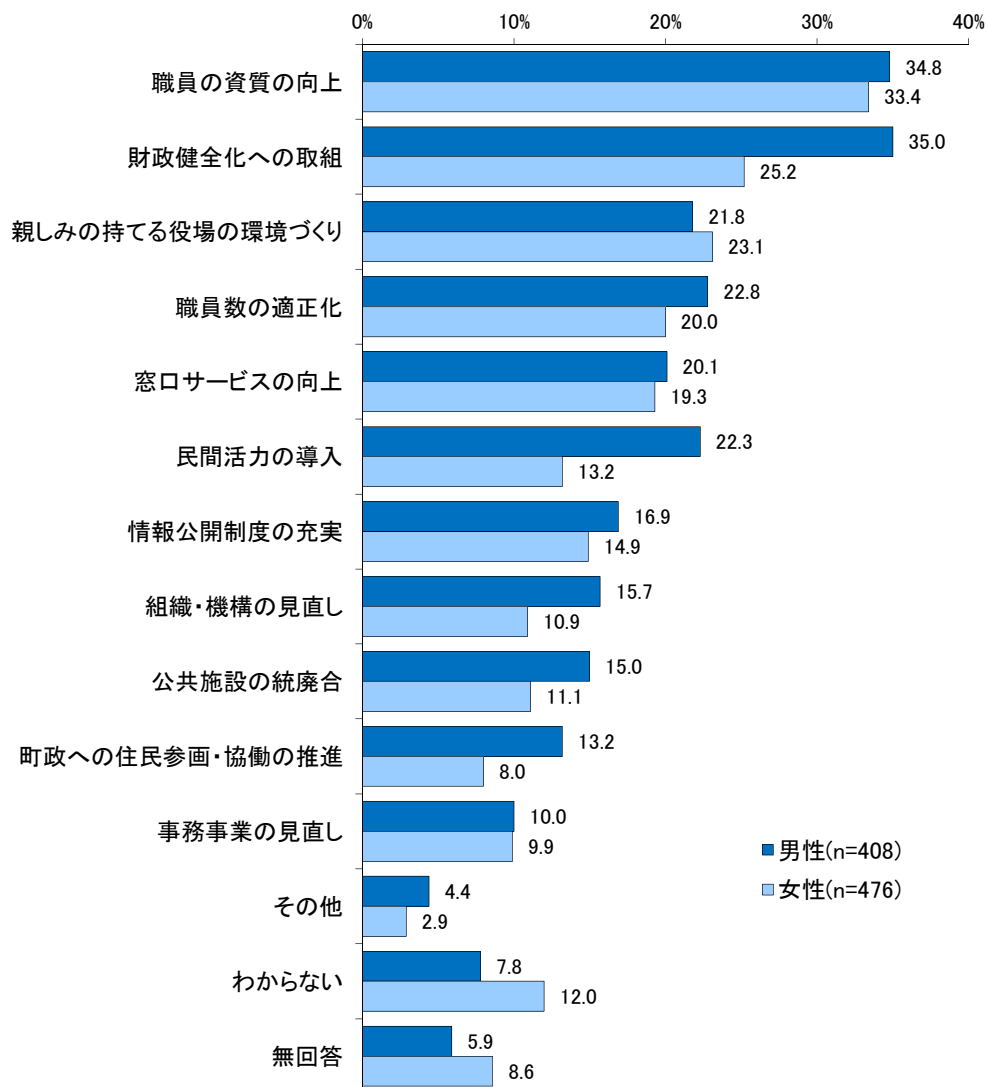
【○は3つまで】

【重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容】



重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容について、「職員の資質の向上」と回答した人の割合が34.0%と最も高く、「財政健全化への取組」(29.3%)、「親しみの持てる役場の環境づくり」(22.3%)、「職員数の適正化」(21.3%)、「窓口サービスの向上」(19.6%)、「民間活力の導入」(17.2%)、「情報公開制度の充実」(16.0%)が続いている。

【重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容（性別）】



性別にみると、男性では、「財政健全化への取組」、「職員の資質の向上」と回答した人の割合がともに高く、3割を超えている。

また、女性においても「職員の資質の向上」と回答した人の割合が最も高く、3割を超えている。

【重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容（年齢別）】

|        | 回答数 | 職員の資質の向上 | 財政健全化への取組 | 親しみの持てる役場の環境づくり | 職員数の適正化 | 窓口サービスの向上 | 民間活力の導入 | 情報公開制度の充実 | 組織・機構の見直し |
|--------|-----|----------|-----------|-----------------|---------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 20歳代以下 | 87  | 27.6%    | 12.6%     | 25.3%           | 17.2%   | 16.1%     | 11.5%   | 23.0%     | 13.8%     |
| 30歳代   | 126 | 43.7%    | 28.6%     | 22.2%           | 23.0%   | 21.4%     | 21.4%   | 9.5%      | 23.0%     |
| 40歳代   | 126 | 40.5%    | 28.6%     | 21.4%           | 27.8%   | 15.1%     | 21.4%   | 18.3%     | 16.7%     |
| 50歳代   | 150 | 38.0%    | 34.0%     | 18.0%           | 24.7%   | 20.7%     | 18.0%   | 11.3%     | 13.3%     |
| 60歳代   | 185 | 31.9%    | 36.8%     | 21.1%           | 20.0%   | 19.5%     | 20.0%   | 20.0%     | 5.9%      |
| 70歳代以上 | 216 | 25.9%    | 28.2%     | 25.9%           | 16.2%   | 22.2%     | 12.5%   | 14.8%     | 10.6%     |

|        | 回答数 | 公共施設の統廃合 | 町政への住民参画・協働の推進 | 事務事業の見直し | その他  | わからない | 無回答   |
|--------|-----|----------|----------------|----------|------|-------|-------|
| 20歳代以下 | 87  | 12.6%    | 13.8%          | 13.8%    | 3.4% | 17.2% | 5.7%  |
| 30歳代   | 126 | 14.3%    | 10.3%          | 11.1%    | 2.4% | 8.7%  | 2.4%  |
| 40歳代   | 126 | 17.5%    | 9.5%           | 7.9%     | 5.6% | 7.1%  | 4.8%  |
| 50歳代   | 150 | 14.7%    | 10.0%          | 11.3%    | 3.3% | 10.0% | 4.7%  |
| 60歳代   | 185 | 12.4%    | 13.0%          | 10.8%    | 2.2% | 7.0%  | 9.2%  |
| 70歳代以上 | 216 | 8.3%     | 7.9%           | 7.4%     | 4.6% | 12.5% | 13.4% |

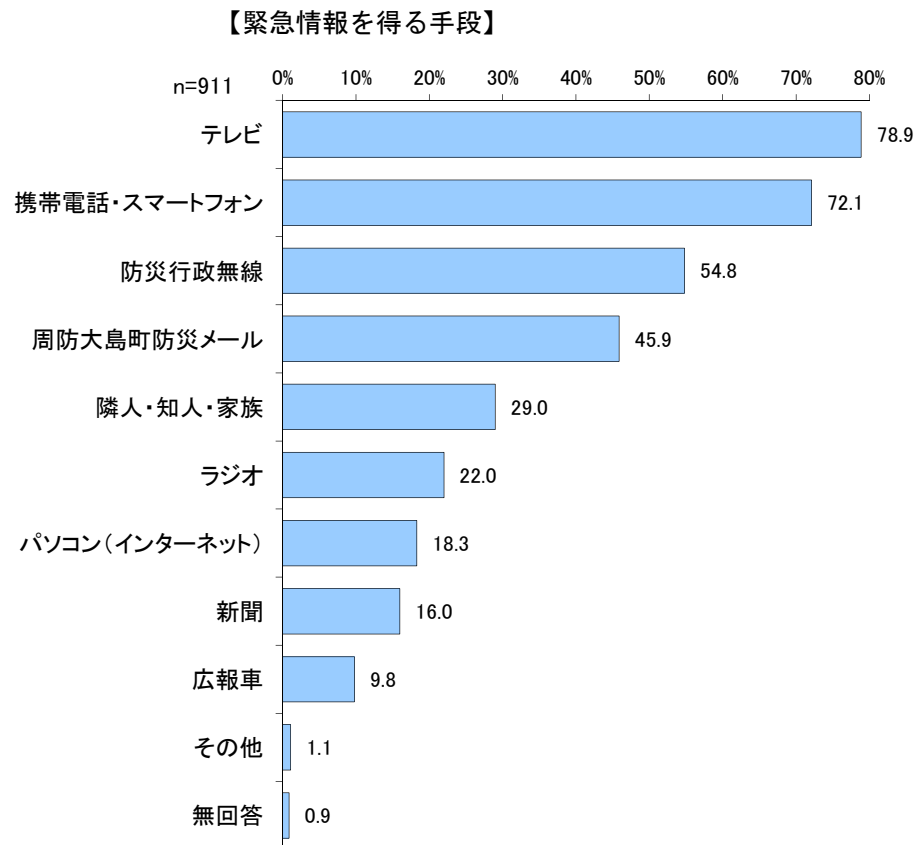
年齢別にみると、「職員の資質の向上」と回答した人の割合は、30歳代、40歳代で4割を超えている。

「財政健全化への取組」と回答した人の割合は、50歳代、60歳代で3割を超えている。

(15) 緊急時への備え

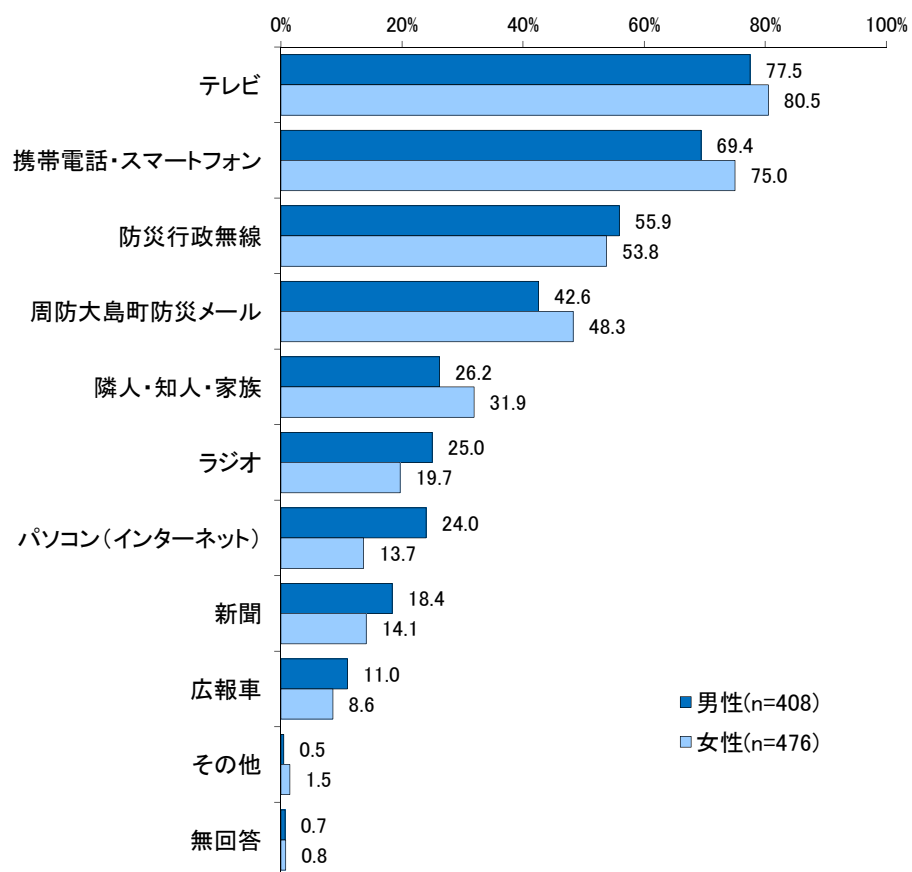
問 30 地震などの際、緊急情報を得る手段として何を利用しますか。

【〇はあてはまるものすべて】



緊急情報を得る手段について、「テレビ」と回答した人の割合が78.9%と最も高く、「携帯電話・スマートフォン」(72.1%)、「防災行政無線」(54.8%)、「周防大島町防災メール」(45.9%)が続いている。

【緊急情報を得る手段（性別）】



性別にみると、男女ともに、「テレビ」、「携帯電話・スマートフォン」と回答した人の割合が上位となっている。

【緊急情報を得る手段（年齢別）】

|        | 回答数 | テレビ   | 携帯電話・スマートフォン | 防災行政無線 | 周防大島町防災メール | 隣人・知人・家族 | ラジオ   | パソコン（インターネット） | 新聞    |
|--------|-----|-------|--------------|--------|------------|----------|-------|---------------|-------|
| 20歳代以下 | 87  | 58.6% | 94.3%        | 34.5%  | 32.2%      | 25.3%    | 9.2%  | 16.1%         | 9.2%  |
| 30歳代   | 126 | 74.6% | 92.9%        | 34.9%  | 55.6%      | 27.8%    | 18.3% | 27.8%         | 4.8%  |
| 40歳代   | 126 | 72.2% | 84.9%        | 43.7%  | 52.4%      | 21.4%    | 23.0% | 21.4%         | 13.5% |
| 50歳代   | 150 | 78.0% | 85.3%        | 54.0%  | 58.0%      | 22.7%    | 17.3% | 22.0%         | 10.7% |
| 60歳代   | 185 | 88.1% | 67.0%        | 70.8%  | 46.5%      | 31.4%    | 31.9% | 16.2%         | 20.0% |
| 70歳代以上 | 216 | 87.0% | 38.4%        | 67.1%  | 31.9%      | 38.9%    | 23.6% | 10.6%         | 26.9% |

|        | 回答数 | 広報車   | その他  | 無回答  |
|--------|-----|-------|------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 2.3%  | －    | －    |
| 30歳代   | 126 | 5.6%  | 1.6% | 0.8% |
| 40歳代   | 126 | 4.8%  | 0.8% | －    |
| 50歳代   | 150 | 4.0%  | 0.7% | 0.7% |
| 60歳代   | 185 | 11.4% | 1.1% | 0.5% |
| 70歳代以上 | 216 | 20.4% | 1.9% | 2.3% |

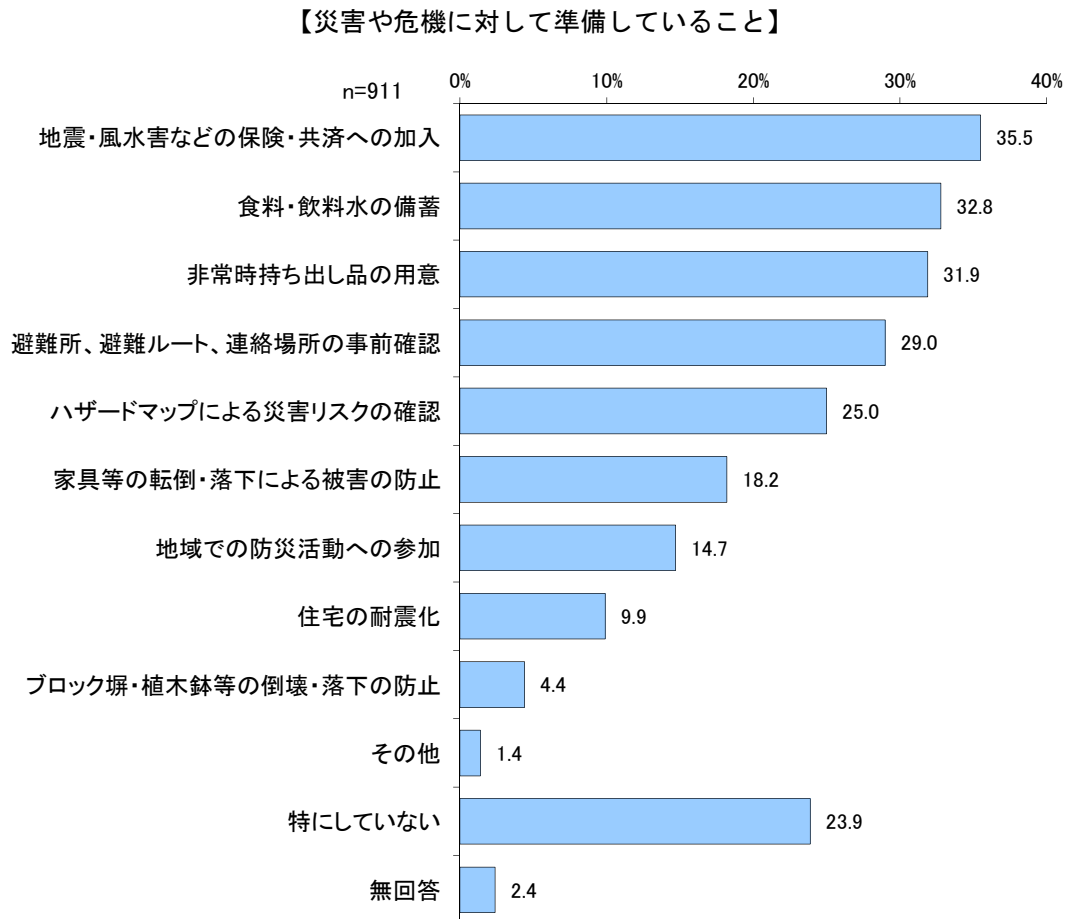
年齢別にみると、回答した人の割合が最も高い項目は、20歳代以下から50歳代では「携帯電話・スマートフォン」、60歳代、70歳代以上では「テレビ」となっている。

「防災行政無線」と回答した人の割合は、60歳代で7割を超え、70歳代以上で6割台後半となっている。

「周防大島町防災メール」と回答した人の割合は、30歳代から50歳代で5割台となっている。

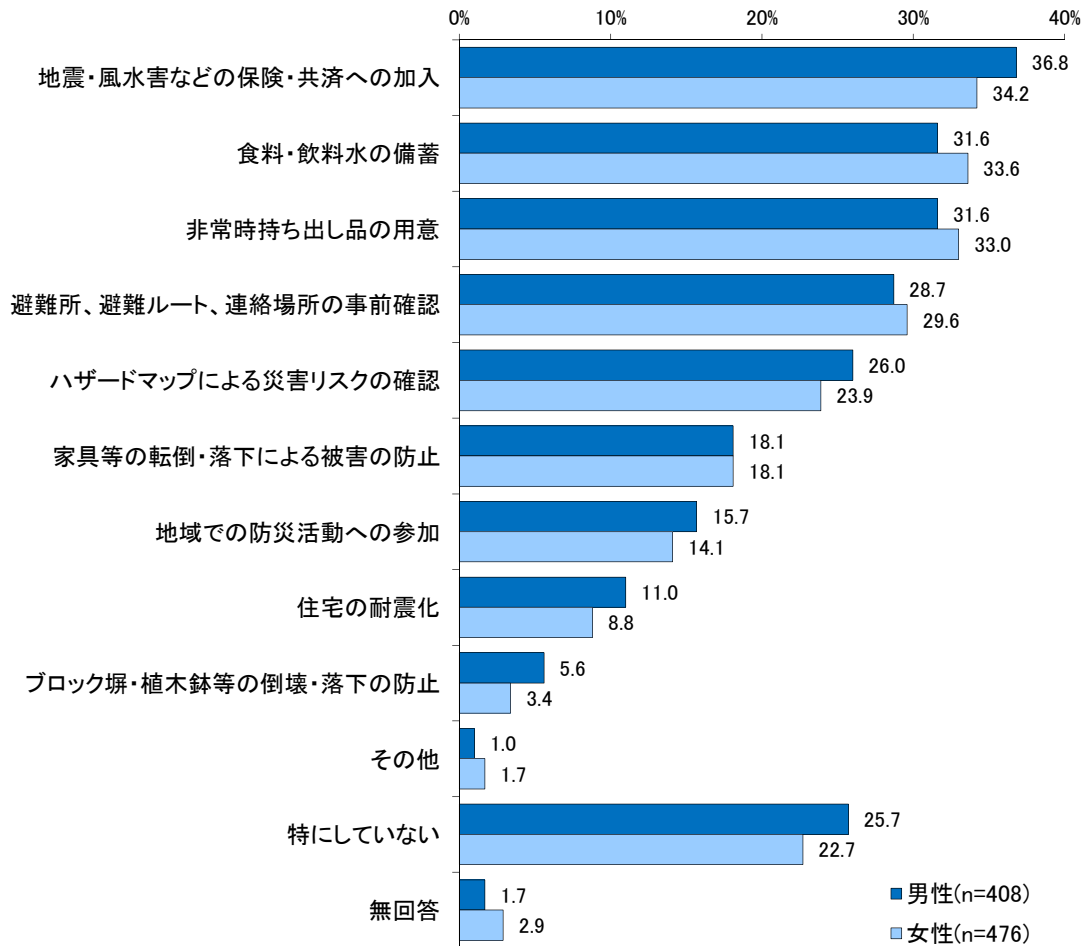
(16) 災害や危機に対して準備していること

問 31 あなたは、災害や危機に対して何か準備をしていますか。【〇はあてはまるものすべて】



災害や危機に対して準備していることについて、「地震・風水害などの保険・共済への加入」と回答した人の割合が 35.5%と最も高く、「食料・飲料水の備蓄」(32.8%)、「非常時持ち出し品の用意」(31.9%)、「避難所、避難ルート、連絡場所の事前確認」(29.0%)、「ハザードマップによる災害リスクの確認」(25.0%)が続いている。

【災害や危機に対して準備していること（性別）】



性別にみると、男女ともに「地震・風水害などの保険・共済への加入」、「食料・飲料水の備蓄」、「非常時持ち出し品の用意」と回答した人の割合が上位となっている。

【災害や危機に対して準備していること（年齢別）】

|        | 回答数 | 地震・風水害などの保険・共済への加入 | 食料・飲料水の備蓄 | 非常時持ち出し品の用意 | 避難所、避難ルート、連絡場所の事前確認 | ハザードマップによる災害リスクの確認 | 家具等の転倒・落下による被害の防止 | 地域での防災活動への参加 | 住宅の耐震化 |
|--------|-----|--------------------|-----------|-------------|---------------------|--------------------|-------------------|--------------|--------|
| 20歳代以下 | 87  | 9.2%               | 24.1%     | 16.1%       | 26.4%               | 17.2%              | 14.9%             | 2.3%         | 5.7%   |
| 30歳代   | 126 | 23.0%              | 33.3%     | 34.9%       | 27.0%               | 29.4%              | 15.9%             | 6.3%         | 10.3%  |
| 40歳代   | 126 | 35.7%              | 39.7%     | 32.5%       | 22.2%               | 22.2%              | 16.7%             | 12.7%        | 13.5%  |
| 50歳代   | 150 | 42.7%              | 32.0%     | 29.3%       | 30.0%               | 25.3%              | 14.7%             | 14.0%        | 12.7%  |
| 60歳代   | 185 | 44.9%              | 33.5%     | 32.4%       | 26.5%               | 30.3%              | 21.1%             | 19.5%        | 9.7%   |
| 70歳代以上 | 216 | 40.7%              | 31.5%     | 38.4%       | 35.6%               | 21.3%              | 19.9%             | 22.2%        | 7.4%   |

|        | 回答数 | ブロック塀・植木鉢等の倒壊・落下の防止 | その他  | 特にしていない | 無回答  |
|--------|-----|---------------------|------|---------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 2.3%                | 2.3% | 43.7%   | 1.1% |
| 30歳代   | 126 | 5.6%                | 0.8% | 28.6%   | 0.8% |
| 40歳代   | 126 | 1.6%                | 1.6% | 28.6%   | —    |
| 50歳代   | 150 | 4.0%                | 2.0% | 20.7%   | 1.3% |
| 60歳代   | 185 | 5.4%                | 0.5% | 15.7%   | 3.8% |
| 70歳代以上 | 216 | 6.0%                | 1.9% | 19.9%   | 5.1% |

年齢別にみると、「地震・風水害などの保険・共済への加入」と回答した人の割合は、50歳代、60歳代、70歳代以上で4割を超えている。

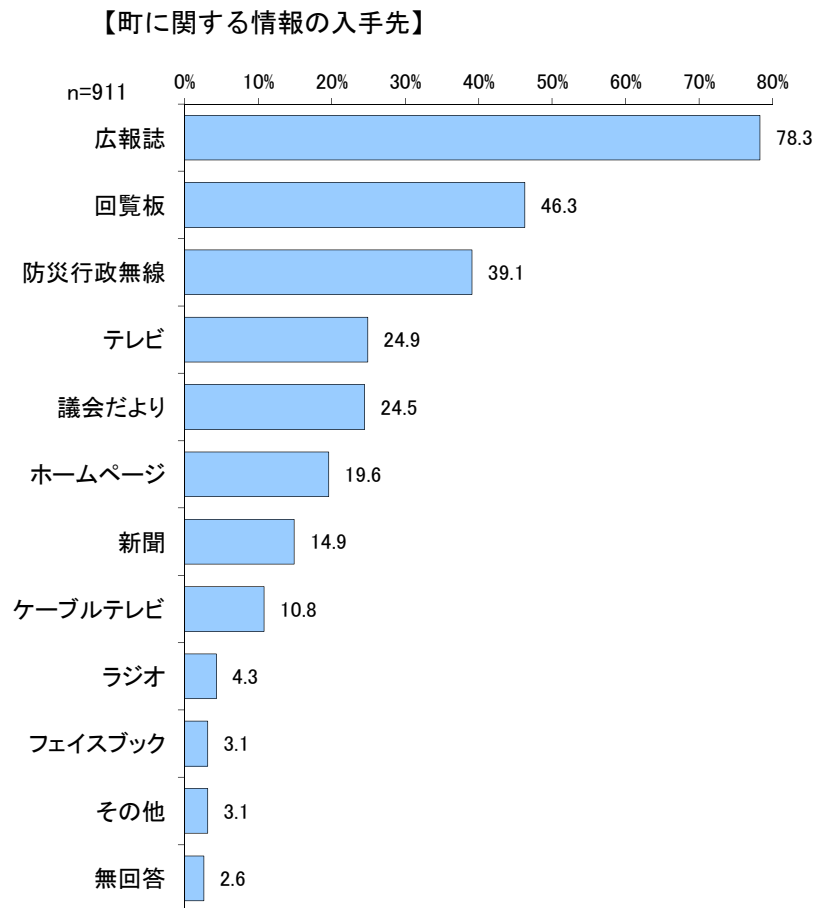
「避難所、避難ルート、連絡場所の事前確認」と回答した人の割合は、70歳代以上で3割台半ばとなっている。

「特にしていない」と回答した人の割合は、20歳代以下で4割を超えている。

(17) 町に関する情報の入手先

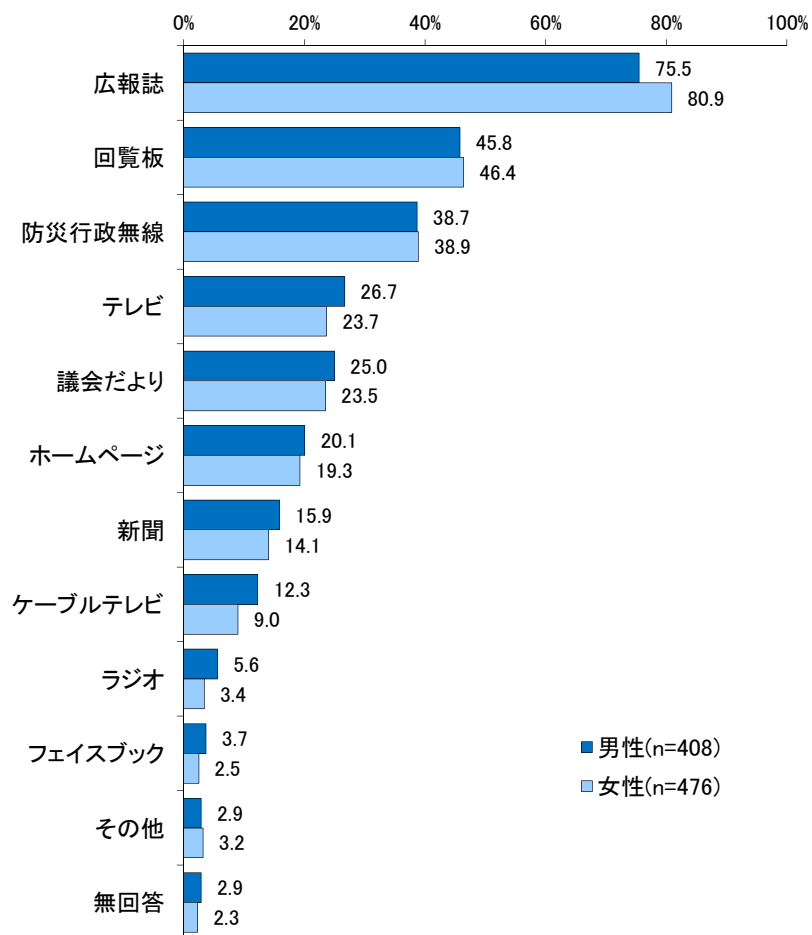
問 32 町に関する情報を入手する際、よく利用するものは何ですか。

【○はあてはまるものすべて】



町に関する情報の入手先について、「広報誌」と回答した人の割合が 78.3%と最も高く、「回覧板」(46.3%)、「防災行政無線」(39.1%)が続いている。

【町に関する情報の入手先（性別）】



性別にみると、男女ともに「広報誌」と回答した人の割合が最も高くなっている。

【町に関する情報の入手先（年齢別）】

|        | 回答数 | 広報誌   | 回覧板   | 防災行政無線 | テレビ   | 議会だより | ホームページ | 新聞    | ケーブルテレビ |
|--------|-----|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|---------|
| 20歳代以下 | 87  | 52.9% | 33.3% | 17.2%  | 20.7% | 3.4%  | 27.6%  | 9.2%  | 5.7%    |
| 30歳代   | 126 | 77.8% | 33.3% | 17.5%  | 16.7% | 11.1% | 24.6%  | 7.1%  | 11.9%   |
| 40歳代   | 126 | 82.5% | 30.2% | 26.2%  | 16.7% | 21.4% | 29.4%  | 9.5%  | 7.1%    |
| 50歳代   | 150 | 84.0% | 45.3% | 40.0%  | 16.7% | 23.3% | 32.7%  | 11.3% | 14.7%   |
| 60歳代   | 185 | 84.3% | 57.8% | 49.2%  | 28.6% | 30.3% | 15.1%  | 17.8% | 13.5%   |
| 70歳代以上 | 216 | 76.9% | 57.9% | 57.4%  | 39.4% | 37.0% | 2.3%   | 25.0% | 8.8%    |

|        | 回答数 | ラジオ  | フェイスブック | その他  | 無回答  |
|--------|-----|------|---------|------|------|
| 20歳代以下 | 87  | 1.1% | 5.7%    | 8.0% | 5.7% |
| 30歳代   | 126 | 0.8% | 8.7%    | 4.8% | 4.8% |
| 40歳代   | 126 | 2.4% | 4.0%    | 1.6% | 1.6% |
| 50歳代   | 150 | 2.7% | 2.0%    | 2.7% | 0.7% |
| 60歳代   | 185 | 8.1% | 0.5%    | 0.5% | 1.6% |
| 70歳代以上 | 216 | 6.9% | 0.5%    | 3.7% | 3.2% |

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「広報誌」と回答した人の割合が最も高く、40歳代から60歳代で8割を超えている。

「回覧板」と回答した人の割合は、60歳代、70歳代以上で5割台後半となっている。

「防災行政無線」と回答した人の割合は、70歳代以上で5割台後半となっている。

「テレビ」と回答した人の割合は、70歳代以上で4割に近くなっている。

「ホームページ」と回答した人の割合は、50歳代で3割を超えている。

### Ⅲ 調査結果のまとめ

#### 1 回答者の状況

回答者は、4割台から5割台の人が生まれたときから周防大島町に住んでおり、その他は、20歳代以下では就学・就職等を機に、60歳代では親族との同居を機に、女性では結婚を機に住み始めた人がそれぞれ2割程度いる（5・6頁）。

回答者のうち、就労している人が57.4%おり、そのうち75.3%の通勤地が周防大島町内となっている（3・4頁）。また、学生が4.0%おり、通学地は47.2%が周防大島町内、47.2%が周防大島町外となっている（3・4頁）。

#### 2 買い物の状況

買い物の状況について、食料品などの日常的な買い物をする場所は周防大島町内と柳井市ともに7割を超えているが、衣料品や家電製品では柳井市が86.3%と8割を超え、周防大島町内では17.6%となっている（7・9頁）。

日常の買い物について27.8%の人が「不便・不満を感じている」と回答しており、その割合は30歳代で43.7%となっている（73・75頁）。

周防大島町の住みにくいところとして「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合（55.9%）は2番目に高く（19頁）、周防大島町に住み続けたいと思わない人（19.1%）のその理由では「買い物が不便だから」と回答した割合（67.2%）が最も高くなっている（49頁）。

#### 3 医療の受診状況

医療の受診状況について、受診する医療機関の場所は周防大島町内が84.7%となっているが、柳井市が45.2%で続いている（11頁）。

医療機関の利用について25.7%の人が「不便・不満を感じている」と回答しており、その割合は30歳代で52.4%となっている（73・74頁）。

周防大島町に住み続けたいと思わない人（19.1%）のその理由では「医療環境に不安を感じるから」と回答した割合（44.8%）が2番目に高くなっている（49頁）。

周防大島町の取組の中で今後重要度が高いと思われる取組として「病院・医療サービスの充実」と回答した割合（39.5%）が2番目に高くなっているが、不満と回答した割合（35.3%）も2番目に高くなっている（38・41・44頁）。

将来について不安を感じていることとして、43.4%の人が「自分や家族の健康」と回答しており、特に高齢者で高くなっている（78・80頁）。

#### 4 子育ての状況

18歳未満の家族がいる人では、現在不満を感じている人の割合が、「高等学校・高等教育の充実」について38.5%、「小中学校の教育の充実」について32.4%、「子育て支援・少子化対策の充実」について25.1%となっている（41頁）。

周防大島町の取組の中で今後重要度が高いと思われる取組として、18歳未満の家族がいる人では、「働く場の確保と人材育成」が最も高くなっているが、3位が「小中学校の教育の充実」、4位が「子育て支援・少子化対策の充実」となっている（43頁）。

子どもたちが将来、周防大島町に住むことへの考えについて、18歳未満の家族がいる人では、『住んでほしいと思わない』と回答した人の割合が31.8%であり、その理由として、「働く場が少ないから」、「通勤・通学が不便だから」が上位となっている（53・55頁）。

子育て世代が住みたいと思える子育て環境の充実のために必要な取組について、1～3番目に回答した項目を点数化すると、18歳未満の家族がいる人では、「子育てに係る費用の負担軽減」、「教育内容や学校設備など教育環境の充実」がともに最も点数が高く、次いで「安心して出産できる環境づくり」となっている（67頁）。

## 5 高齢者の状況

70歳代以上の人では、周防大島町を住み良いと感じる人の割合が6割台後半となっているが、住みにくい点として他の年齢層と同様に「交通の利便性が悪い」、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」と回答した人の割合が上位となっている（13・21頁）。

周防大島町の取組の中で今後重要度高いと思われる取組として、70歳代以上の人では、「病院・医療サービスの充実」が最も高くなっているが、3位が「高齢者福祉の充実」となっている（42頁）。

将来について不安に感じることとして、70歳代以上では、「自分や家族の健康」と回答した人の割合が51.4%と最も高く、次いで「自分や家族の介護」と回答した人の割合が40.3%となっている（80頁）。

## 6 地域活動の状況

近所の人と親しく付き合っている人の割合は「親しく付き合っている」と回答した人の割合が39.4%であり、低い年齢層では低くなっている（23頁）。

自治会や地域活動への関心度について、『関心がある』と回答した人の割合が42.7%となっているが、『関心がない』と回答した人の割合も45.6%であり、ほぼ同様の値となっている（25頁）。

自治会や地域活動への参加状況について、「よく参加している」と回答した人の割合が24.8%、「ときどき参加している」と回答した人の割合が32.5%となっており、低い年齢層では低くなっている（27頁）。

自治会や地域活動への今後の参加意向について、「現在参加しており、今後も参加したい」と回答した人の割合が28.4%、「現在あまり参加していないが、今後参加していきたい」と回答した人の割合が13.9%となっている（29頁）。

参加したい活動として、「自治会や町内会のこと」と回答した人が50.3%と最も高くなっているが、参加や参加意向の割合が低い年齢層では、「祭りや盆踊りなどの行事」、「まちづくりや地域振興に関すること」と回答する割合が高くなっている（31・33頁）。

自治会等の役割として、「地域の防災や防犯に関すること」、「地域の親睦や相互扶助に関すること」、「地域のまとまりや問題解決について」、「祭りや地域行事に関すること」のいずれの項目を回答した人の割合も4割前後となっている（35頁）。

人口減少が進む状況において地域で安心して暮らすために、地域の中で1番目に力を入れるべき取組として、「地域のつながり、助け合いの仕組みづくり」が24.5%と最も高くなっている（62頁）。

## 7 人口減少対策の状況

人口減少に対して周防大島町が1番目に今後力を入れるべき取組について、「働く場所や雇用機会の創出」と回答した人の割合が最も高く、すべての年齢層においても高くなっている（58・60）。

今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組についても、「働く場の確保と人材育成」と回答した人の割合が46.5%と最も高く、70歳代以上を除いたすべての年齢層においても高くなっている。（41・42頁）。一方で、「働く場の確保と人材育成」について不満と回答した割合（51.5%）も最も高くなっている（44頁）。

将来、子どもたちに周防大島町に住んでほしいと思う人の割合は50.3%、思わない人の割合は27.8%であり（53頁）、思わない理由として「働く場が少ないから」と回答した人の割合が72.3%と最も高くなっている（55頁）。

今後の重要度が高いと思われるまちづくりに関する取組として、「移住・定住の促進」と回答した人の割合は3番目に高くなっている（41頁）。

人口減少が進む状況において活気のある地域づくりを進めていくうえで、「周防大島町外に住む人との交流」、「周防大島町外からの移住」、「家のことや農地の手入れなどを手伝ってくれる地域外の人」、「地域の産品や観光資源を生かした収益を得る仕組み」が必要と回答した人の割合は7割台から8割台となっている（70頁）。

## 8 住み良さの状況

周防大島町を『住み良いと感じる』と回答した人の割合が62.9%となっており、近所の人と深い付き合いがある人では7割を超えている（13・14頁）。一方、『住み良いと感じる』と回答した人の割合は低い年齢層で低く、30歳代では5割未満となっている（13頁）。

周防大島町の住み良いところとして、「自然環境が良い」（80.9%）、「治安が良い」（39.2%）と回答した人の割合が上位となっており、その他の項目は2割未満となっている（15頁）。

住みにくいところとして、「交通の利便性が悪い」（66.2%）、「買い物や飲食・遊ぶのに不便」（55.9%）が上位となっている（19頁）。

現在の幸福度は、10点を満点として8点以上の人が36.0%となっている（45頁）。

今後も周防大島町に住み続けたいと思う人の割合が69.1%となっている（47頁）。

周防大島町を住み良いと感じると回答した人では、現在の幸福度が高くなっており（46頁）、また、周防大島町に住み続けたいと思う人の割合も高くなっている（48頁）。

## 9 行財政改革について

重点を置いて取り組むべきだと思う行財政改革の内容について、「職員の資質の向上」、「財政健全化への取組」と回答した人の割合が上位となっている（81頁）。

## 10 緊急時への備えについて

将来について不安に感じていることについて、「自然災害」と回答した人の割合が34.6%となっている（78頁）。

緊急情報を得る手段について、「テレビ」、「携帯電話・スマートフォン」と回答した人の割合が7割台で上位であり、「防災行政無線」は54.8%、「周防大島町防災メール」は45.9%となっている（84 頁）。

災害や危機に対して準備していることについて、「地震・風水害などの保険・共済への加入」、「食料・飲料水の備蓄」、「非常時持ち出し品の用意」、「避難所、避難ルート、連絡場所の事前確認」と回答した人の割合が2割台から3割台で上位となっているが、特にしていない人も23.9%となっている（87 頁）。

## 11 町に関する情報入手先について

町に関する情報の入手先について、「広報誌」と回答した人の割合が78.3%と最も高く、「回覧板」が46.3%、「防災行政無線」が39.1%となっている。（90 頁）。

■ 最後に周防大島町のまちづくりについて、どのようなことでも構いませんので、自由にアイデアやご意見などをお書きください。

| テーマ1    | テーマ2                          | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                   |
|---------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 施策の取捨選択 | 施策の選択と集中                      | 最大限の効果を得るための選択と集中                                         |
|         |                               | 重点項目・地域を決めた整備・要望                                          |
|         |                               | 平均値を上げるより優先度を付けて集中投資                                      |
|         |                               | 本当に必要なものかと思われる工事がある、農業・教育に予算配分                            |
|         | モデル先進地化                       | 大規模市町にできない全国のモデルケースになる手段                                  |
|         | 若者企画の催事                       | 若者企画の催事開催                                                 |
|         | 町民向け政策・事業の充実                  | 町外ではなく、町民に向けた政策・事業の充実<br>意味のあることへの投資を（看板設置より道路除草）         |
| 産業振興    |                               |                                                           |
|         | 片添地区の再開発（ＩＴ・ベンチャー）            | 片添地区の再開発（ＩＴ・ベンチャー企業の誘致）                                   |
|         | 企業・個人事業者・移住者への支援              | 自営業・移住者への支援                                               |
|         |                               | 起業家・個人事業者の積極的な利用                                          |
|         |                               | 中小企業・新規事業への助成拡充新規事業への助成拡充                                 |
|         |                               | 小工場・個人商店の活性化                                              |
|         |                               | 町内民間企業へのサポート                                              |
|         |                               | サーチファンド（後継者不足の中小企業を支援）                                    |
|         |                               | 親戚・知人への宿泊・観光・飲食呼びかけと支援（割引チケット）、シルバー人材センターの立ち上げ            |
|         |                               | 長年大島に住んでいる人に毎年商品券を、小学生未満の温泉無料化                            |
|         |                               | 地域資源を利用した若者に魅力のある産業づくり                                    |
|         | 雇用の確保                         | 仕事があれば                                                    |
|         |                               | 働く場所を増やす                                                  |
|         |                               | 働く場                                                       |
|         |                               | 働く場                                                       |
|         |                               | 働く場所                                                      |
|         |                               | 高齢でも健康な人が働ける場                                             |
|         |                               | 正社員で働ける場所                                                 |
|         |                               | 若者の働く場（工場・農業法人等）の確保                                       |
|         |                               | 若者向けの仕事場                                                  |
|         |                               | 若者の働く場                                                    |
|         |                               | 若者が働ける環境づくり（企業誘致）                                         |
|         |                               | 雇用の確保（ＩＴ産業、観光関連 アワサング展示館、複数の優れた景勝スポット、沖家室の歴史遺産）           |
|         |                               | 島の資源、特色を生かした雇用の増加                                         |
|         |                               | みかん・魚等の従事者を募集（実施済み）                                       |
|         |                               | 漁業関係実習生の受入中止                                              |
|         |                               | 島民を中心とした役場雇用                                              |
|         |                               | 町の機関や企業等に外からの風（独特な考え方・価値観の打破）                             |
|         | 地域資源の利用                       | 地域資源を利用したものづくり（山林を利用したエネルギー施策）                            |
|         |                               | 人を増やす取り組み（空き地利用、耕作放棄地の情報公開、草刈り、間伐、ドローンによるイノシシ対策、みかん産業の振興） |
|         | 1次産業のフル活用（ブランド化、加工品の開発、販路の確保） | 1次産業のフル活用（ブランド化、加工品の開発、販路の確保）                             |
|         |                               | 第1次産業（漁業）に傾注                                              |
|         | 自立的な農業経営                      |                                                           |

| テーマ 1 | テーマ 2         | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                         |
|-------|---------------|-------------------------------------------------|
|       |               | 農業（みかん）や教育への予算配分                                |
|       |               | 簡単な農業経営ができる施策                                   |
|       |               | 特産品のみかん栽培で食べていけるように                             |
|       |               | みかん栽培で生活できるように                                  |
|       |               | みかん農家の減少が心配                                     |
|       |               | イベント集客も大切だが山林荒廃や獣害への対策                          |
|       |               | 安心できる土作り（無農薬無化学肥料）、水・緑・塩田作り                     |
|       | 獣害対策とジビエ利用    | 獣害対策                                            |
|       |               | イノシシ捕獲の強化及び対策                                   |
|       |               | 農業への手厚い補償、イノシシ肉の販売                              |
|       |               | ジビエ利用（牧場、食堂の建設）                                 |
|       |               | 昔からの知恵（郷土料理など）を使った弁当・総菜の販売、イノシシの処分場を作り、農業用肥料の製造 |
|       | 水産業の振興        | 水産業の銘産品アピール、農林水産業に特化した大企業の誘致                    |
|       |               | アサリの産地化                                         |
|       | 商業施設・店舗の誘致・確保 | 買い物が不便、スーパー等出店者への補助                             |
|       |               | 銀行・農協の支店がなく不便                                   |
|       |               | 衣類の購入に不便                                        |
|       |               | 小さな市場（不用品・出来すぎ野菜の販売など）                          |
|       |               | 農漁業の直売所                                         |
|       |               | 買い物ができるお店（品揃え、価格）                               |
|       |               | 買い物や医療が不便（いい医師の招へい、Aコープ以外の施設）                   |
|       |               | 公用物品の地元店調達                                      |
|       |               | コンビニの子ども（赤ちゃん）用品充実                              |
|       |               | 飲食店は常連がいるようで入りにくい                               |
|       |               | 地産地消の飲食店、海に近い観光施設の充実（他の観光地を参考に）                 |
|       |               | 飲食店が少ない、わかりにくい、大島大橋たもとの飲食店・土産店、屋代ダム周辺でのバーベキュー   |
|       |               | 最低限の商業施設                                        |
|       |               | ショッピングモールの建設、海のリゾート・アスレチック                      |
|       |               | ショッピングモール誘致（シャトルバス）                             |
|       |               | 商業施設の誘致（食料品・日用品）                                |
|       |               | 東和地区への民間スーパー誘致                                  |
|       |               | お食事処やコンビニの誘致                                    |
|       |               | 新規コンビニ店の出店                                      |
|       |               | 橘（安下庄）地区へのコンビニ誘致                                |
|       |               | コンビニ店舗の増加、特産品の商品化                               |
| 地域運営  |               |                                                 |
|       | 自治会運営・組織の見直し  | 自治会役員が負担（自治会不参加、役所と住民の直接やり取り）                   |
|       |               | 加齢による役の重荷                                       |
|       |               | 役員年齢の上限設定                                       |
|       |               | 75歳以上の役員就任は無理                                   |
|       |               | 自治会組織の統一化（東和・橘地区と久賀・大島地区）                       |
|       |               | 自治会組織を簡略化し世代・世帯に負担のないように                        |
|       |               | 前例踏襲の地域活動は限界、できることをする体制づくりや意識改革が必要              |
|       |               | 自治会が成立しなくなるのが不安（集落のあり方）                         |
|       | 住民の意識改革       | 多少の不便さを寛容できる気運の醸成や地域の理解促進                       |

| テーマ 1 | テーマ 2               | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |                     | 地域の人達と交流・ふれあう機会の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|       |                     | 近場で集う場所があると良い                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|       |                     | 高齢で集会に参加できず、広報などで遅れて情報が入り迷惑をかける                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|       |                     | 意識の共有化（旧4町・小地区意識が強すぎる）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|       | 住民活動への支援            | 地域住民の主体的な活動の支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|       |                     | 過疎地域への平等なサービス提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 行政改革  | 役場職員（人事交流・居住地・意識改革） | 官公庁・企業の人事交流で通勤ラッシュの緩和はできないか<br>島民を中心とした役場雇用、財源がないなら最低賃金で<br>町在住者からの職員登用<br>税金は20年以上先のことに使うべき<br>住民税が高い、職員が税の安い町外に住み税金から給料が支払われているのは腹立たしい、何千万円も使った電飾看板は財源の無駄<br>公共の職員は地元から通勤<br>職員の町内居住<br>職員の町内居住<br>職員の定住<br>職員の町内居住<br>職員の町内居住（有資格者は検討）<br>町内に住み、どこに住みにくいのか改善すべき、定住・移住といいながら町外に住むという矛盾の解決が必要<br>役場の職員が町外に住んで町外に税金を落とすのはおかしい<br>通勤時の職員の安全運転、町外居住職員のふるさと納税<br>職員の資質向上<br>役場職員の意識改革（この町を良くしていこうとする意欲・意識）が必要<br>いまだにトップダウンのやり方で上司に意見するのが難しい<br>町の職員に危機感はあるか？<br>職員の質が低すぎる<br>職員が車で寝たりしない<br>ほとんどの企業が8時間労働なのに、役場職員が7時間45分労働なのは、納税者として憤りを感じる<br>病院・役場（総合支所・出張所）の統合、町議会議員の削減、職員人件費の削減<br>分庁制度の廃止<br>柳井市と合併すべき、アンケートの集計結果の回覧等での公表<br>経営安定で住民の税金等への負担をかけないようにして欲しい<br>有識者を集めた「将来構想検討委員会」等の設立・審議<br>開かれた役場づくり（町民との定期的な意見交流）<br>この町に住むことにしてよかったと思える窓口にして欲しい<br>職員が地域に出向き、地域づくりへの助言等を<br>大島庁舎のコンシェルジュ設置や番号札による受付<br>町議会議員を半減し、町内転入の上乗せ補助をしてはどうか<br>緊急時のスムーズな職員配置（町外居住者）<br>財政の健全化<br>町の取組状況がどこに掲示されているかわからない<br>町の行事説明がなさすぎ、依頼内容が分からない<br>地元店での公用物品調達 |
|       | 役場の業務（体制・財政）見直し     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

| テーマ 1  | テーマ 2          | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |                | <p>現行総合計画を評価し次期計画に生かしてほしい、町民のための職員として原則町内居住を望む</p> <p>アンケートの回収は（窓口への）回収箱設置など経費の削減に努めるべき、職員の発想転換が必要</p> <p>既得権のみ守るのではなく住民のことを考えて欲しい、アンケート送付費用も考えて仕事をしたら</p> <p>アンケートは返送しやすいよう回答用紙を同封して欲しい</p> <p>無作為（意図的？）アンケートは迷惑、全世帯を対象に</p>                                                                                                                                                                                                        |
|        | 議会改革           | <p>町議会議員は報酬がよすぎる</p> <p>若手議員の選出</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| インフラ整備 |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|        | 上下水道の整備（工事・水源） | <p>下水道工事を町民に広く理解できる説明が欲しい</p> <p>下水道工事による道路環境の悪化、下水道の必要性</p> <p>下水道・道路の整備が長い</p> <p>道路状況が悪すぎ、（下水道？）工事が長すぎ</p> <p>子育て世代が安心して住める上下水道・教育環境</p> <p>上下水道のインフラ整備</p> <p>災害時のライフライン対応（上下水道、電気等）</p> <p>水道料金の軽減、下水道利用の徹底</p> <p>代替水源、大島大橋の代替、下水道施設の災害対策（コンパクトシティ化）</p> <p>断水事故再発への備え（パイプラインが大島大橋一つというのでは）</p> <p>独自水源を「おいしい水」として利用できないか</p> <p>簡易水道を復活し、学校プール、老人施設の入浴・トイレ等へ使用</p> <p>イノシシの駆除（不妊投薬など）、上下水道料金の軽減、漁獲量の向上（海がきれいすぎる）</p>          |
|        | 町営住宅の更新        | 町営住宅の老朽化・設備の未更新が進んでいる、現存住宅を整備し移住者の取り込み・現住者の流出防止はできないか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|        | 道路・河川の管理・整備    | <p>山からの眺望はよいが道が悪い</p> <p>小河川の整備・草木の除去</p> <p>異常気象に対する河川・道路対策</p> <p>自転車・歩行者・車両の道路の区別</p> <p>安下庄の新しい道は地元を大きく衰退させる</p> <p>既存の道路の計画的な維持管理又は廃止</p> <p>（大島大）橋を二本にする</p> <p>観光推進のための道路整備</p> <p>県道橋（大島）環状線の早期整備</p> <p>道路のセンターラインや横断歩道の補修、街灯の整備</p> <p>海岸線を残す道路整備</p> <p>農地へのアクセス道整備</p> <p>道路整備の完遂</p> <p>道路の無駄な拡張（改良）、外灯の支障木除去</p> <p>安下庄地区の道路整備と人口減少への不安</p> <p>イノシシの撃退、山・道路の整備</p> <p>居住エリアとアドベンチャーエリア（自然の中で生活）を区分し、社会福祉への投資を集約化する</p> |
| 施設整備   |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|        | 公園の整備          | <p>屋代ダム、公園等の整備</p> <p>公園、遊び場（遊具）の整備</p> <p>公園や広場の整備</p> <p>新しい公園整備</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| テーマ 1 | テーマ 2           | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | スポーツ施設の整備       | スポーツ施設などの充実<br>トレーニング施設の設置<br>大島地区への保養施設整備                                                                                                                                                                                                                                 |
|       | 住宅（地）の整備        | 町営住宅の入居者決定方法の再考（基準設定、公開抽選の必要性）<br>大島地区への住宅地整備<br>町営住宅の入居基準見直し（年齢・単身）                                                                                                                                                                                                       |
|       | 廃校の活用           | 廃校利用（各種教室など）                                                                                                                                                                                                                                                               |
|       | 道の駅の整備          | 道の駅の整備（スマートフォンの義務化、簡易宿泊所の建設、自動販売機とトイレの設置、アイドル等の観覧無料イベントの開催）                                                                                                                                                                                                                |
|       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 情報発信  |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|       | 町の特色の充実         | 通年的な「瀬戸内のハワイ」コンテンツの充実<br>観光地・高齢化の島としての情報発信<br>自然を生かした観光の充実とメディアへの売り込み<br>大島の特徴を持ちメディアへ発信（日本一のみかんの島、高齢者のまち、医療・福祉・介護のまち）<br>終の棲家をアピール<br>空き地利用、耕作放棄地の情報公開<br>自然・文化等の調査・分析による長所の発掘と公開・継続<br>情報の発信力が弱い<br>不参加会議の内容が伝わらない<br>道の駅を情報発信の拠点に、町民のスマートフォン義務化<br>親戚・知人に観光・宿泊・飲食の呼びかけを |
|       |                 | イベントの開催                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|       |                 | イベントのスリム化・資金投入による対外的な宣伝効果<br>NHKのど自慢の誘致                                                                                                                                                                                                                                    |
|       |                 | 通信環境の整備                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|       |                 | 移住したくなるようなネット環境の整備<br>インターネット環境を全地区光回線に                                                                                                                                                                                                                                    |
|       |                 | 町ホームページの充実                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|       |                 | 町の施策（進行状況や具体的内容）の適時情報発信<br>町の取り組み（子育て支援・高齢者福祉）の町外・県外への情報発信<br>ホームページが分かりにくい                                                                                                                                                                                                |
|       |                 | 町民向け周知方法の改善                                                                                                                                                                                                                                                                |
|       |                 | 防災行政無線の放送後の確認、映像化、J A 情報の選択化<br>防災無線が聞き取れない（ハウリング）                                                                                                                                                                                                                         |
|       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|       |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 公共交通  |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|       | 海上交通の整備         | 海上交通への着目（広島・岩国空港と久賀港のホバークラフト運航）<br>浮島航路（日前）自転車置き場のスペース不足解消                                                                                                                                                                                                                 |
|       | 公共・スクールバスの充実・改善 | スクールバス・公用車のスピード超過<br>通学が不便（増便）<br>通学が不便（料金・本数）<br>高校通学用バス（島内～島外）の運行と住民の混乗<br>バス通学費が高い<br>バス代が高い<br>路線バスの料金が高すぎる<br>バスの増便<br>安下庄から土居・久賀方面へのバスの増便<br>公共交通が不便（本数少なすぎ、運賃が高い）<br>防長・病院バスの計画的な運用<br>交通機関の充実                                                                      |



| テーマ 1 | テーマ 2    | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観光振興  |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       | 自然・環境のPR | 恵まれた自然環境のよい島を活かし、人が集うリゾート地の振興<br>美しい景観を「世界」に向けアピール、モデル観光コースの設定など（NYタイムズ紙の「今世界で行くべき所（観光地）」瀬戸内）<br>自然を美しく魅せる整備（既存のものを利用してデザイン・アイデア力を用いたまちづくり）<br>自然を活かした観光の充実、メディアへの売り込み<br>浜辺が少なくなり孫を連れて海水浴に行きづらい<br>山頂の展望広場や尾根筋の遊歩道の整備<br>観光施設・景勝地の清掃ボランティア支援、小学生未満の温泉無料化 |
|       | イベントの開催  | ペット交流（廃校で犬ショーやドッグラン）、ハイキング（大会、コース整備）<br>町出身のスポーツ選手（OB）を招へいしスポーツ教室を開催する<br>イベントのスリム化と資金集中<br>若者企画の催事開催<br>特徴ある町づくり（観光）<br>他事例をまねしたフラ以外の「瀬戸内のハワイ」<br>イベント（高齢者の特技披露、学年別山登り）                                                                                  |
|       | 観光地等の整備  | 大島大橋近くに観光地を整備<br>別荘地の紹介<br>カジノ等IRリゾートの推進、高級老人ホーム（リゾート型）の整備<br>アワサング展示館・景勝スポット・沖家室の歴史遺産等のコンセプト・客層の絞り込み<br>直島（香川県）のようなアートのある島<br>観光オタクを対象にしたゲーム聖地巡礼（艦隊コレクション、陸奥等）                                                                                           |
|       | 観光施設の充実  | 地産地消の飲食店、海に近い観光施設の充実（他の観光地を参考に）<br>食事処の増加、コンビニの誘致<br>点ではなく線（サイクリングルートと休憩・食事場所、山々と温泉・食事場所、穴場情報など）<br>人を増やす取り組み（観光、娯楽、スポーツイベント）<br>このまま継続・活性化して欲しい<br>観光の充実（冬の活気）<br>島内外の人達による協議を開催し、高齢化社会の幸福や暮らし・町づくりを考えてもらう<br>親戚・知人へ大島での宿泊・観光・飲食を呼び掛け、割引チケットの発行          |
|       | 他市町との連携  | 日本一（世界一）有名な島、広島県呉市とのコラボレーション、ハウステンボス並みの観光施設、離島への架橋、クラウドファンディングの活用など                                                                                                                                                                                       |
|       | 利便性の向上   | 大島駅でのレンタカー利用                                                                                                                                                                                                                                              |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 医療体制  |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       | 医療・介護の充実 | 介護福祉の技術向上<br>町内で完結する医療体制の構築、救急患者の受入体制<br>医療機関の充実<br>医療機関の充実<br>医療関係の充実<br>久賀地区への医療施設の充実<br>医療水準の向上<br>どこでも行ける病院<br>郡外患者がかかれる医療の充実<br>医療介護設備の充実、医療介護の一体化（利用資格の適正化）<br>高度医療技術の病院                                                                            |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                                           |

| テーマ 1 | テーマ 2    | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                |
|-------|----------|--------------------------------------------------------|
|       |          | 町立病院の受入体制（休日夜間）の強化                                     |
|       |          | 病院が不便（急病時、待ち時間）                                        |
|       |          | 救急搬送が間に合う体制（島外の病院では間に合わない）                             |
|       |          | 病院が縮小される                                               |
|       |          | 3病院のあり方（休日・専門外診療の拒否）                                   |
|       |          | 医療が不便                                                  |
|       |          | 医療環境が厳しく次世代が住める町ではない                                   |
|       |          | 重大な病気はよそへ行かないといけない                                     |
|       |          | 小児科の整備                                                 |
|       |          | 小児科が無い                                                 |
|       |          | 小児科が無い                                                 |
|       |          | 小児科（大島病院・医院）の設置                                        |
|       |          | 子育て世代に力点を置いた医療の充実                                      |
|       |          | 産婦人科・精神科の設置                                            |
|       |          | 出産できる病院                                                |
|       | 公立病院の統合  | 病院の統合                                                  |
|       |          | 病院事業局の方向性が不安定、体制が変わらねなければ医療は維持できない                     |
|       |          | 町立病院問題が先送りとなっており、はっきりしてこれからの生活を守ってほしい                  |
|       |          | 病院再編を先送りせず財政の健全化を図って欲しい                                |
|       |          | 大島病院建て替えに賛成したであろう町議がトップになっての病院再編計画は理解できない、すぐ見直しになるのでは？ |
|       | 健康増進対策   | 公立病院の待ち時間が長い                                           |
|       |          | 町立病院の看護婦の態度が悪い                                         |
|       |          | インフルエンザの予防接種費用補助                                       |
|       | 動物病院の誘致  | 高齢者の生活支援（金銭面など）                                        |
|       |          | 若者に健康診断を受けさせる機会や無料クーポンなどの配布                            |
|       | 介護士の受入   | 動物病院の設置、去勢・避妊手術の助成制度                                   |
|       |          | 東南アジアなどから介護士を受け入れる政策                                   |
| 環境保全  | 環境・景観の保全 |                                                        |
|       |          | 自然環境がよい                                                |
|       |          | 自然環境を活かした町づくりを                                         |
|       |          | 島全体の清掃（砂浜のごみ等）、廃屋の整備、山林・農地荒廃の抑制、広報紙による清掃ボランティア募集       |
|       |          | 清掃活動の推進（1～3カ月に1回程度）                                    |
|       |          | 高齢者の草刈り募集（景観保全）                                        |
|       |          | 国道の草、土居～安下庄間の竹木の整備                                     |
|       |          | 道路脇の除草などに傾注を                                           |
|       |          | 道路の除草                                                  |
|       |          | 屋代川の整備                                                 |
|       |          | 屋代川の除草                                                 |
|       |          | 道路・公園施設の維持管理（さびれ感）、道路脇の除草                              |
|       |          | 持ち主不明地の有効利用（駐車など）、川をきれいに                               |
|       |          | 風景の負の部分（山林荒廃、獣害など）                                     |
|       |          | 河川堆積土砂の除去（3～5年）                                        |
|       |          | 町道の美化                                                  |
|       |          | 自然（海）は綺麗だが山は荒れ放題、空き家が増え、イノシシも好き放題                      |

| テーマ 1 | テーマ 2        | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                             |
|-------|--------------|-----------------------------------------------------|
|       |              | イノシシの処分場（農業用肥料）整備、竹林の伐採                             |
|       |              | 竹林整備、海岸ごみの清掃、オレンジロードの景観整備                           |
|       |              | 綺麗な海にゴミが多いのが残念                                      |
|       |              | 県道山側の枝条伐採                                           |
|       |              | 雑木の繁茂（空き家、外灯周辺、路側）                                  |
|       |              | 自然を保護しつつ観光設備を整備する                                   |
|       |              | 自然を美しく魅せる整備（既存のものを利用してデザイン・アイデア力を用いたまちづくり）          |
|       | 野焼きの抑制       | 野焼きをしない日の創設（月2日位）                                   |
|       |              | 野焼き禁止の啓発はありがたい                                      |
|       | ごみ回収・分別方法の改善 | いつでも回収できるごみステーションの設置（資源ごみだけでも）                      |
|       |              | ごみステーションの増・変更                                       |
|       |              | ごみの分別が困難                                            |
|       |              | ごみの分別がシビアすぎる                                        |
|       |              | ごみ処理の適正（簡単な分別方法）                                    |
|       |              | ごみの分別が細かい、再利用ごみ袋（麻袋・ネット）は不衛生・不便（回収）                 |
|       |              | プラスチックごみの回収日増                                       |
|       |              | 容器プラスチック・ペットボトルの回収日増                                |
|       |              | おむつ用ごみ袋の配布                                          |
|       |              | 再利用ごみ袋（ペットボトル、ビン、不燃ごみ）の廃止（不衛生）                      |
|       |              | ごみカレンダーの町ホームページ掲載                                   |
|       | 危険空き家対策      | 倒壊寸前の空き家対策（住みやすい環境）                                 |
|       |              | 老朽空き家対策、ごみステーションの増                                  |
|       |              | 空き町営住宅の無断使用（火災の危険）                                  |
|       |              | 豊かな自然の癒しは他にない、ゆっくりのんびりした雰囲気町の並みづくり、家主に空き家の迷惑を考えてもらう |
|       | 動物の放し飼い対策    | 動物（特に猫）の放し飼い防止徹底・周知（防災無線・広報紙）                       |
|       | 騒音・農薬散布対策    | 飛行機騒音                                               |
|       |              | 農薬散布がきつい（アレルギー）                                     |
| 鳥獣対策  |              |                                                     |
|       | イノシシ対策       | 住民がイノシシ対策柵の中で生活している（後追いではなく根本的な対策を）                 |
|       |              | イノシシ被害をなくす対策を                                       |
|       |              | イノシシをドローンで山へ追う                                      |
|       |              | 捕獲も重要だがジビエとして利用しては（牧場・食堂）                           |
|       |              | イノシシ捕獲の強化・対策                                        |
|       |              | イノシシ等の獣害対策                                          |
|       |              | イノシシ、何とかして下さい                                       |
|       |              | 他市では行政に依頼すればすぐ駆除してくれる                               |
|       |              | イノシシの撃退                                             |
|       |              | イノシシが多い                                             |
|       |              | イノシシ駆除（不妊薬品の投与）                                     |
|       |              | イノシシが好き放題                                           |
|       |              | イノシシ駆除対策（石垣の崩壊）                                     |
|       |              | イノシシ対策の有効策を周知して欲しい                                  |
|       | 放し飼い（猫）対策    | 野良猫が多い                                              |
|       |              | 倒壊寸前の空き家に猫が住みついている（住みやすい環境）                         |

| テーマ 1 | テーマ 2    | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                                                                                                                                                                                           |
|-------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |          | 動物の放し飼い防止の徹底・周知（野良猫、飼い猫）<br>野良猫への去勢・避妊手術の助成制度を                                                                                                                                                                                    |
| 弱者支援  |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       | 女性への支援   | シングルマザーやシェルター避難（DV）する女性に安心して生活できる場と職を得られる町に                                                                                                                                                                                       |
|       | 高齢者への支援  | 増加する高齢者向け施策が進んでいない<br>高齢者の住みやすい町に<br>老人も楽しく生活できるような町に<br>老夫婦や独居生活者の声を聞いて欲しい<br>高齢者の生活を考えた施策（衣料、住居、交通交通など）<br>高齢者の生活支援（金銭面など）<br>高齢者やその家族が安心して生活できる環境づくり<br>高齢の歩行者に反射材を着用<br>免許返納とバスの減便が悩ましい<br>高齢者の足としての巡回マイクロバスの設置を<br>交通弱者への配慮を |
|       | 介護への支援   | 介護に注力を<br>東南アジア等からの介護士受け入れ環境づくり（マンパワー不足の解消）                                                                                                                                                                                       |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
| 子育て支援 |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       | 保育所の運営   | 土曜日を自宅保育にするのであれば、平日の休園や半日保育はやめて欲しい<br>保育園の受入要件緩和（土曜日の無条件登園を可能に）<br>保育園の町営化<br>町内保育園に魅力的なところがない、子育てはしにくい                                                                                                                           |
|       | 子育て支援    | 子育てのしやすい環境だと思う（中学生までは）<br>子育て世代に力点を置いた医療・教育の充実<br>子育て環境を充実し「子育てしやすい町」としてアピール、小児科や子離れ時の働き口があればなおよい<br>次世代には子育て、医療、その他の環境が厳しい<br>子育て支援、助成<br>合併後は子ども5人以上いる家庭への支援がない、子どもが一人しかいない家庭がよい思いをしている気がする                                     |
|       | 学童保育の充実  | 学童保育の充実（給食がない日は開設しない、18時以降のファミリーサポート）、結婚適齢期対象の料理・生花教室の無料開催<br>学童保育利用者からの意見聴取、送迎の実施<br>地域の見守り隊等ボランティアの積極的な利用                                                                                                                       |
|       | 産前・産後の支援 | 小児科がない、保育園や自然環境がよいだけにもったいない<br>出産支援（3人目に百万円など）<br>出産前真夜中のタクシー利用、産後の家事依頼・ベビーシッターサービス<br>高齢者ばかり厚遇せず若い世代（特に子育て世代の女性）を大切にすべき、妊娠中から出産後数年間の経済補助                                                                                         |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
| 教育環境  |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       | 教育の充実    | 子どもの教育環境の整備を<br>教育環境の充実が何より大切<br>小・中・高の教育環境の充実<br>教育の充実、魅力ある学校づくりを希望する<br>教育環境（これ以上統合すべきではない）を考えてべき<br>教育の質の向上、地域見守り隊等ボランティアの登用                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |          |                                                                                                                                                                                                                                   |

| テーマ 1   | テーマ 2          | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                          |
|---------|----------------|--------------------------------------------------|
|         | 教育水準の向上        | 魅力ある教育プランで教育の充実に期待                               |
|         |                | 子どもたちが平和で安心して笑顔で暮らせる島、いじめはあってはならない               |
|         |                | 時代に合った教育を                                        |
|         |                | 小・中の給食費無償化、小学校統合による複式学級の解消、通学路・横断歩道への信号設置        |
|         |                | 子育て世代に力点を置いた医療、教育、島らしい教育とレベルの高い学校づくり             |
|         |                | 教育の向上（大島ならではの教育環境、都会に負けない質の向上）                   |
|         |                | 教育水準を上げる                                         |
|         |                | 塾や通信教育と学校がタッグを組んで学力向上を目指す                        |
|         |                | 中学校の統廃合により柳井・岩国市へ流れる、学力向上など目に見える形で学校のPRを         |
|         |                | 学校は学力は高くないが豊かな自然環境でと考える                          |
|         | 周防大島高校         | 子どもに勉強させすぎ                                       |
|         |                | 高校を久賀にしなかったので島がすたれる                              |
|         | 学校統合（推進・反対）    | 周防大島高校の場所変更（久賀・日良居・大島大橋付近）、あるいは島外～島内の通学用バス（一般混乗） |
|         |                | 中学校統合後、東和中学校を東和小学校（森野小と城山小の統合）とする、高校（2校舎）は一体感がない |
|         |                | マイナスイメージ                                         |
|         |                | 友達が少ないからかわいそうと良く聞く                               |
|         |                | 小・中学校の統廃合はやむを得ないが、積極的にポジティブな付加価値を付けていくべき         |
|         |                | 小中学校の統廃合はやめて欲しい、大島中学校がなくなれば引っ越し予定                |
|         | 地域外通学の緩和       | 学校は減らすべきではない（地域の活力低下）                            |
|         |                | 小・中学校の統廃合し過ぎでは？                                  |
|         |                | 大島にいても柳井の学校へ入学できれば引っ越さなくて済む                      |
|         | 学校の誘致          | （橋地区から）久賀保育園には通えるのに久賀小・中・高に行けない                  |
|         |                | 町外近隣の学校に進学できれば（島の小中学校に進学したくなく引越し）                |
|         | スポーツの活性化       | 国際小・中学校の設立（外国の子ども受け入れ）                           |
|         |                | 専門学校だけでなく大学（若者が好む学部）の創設                          |
|         | 地域・相互交流        | スポーツの活性化                                         |
|         |                | やりがいのある仕事（行政・病院）が身近にあることを保育所、小・中・高生に見せることも大切     |
|         | その他            | 保育園・小・中それぞれ交流があると良い（年1回）、地域の関係ないソフトバレー大会         |
|         |                | 学生が多くなり積極的に地域に関わってもらえれば                          |
|         |                | 安下庄地区の今後が不安（高校の新校舎・寮の建設もあるが）                     |
|         |                | 廃校空き教室を各種教室（囲碁・編み物・書道など）に利用できないか？                |
| 防災・交通安全 |                | 農業（特にミカン）や教育に予算を                                 |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         | 交通安全対策         | スクールバス・公用車はスピード超過                                |
|         |                | 高齢者の交通マナーが悪い、報告窓口の設置と警告を                         |
|         |                | 通学路・横断歩道への信号設置                                   |
|         |                | 大島庁舎への出勤車両が速度超過で連なり、横断歩道も渡れない                    |
|         |                | 速度表示が少ない（スピード超過）                                 |
|         |                | 外灯支障枝条の除去、防風林の通行支障解消、高齢者の反射材着用                   |
|         | 災害対策（上下水道）     | 水の供給再考を（パイプラインが橋一つ）                              |
|         |                | 地域のお古井戸を防災活動に活用                                  |
|         |                | 災害時のライフライン対応（上下水道、電気等）                           |
|         | 災害対策（避難所・防災意識） | 島内の緊急時用水源を守り、学校プール、老人施設の入浴・トイレへの日常使用を            |
|         |                | 代替水源、下水道被災時の対策などコンパクトシティ化が必要では？                  |
|         |                | 廃校舎を緊急避難場所（3日分程度の備蓄）、自転車・歩行者・車両の道路区分             |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |
|         |                |                                                  |

| テーマ 1   | テーマ 2         | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載）                                                                                                                                                                                           |
|---------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |               | 地産地消の電力確保、高台避難所の充実<br>（大島大橋等の）事故の際の住民を守る取り組みが必要<br>南海トラフ（地震）の具体的な対応方法が何も見えない<br>防災講演会等で町民への啓蒙を進め、自助・共助・公助（隣助）の精神を普及<br>防災無線が聞き取れない（ハウリング）<br>防災強化に取組み災害に合わない町づくりを目指す<br>みんなが安心・安全に暮らせるまちづくり                       |
|         |               | 災害対策（体制）                                                                                                                                                                                                          |
|         |               | 災害時の関係団体連携システムづくり、被災情報の本部伝達システムづくり<br>緊急時のスムーズな職員配置（町外居住者）<br>災害対策面からも職員の町内居住を                                                                                                                                    |
|         |               | 災害対策（危険空き家）                                                                                                                                                                                                       |
|         |               | 倒壊危険空き家への対応<br>台風時の空き家からの瓦飛散が心配<br>倒壊危険空き家の解消                                                                                                                                                                     |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
| 外部提案・連携 | 外部・有識者からの意見聴取 | 現場の意見を聞け<br>職員を減らし、その財源で民間のアイデアを買う<br>町の機関や企業等に外からの風を入れるべき<br>企業誘致（分野・企業）に専門家の意見が必要<br>学童保育の利用者からの意見聴取<br>まちづくりに関する提言受付制度の創設<br>町の有識者を集めて「将来構想検討委員会」等の組織を設立、将来構想を答申させる                                            |
|         |               | 広域都市圏との連携                                                                                                                                                                                                         |
|         |               | 広島市との関わりを深める（広域都市圏）                                                                                                                                                                                               |
|         |               | 国の施設誘致                                                                                                                                                                                                            |
|         |               | 国の施設（自衛隊・基地）の誘致                                                                                                                                                                                                   |
|         |               | 民間委託                                                                                                                                                                                                              |
|         |               | スポーツ・文化イベントを民間企業に委託する                                                                                                                                                                                             |
| 人材育成    | 人材発掘          | 町長を島外からヘッドハンティングしてでもいい人材を見つけるべき                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         | 町民意識の啓発・醸成    | 町民に寛容な心を持たせるような啓発（防災無線等）<br>自立した老人を作るような施策を<br>町存続のための多少の不便さは寛容できる気運の醸成や地域の理解促進<br>マナーあふれるまちづくり、教養、人間らしいまちづくり、感謝の心<br>人づくり、参加精神<br>みんながよいまちづくり、助け合い（ボランティア）<br>一人ひとりまちづくり維持に貢献してもらい、町外在住者に空き家への迷惑を考えてもらう（権利の主張放棄） |
|         |               | みんなのためにできる体制づくりや意識改革が必要、役場や役員に頼ってばかりではいけない                                                                                                                                                                        |
|         |               | 町の機関や企業等に外からの風を入れるべき、指導する人材がいればリーダーも増えるのでは？                                                                                                                                                                       |
|         |               | 「この町を良くしていこう」とする意欲・意識のある職員づくり                                                                                                                                                                                     |
|         |               | 職員の危機感                                                                                                                                                                                                            |
|         |               | 上に立つ人から変えていかなければ、相談事を書いてもだめ                                                                                                                                                                                       |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
| その他     | 人口減少への不安      |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               | 環境がよく住みやすいが、人口減少で存続できるか心配<br>この先の生活が不安<br>老人の町にしてはつまらない<br>人口減少を止める、何をすべきか考えたい                                                                                                                                    |
|         |               | 長所の伸長                                                                                                                                                                                                             |
|         |               | 皆が住みたくなる町づくり                                                                                                                                                                                                      |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |
|         |               |                                                                                                                                                                                                                   |

| テーマ 1 | テーマ 2 | 自由記述（テーマ別に整理した主な項目のみ記載） |
|-------|-------|-------------------------|
|       |       | 周防大島町らしさが大切             |
|       |       | 人的に好かれることだと思う           |
|       |       | 興味がない、影にいる人間を大切に        |
|       |       | 今まで以上に周防大島町を作ってください     |
|       |       | 今後も住みよい町でありますよう         |
|       | その他   | 頑張ってください                |
|       |       | 今日の世話、よくしてくれる、よい        |
|       |       | （返送が）遅くなった              |
|       |       | 特になし                    |
|       |       | 特になし                    |
|       |       | 特になし                    |
|       |       | 特記なし                    |
|       |       | 現在別になし                  |
|       |       | なし                      |
|       |       | なし                      |
|       |       | なし                      |
|       |       | なし                      |
|       |       | 無                       |